

平成 28 年度
部の取り組み実績

枚 方 市

「平成 28 年度 部の取り組み実績」について

枚方市では、選択と集中を実現する行政経営システムを構築しています。

このシステムは、市のまちづくりの方針決定を行う、「施策における選択と集中」とそれを受けて各部が取り組む重点施策や課題を示した「各部における選択と集中」から成り立っています。

本市では、その具体的な取り組みとして、各部が年度単位で重点的に取り組む事業等を示した「部の運営方針」を作成・公表しています。

この度の「平成 28 年度 部の取り組み実績」は、すでに公表している同年度の「部の運営方針」に基づき、各部が取り組んだ 1 年間の実績を示したものです。なお、「取り組み実績」の見方は下記のとおりです。

《部の取り組み実績の見方》

平成 28 年度	〇〇〇部の取り組み実績
	<部の構成> この欄には平成 29 年度の当該部における課以上の組織を記載しています。

1. 重点施策・事業

(1) 〇〇〇〇〇〇〇

重点施策・事業における目標	「平成 28 年度 部の運営方針」に記載した重点施策・事業を転記しています。
平成 28 年度の取り組み	
平成 28 年度の実績	重点施策・事業として掲げたものに対する実績を記載しています。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

下記のとおり達成状況を示しています。

- ・【 ◎ 】: 平成 28 年度の取り組みが達成・完了
- ・【 ○ 】: 完了・達成に向けて進行中
- ・【 △ 】: 課題が多く、遅れ有り
- ・【 × 】: 未着手・実現困難

⋮ …以下、同様に記載しています。

目 次

市長公室	P. 1
総合政策部	P. 9
市駅周辺等活性化推進部	P. 19
市民安全部	P. 21
総務部	P. 31
財務部	P. 43
産業文化部	P. 55
健康部	P. 61
健康部 保健所	P. 69
長寿社会部	P. 77
福祉部	P. 83
子ども青少年部	P. 93
環境部	P. 101
都市整備部	P. 111
土木部	P. 119
会計管理者	P. 129
上下水道局 上下水道経営部	P. 133
上下水道局 上下水道事業部	P. 139
市立ひらかた病院	P. 147
管理部	P. 153
学校教育部	P. 161
社会教育部	P. 171
選挙管理委員会事務局	P. 181
監査委員事務局	P. 185
農業委員会事務局	P. 189
市議会事務局*	P. 193

※市議会事務局についても、あわせて掲載しております。

平成 28 年度	市長公室の取り組み実績
	<部の構成> 秘書課、広報課、広聴相談課、人権政策室

1. 重点施策・事業

(1) 効果的な情報発信の推進

重点施策・事業 における目標	枚方の魅力を広く市内外へ発信するため広報スキルの向上を図り、効果的な情報発信を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	<p>広報アドバイザーを設置し、本市の広報活動について意見を求め、見直し・改善を行うとともに、その取り組み内容についてホームページなどで公表していきます。</p> <p>情報発信のタイミングや手法などについて、研修等により能力向上を図り、広報活動が効果的に展開できるよう進めます。</p> <p>情報が探しやすく見やすい「(新) 市ホームページ」の導入や、フェイスブック、ツイッターなどを使った、即時性の高い情報発信を進めます。</p> <p>市役所窓口や手続き案内、防災情報などを掲載した保存版および点字・録音版の「ひらかた便利帳」を発行し、全戸配布します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：147,100 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>効果的な情報発信を推進するため、4 月に設置した広報アドバイザーとの会議を毎月行い、そこで得た助言等を本市の広報活動に活用し、助言内容をホームページで公表するとともに、各課広報担当者や各部情報発信リーダーを対象とした情報発信の研修を実施しました。また、ツイッター、フェイスブックへの投稿を積極的に行い、市のイベント周知等に努めました。</p> <p>ホームページでは、平成 29 年 3 月に新 CMS を導入し、システムのクラウド化を行うとともにサーバーを 24 時間 365 日保守点検可能で地理的にも災害に強いデータセンターに設置しました。これにより、災害に強いホームページとなるだけでなく、サーバーの窓口が一元化され、障害発生時のより迅速な対応が可能になりました。</p> <p>また、ひらかた便利帳は広告事業者との共同発行により 20 万部作成し、2 月に全戸配布しました。</p> <p>平成 28 年度決算：95,704 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 平和施策や人権施策の推進

重点施策・事業における目標	悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。
平成 28 年度の取り組み	<p>市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成を図るため、「平和の燈火（あかり）」をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。</p> <p>人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が、人権について身近に感じ考える機会となるよう講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：6,025 千円（平和啓発） 平成 28 年度当初予算：5,239 千円（人権啓発）</p>
平成 28 年度の実績	<p>「平和の燈火（あかり）」をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などを実施し、市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成に努めました。また、人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が、人権について身近に感じ考えていただける機会となるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を実施しました。</p> <p>平成 28 年度決算：4,114 千円（平和啓発） 平成 28 年度決算：5,239 千円（人権啓発）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進

重点施策・事業における目標	<p>次代を担う子どもたちを守り、暴力によらない問題解決方法等を身につける DV 予防や、男女共同参画の理解を深める学習を推進します。</p> <p>また、男女共生フロア・ウィルの利便性を高めるとともに、関係機関と連携し、啓発事業や相談事業の充実を図ります。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>教育委員会と連携し、市立小学校の小学 4 年生を対象に、「DV 予防教育プログラム」を昨年より拡大して実施します。</p> <p>男女共生フロア・ウィルの利用実態を検証し、さらに利用しやすい施設となるよう検討を進め、順次改善に取り組むとともに、男性や子どもも含め、市民が男女共同参画について主体的に考えられるよう「市民参画型男女共同参画啓発事業」を実施します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：2,688 千円（DV 防止対策事業経費） 平成 28 年度当初予算：10,354 千円（男女共生フロア経費）</p>

平成 28 年度の 実績	<p>DV 予防教育プログラムは、対象校を昨年の「6 小学校 15 クラス」から「7 小学校 19 クラス」へ拡大し実施しました。市民参画型男女共同参画啓発事業として再編した「ウィル・フェスタ 2016」では、起業を目指す女性によるワンテーブルショップや市民団体による講座・展示などを行い、市民が主体的に男女共同参画について考え、交流する場としました。</p> <p>また、男女共生フロア・ウィルの利便性を高めるため、平成 29 年 3 月にサンプラザ 3 号館へ移転を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：1,931 千円（DV 防止対策事業） 平成 28 年度決算：9,926 千円（男女共生フロア経費）</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（４）「市長への提言」の公表

重点施策・事業 における目標	多くの市民に市政に関心を持っていただき、協働によるまちづくりを進めるため、「市長への提言」について市民に情報提供します。
平成 28 年度の 取り組み	年間 300 件を超える「市長への提言」の要旨と市の考え方について、原則、月 1 回ホームページで公表していきます。
平成 28 年度の 実績	「市長への提言」221 件について対応を行い、「公表の考え方」に基づき、提言の要旨と市の考え方を回答の翌月にホームページで公表しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

（１）新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	FM ひらかたについては、平成 26 年 3 月に策定した「経営改善プログラム」に基づき、引き続き経営改善に向けた取り組みを促す。また、枚方人権まちづくり協会については、平成 28 年 3 月に策定した「経営プラン」に基づき、自立的運営への取り組み並びに特色ある事業の実施を促す。

実績	<p>FM ひらかたが平成 29 年 3 月に策定した第 2 期経営戦略プログラム（平成 29 年度～31 年度）の策定過程において、同社が設置した策定委員会に職員を派遣し、経営健全化の促進に向けた取り組み等、プログラムの内容について、市の立場から意見を述べた。同プログラムでは、災害時における体制の確保やリスナーの拡大、安定した財政基盤の確立を基本方針として掲げており、本市としてそれらの目標達成に向けた進捗管理及び助言・指導等を行うための仕組みの構築に向けた検討を開始した。</p> <p>また、特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会は、平成 28 年 3 月に「経営プラン」を策定した。同プランに基づき、会員増による自主財源の拡充と運営にかかる経費等の縮減を図り、自立的運営への取り組みを促した。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-13. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（車両運転業務）	車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について」〈考え方〉に基づき、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進める。
実績	<p>車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について」〈考え方〉に基づき、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、検証を重ねているが、委託化については、突発的な対応やそれに伴うスケジュール調整、迅速な事務執行の確保等の面において、現段階では課題が多い状況である。また、職員の適正配置については、今後も引き続き検討を進めていく。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

（2）業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
ワークライフバランスの推進	ワークライフバランスを推進するため、効率的な事務執行を図り、時間外勤務の縮小に努める。
実績	<p>各事務の繁忙状況の把握に努める終礼の実施や通常業務の見直しなどにより、効率的な事務執行の確保に努めた。</p> <p>男性職員が約半年間育児休暇を取得するなど、部内のワークライフバランスの推進に努めた。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
窓口・電話対応の改善	窓口や電話対応におけるトラブル事例及び改善策を部内で共有し、市民の満足度の向上を図る。

実績	窓口や電話での市民からの意見等は、職務の執行に対する意見・要望等記録様式に記入し課内で共有し、今後の対応に生かすよう努めた。
	窓口・電話における対応姿勢、不当・不適當な要求などへの対応について、マニュアル研修及び具体的事例の研究などの部内研修を行った。また、各課におけるトラブル事例を検証し、部内共有を図り、今後の部内連携についての協議に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
業務効率の向上	職場の整理整頓、書類等の適正な管理、業務導線に配慮した書類の収納や机・書庫の配置を行い、業務効率の向上に取り組む。
実績	新たな部長室及び会議スペースの確保に伴い、仕事の流れや人の動線に配慮したレイアウト編成を行った。また、男女共生フロア・ウィルの移転に際しては、個人情報に配慮した上で、事務の効率化を意識した机・書庫の配置を行った。
	所管する簿冊、各種冊子などの保管場所を定め、整理整頓や適正な管理に努め、業務効率の向上に向けた取り組みを実施した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆平成 26 年 3 月に策定した FM ひらかたの「経営戦略プログラム」に基づき、FM ひらかたへの放送委託料を平成 26 年度の売上高の 60%となるよう設定し、対前年度比で 209 万円削減しました。

実績	第 1 期「経営戦略プログラム」に基づき、FM ひらかたへの放送委託料を対年度比で 209 万円削減しました。
	また、平成 29 年 3 月に策定された「第 2 期経営戦略プログラム」の策定委員会において、引き続き放送委託料の削減に取り組むとともに、安定した財政基盤を確立するよう、市の立場から助言等を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆平成 27 年度の改革・改善サイクルの取り組みにより、男女共同参画啓発事業とウィル・フェスタ開催事業の経費を見直し、対前年度比で約 44 万円削減しました。

実績	男女共同参画啓発事業とウィル・フェスタ開催事業の経費を整理・統合し、決算額を対前年度比で約 53 万円削減しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

◆安定した広告収入の確保

平成 28 年度予算額で、バナー広告 約 209 万円、広報ひらかた広告 約 657 万円を確保します。

実績	平成 28 年度は、バナー広告約 250 万円、広報ひらかた広告約 800 万円を確保しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

◆職員がさまざまな人権課題について知識を深め、人権尊重の視点を持って職務が遂行できるよう研修を実施します。

実績	人権擁護推進本部研修において、8 月 1 日に障害者差別解消法、11 月 15 日にセクシャルハラスメント、12 月 21 日には部落差別をテーマに職員研修を実施し、職員の人権意識の高揚に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆新たに策定した「第 3 次枚方市男女共同参画計画」や「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」の取り組みを推進するため、関係部署と連携し職員研修を実施します。

実績	総務部人事課と共催により、男女共同参画推進本部研修において、第 3 次枚方市男女共同参画計画策定の基礎資料とするために実施した、「男女共同参画に関する市民アンケート調査」の分析結果の周知と、本市における男女共同参画推進について職員研修を行い、男女共同参画に関する理解を深める機会としました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆部内の職員を対象に、運営方針に基づく組織目標の共有化を図るとともに、業務に必要な知識を習得し、能力を向上できるよう、市内外への研修への積極的な参加と計画的な OJT を進めます。

実績	運営方針に基づく組織目標の共有化については、各課で共有するとともに、部内事務連絡会議で進捗管理を行いました。 新たに配置された職員を対象にした毎年実施している専門の研修へ参加し、必要知識を習得するとともに、例年実施している研修以外にも市内外で開催される新規の研修へ積極的に参加し、これまで以上に能力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆ 市政に関する多くの情報を、効果的な発信につなげることができるよう、各部の情報発信リーダーをはじめ、各課の広報担当職員などを対象に研修を行い、全庁的な情報発信意識の向上に努めます。

実績	<p>各部の広報力を強化し、積極的かつ効果的な情報発信を推進するため、情報発信リーダー会議を5月と9月に開催したほか、各部情報発信リーダーから出された重点PR事業についての広報アドバイザーからのコメントを一覧にして送付することで、各情報発信リーダーの取り組み状況等の共有化を図りました。</p> <p>また、9月に広報担当者に向けて、情報発信に必要なマーケティング発想や目を引くチラシ・ポスターの作り方など、より実践的な内容の研修を実施し、情報発信力の強化を図りました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 部内の職員を対象に、災害時にホームページへの掲載などを速やかに行えるよう、訓練を行います。

実績	<p>3月に実施した部内の災害対応訓練時に、災害時におけるホームページの掲載方法などについての説明を行い、課内に持ち帰り共有化することで、災害時のさらなる対応力の強化に努めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	総合政策部の取り組み実績
	<部の構成> 企画課、ひらかた魅力推進課、行革推進課

1. 重点施策・事業

(1) 総合計画・総合戦略の進行管理について

重点施策・事業 における目標	<p>長期的な視点に立ち、総合的かつ計画的な行政運営を行うため策定した「第5次枚方市総合計画」や、まち・ひと・しごと創生法に基づく本市が講ずべき今後5か年の取り組みを定めた「総合戦略」の推進に向けて、新たに構築する施策評価制度に基づき、計画期間の取り組みの進捗状況を適切に検証・評価し事業の改善や見直しにつなげていくことで、計画や戦略に掲げる施策を着実に実施していきます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>「第5次枚方市総合計画」及び「総合戦略」を適切に検証・評価する新たな施策評価制度を構築します。また、人事・財政・行政改革の基本方針と連動した評価サイクルとすることで、計画の実行性を高めていきます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：263 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>「第5次枚方市総合計画」及び「総合戦略」を適切に検証・評価する新たな施策評価制度について、学識経験者等から専門的な視点で助言をいただきながら検討を進め、12月に構築しました。（運用開始は平成29年度～）今後、この制度を人事・財政・行政改革の基本方針と連動した評価サイクルとし、計画の実行性を高めていきます。</p> <p>平成 28 年度決算：125 千円</p>
取り組みに対する達成状況 【 ○ 】	

(2) 市長の特命事項の推進

重点施策・事業 における目標	<p>①定住促進や人口誘導を推進するため、さらなる取り組みの具体化に向けた調整・検討を行うとともに、あわせて、本市の特徴や魅力を市内外の人に情報発信します。</p> <p>②ふるさと寄附金を促進するため、返礼品の送付を実施するとともに、寄附金の使途を情報発信します。</p>
-------------------	---

<p>平成 28 年度の 取り組み</p>	<p>①定住促進や人口誘導の推進を図るため、関係部署と効果的な取り組みの実施に向けた調整・検討を行います。あわせて、特に転出者が多い 20 歳から 40 歳台前半の年齢層を対象として、本市の魅力等を情報誌に掲載するとともに、リーフレットを作成し、市内外に発信します。</p> <p>②ふるさと寄附金を促進するための返礼品の送付を 7 月から実施するとともに、年度末までにさらなる返礼品の拡大や民間ポータルサイトを活用した運用を開始します。さらに、寄附金の使途については、ホームページを通じてわかりやすく説明します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：①2, 200 千円 ②1, 200 千円</p>
<p>平成 28 年度の 実績</p>	<p>①定住促進や人口誘導の推進を図るため、定住促進・人口誘導対策検討委員会を設置し、効果的な取り組みの実施に向けて調整・検討を進め、健康・子育て等に係る新規事業や、今後の対応等をまとめた報告書を 11 月に作成しました。</p> <p>また、効率的・効果的に情報発信を行うため、広報アドバイザー等から意見をいただきながら、転出者が多い 20 歳から 40 歳台前半の年齢層を対象として、本市の妊娠、出産、子育て支援等に係る施策をまとめたリーフレットを作成しました。</p> <p>②寄附額を増やすための方策として、個人の寄附者に返礼品を送付する取り組みを開始することとし、速やかに対応するため、第一次運用として、平成 28 年 7 月から 14 品の返礼品を用意し、1 万円以上の寄附に対する返礼品の送付を試行実施しました。更に第二次運用として、12 月 1 日の寄附受付分から寄附額に応じた返礼品のグレードを 4 段階設け、一般公募により返礼品を 111 品目に拡充するなど、本格実施するとともに、インターネットサイトを運営する事業者と委託契約を行い、広く寄附者への周知を行いました。また、寄附金の使途についての説明は、ホームページを通じ行いました。今後、さらに目的や使途が明確に伝わるようなレイアウト構成を目指し、取り組みを進めていきます。</p> <p>平成 28 年度決算：①2, 041 千円 ②58, 808 千円（※補正予算等の対応あり／その他関連経費あり）</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	
<p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

（3）予算編成過程等の公表

<p>重点施策・事業 における目標</p>	<p>市が現在抱えている課題を効果的に解決していくためには、行政と市民や市民団体などが信頼関係を高め、協働によるまちづくりを進めていくことが必要であるため、新たに行政の情報を公表し、共通の課題認識を持つことで、解決の促進を図ります。</p>
---------------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	行政運営の最も重要となる予算編成や実行計画の査定に係る資料を新たに公表するとともに、市長への提言の公表頻度を月 1 回に拡充することや、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗を、年度の途中でホームページにおいて公表していきます。
平成 28 年度の 実績	5 月にホームページのトップに専用バナーを設け、実行計画及び予算、市長への提言、部の運営方針、審議会、特別顧問等及び戦略会議に係る情報を順次更新しました。また、より早期に共通の課題認識を持ち解決の促進を図るために、年度の間（10 月）に、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗状況についても公表しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

（４）事務事業・補助金の見直し

重点施策・事業 における目標	納税義務者の減少等により、市税収入の大幅な増加が見込めないことが予測されている中、今後も健全な財政運営を図りながら、人が集まるまちづくりをめざして、多くの施策を着実に実行していく必要があります。 こうした状況を踏まえ、全ての事務事業・補助金を対象に、見直しに向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	全ての事務事業・補助金について、より効率的・効果的な執行を図るため、公益性、必要性、公平性等の観点から検証を行い、そのあり方や方向性を決定する仕組みを構築し、事務事業・補助金の見直しを進めるとともに、その結果を平成 29 年度当初予算へ反映します。また、補助金については、サンセット方式を導入するなど、定期的に検証、見直しを行う仕組みを構築します。
平成 28 年度の 実績	9 月に「事務事業の見直し実施方針」、「補助金の見直しに関する方針」を策定し、それぞれの方針に基づき、事務事業および補助金の見直しを実施した結果を「事務事業・補助金見直し計画（平成 29 年度～平成 31 年度）」に取りまとめました。 平成 31 年度までに休廃止・改善する事務事業・補助金は 55 件となり、効果額は一般財源で 433,386 千円（うち、一般会計分 432,615 千円）となりました。 今後も引き続き、計画の推進を図るとともに、新たに発生した事務事業・補助金の見直しについても、計画に反映していきます。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
1. 使用料・手数料の見直し	受益と負担の公平性を確保するため、施設の使用料や手数料の基本的な考え方である設定基準を策定する。
実績	施設使用料や手数料の基本的な考え方である設定基準の策定に向けた調査・検討を進め、課題や考え方の整理等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	平成 27 年度に策定した「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、保健センター及び市立ひらかた病院の来庁者・利用者用駐車場の有料化を実施する。また、同考え方を踏まえ、その他の施設についても、有料化に向けた検討を行う。
実績	平成 27 年度に策定した「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、平成 28 年 8 月に保健センター・市立病院を、平成 29 年 1 月に市役所駐車場（庁舎別館）を有料化した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
6-1 市税等の収入確保 (ふるさと寄附金の推進)	ふるさと寄附金について、本市に寄附をしていただいた方に返礼品を送付する等により寄附額の増加をめざす。
実績	平成 28 年 7 月から 14 品の返礼品を用意し、1 万円以上の寄附に対する返礼品の送付を試行実施した。更に、12 月 1 日の寄附受付分から寄附額に応じた返礼品のグレードを 4 段階設け、一般公募により返礼品を 111 品目に拡充するなど、本格実施に移行した。 <寄附額(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)> 130,569 千円 (内 12 月分 116,436 千円)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
12. 事務事業・補助金の見直し	全ての事務事業・補助金について、公益性、必要性、公平性等の観点から検証を行い、そのあり方や方向性を決定する仕組みを構築し、事務事業・補助金の見直しを進めるとともに、その結果を平成29年度当初予算へ反映する。また、補助金については、サンセット方式を導入するなど、定期的に検証、見直しを行う仕組みを構築する。
実績	「事務事業の見直し実施方針」及び「補助金の見直しに関する方針」を平成28年9月に策定し、見直しに仕組み、平成31年度までに見直し等を行う事務事業・補助金の取り組み内容やそれに伴う効果額を示した「事務事業・補助金見直し計画」を平成29年1月に策定した。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
13. マイナンバー制度の積極的活用	効率的・効果的な行政運営とさらなる市民サービスの向上を図る観点から、マイナポータル(*)のお知らせ機能や個人番号カードの利活用、マイナンバーの利用範囲の拡大など積極的な活用を検討する。 *マイナポータル: パソコン等を利用して行政機関が自分のマイナンバーの情報をいつ、どこでやりとりしたのかを確認できたり、行政機関から自分に対しての健診案内等のお知らせ情報を確認できるサービス(平成29年1月から運用開始予定)
実績	平成29年7月から始まる各機関との情報連携等、マイナンバー制度の本格稼働に向けて必要な調整を行った。 また、マイナポータルに登載予定である「子育てワンストップサービス」の導入に向けて、関係各課と協議を行い、必要な準備を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	外郭団体等の経営健全化の促進を図るため、市長の調査権が及ぶ団体について、団体の事業や財政状況、経営の健全性を「点検・評価」する仕組みの構築に向け、検討を行う。
実績	各外郭団体等にて策定した「中期経営計画」の進捗管理を行う等、各団体における経営改善に向けた取り組みを進めた。また、外郭団体等における事業や財政状況、経営の健全性等を「点検・評価」する仕組みの構築に向けた検討を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	鏡伝池緑地（市民の森）、市営テニスコート（藤阪東町・春日）への指定管理者制度導入に向けた所要の手続きを進める。
実績	枚方市立生涯学習市民センター・図書館の複合施設のうち2施設（蹉跎・牧野）については、平成28年4月から指定管理者による管理運営を行った。また、平成29年度からの指定管理者制度の導入に向け、鏡伝池緑地及び市営テニスコート（藤阪東町中央公園、春日）について、新規導入手続きを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
41. 指定管理者制度における基本方針の策定及び運用	民間活力活用業務の評価・検証（指定管理者制度導入事業）を実施し、その結果を踏まえたうえで、指定管理者の選定における競争性の確保など、指定管理者制度に関する基本方針を策定する。
実績	指定管理者制度導入事業のうち3事業を対象に、民間活力活用業務評価員会議において評価・検証を実施し、当該会議で得られた意見等を踏まえ、制度運用における課題への対応方や制度導入から管理運営における基本事項などを示した「枚方市指定管理者制度に関する基本指針」を平成29年3月に策定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
46. スリムで機動力を持った組織・業務執行体制の確立	部を中心とした、より効率的かつ機動的な業務執行を図るため、「事業部制」の導入について検討する。 あわせて、市政の重要課題等に組織横断的に対応するプロジェクトチームについて、機動力と実効性をさらに高めるため、機能の充実を図る。
実績	事業部制の導入及びプロジェクトチームの機能充実に向けて、他市状況の調査等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
47. 業務改善制度の推進	「枚方市業務改善制度」に基づく取り組みを通じて、庁内の活性化を図るとともに、職員の改善意識の向上を図る。
実績	各職場における業務改善の取り組みの一層の推進を図るため、業務改善事例集の発行、研修の実施及び改善事例の表彰等、制度に基づく取り組みを行った。また、これまでの取り組みによる成果と課題を踏まえ、平成 29 年度から褒賞区分の創設及び対象の拡大等の一部見直しを行った。 その他、制度の愛称を「ぷらわん化、ぷらわん活動」に決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
各事業のマニュアル作成	業務内容についてマニュアル化を進め、効率的な業務の推進を図る。
実績	前任者からの引継ぎ内容を踏まえながら業務に関わる中で発生する課題等を整理した上で、必要に応じてマニュアルを作成するとともに、業務の考え方などの基準を随時更新し、効率的に業務を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
効率的な業務処理による業務効率の向上	業務効率の向上に向け、職場の整理整頓、書類等の適正な管理、仕事の流れや人の動線を考えた書類の収納や机・書庫の配置を行う。また、仕事の優先順位を考え、所属職員相互の連携を図るよう努める。
実績	業務を効率的に処理していくために、書類や物品等の整理を徹底するとともに、レイアウト等の変更の際には、机・書棚等の配置を工夫することで作業動線を短くした。また、職員同士での対話や定期的なミーティングを行い、仕事の進捗状況、優先順位等を常時共有して連携することで、効率的に業務を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
担当職員による業務のプレゼンテーション形式での発表	担当職員ごとに業務の進め方について、プレゼンテーションを実施することで、幅広い議論を行い、職員間の情報の共有化を図る。
実績	業務の進め方について見直す際に、担当職員によるプレゼンテーションを行い幅広い議論を行うことで、職員間において各業務の考え方や課題についての情報共有を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆市民の定住促進意識の向上を図るだけでなく、特に市外の方を対象に本市への転入意識を高めってもらうために、市の魅力を強くPRしていくための委託料や、リーフレット製作などの経費として220万円を予算計上しました。これらの経費については、関係部署と連携し、本市の重要課題である人口減少に歯止めをかけられるよう効果的な執行に努めます。

実績	市民の定住促進、転入意識を高めるため、子育て世代を対象としたPRとして、子育て施策を中心とした本市の事業を紹介するために、大阪・京都・兵庫エリアの保育園に通う子どもの親を読者層とする地域情報誌への記事広告の掲載や定住促進リーフレットを作成しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆民間活力活用業務の評価・検証や指定管理者選定委員会の運用に係る委員報酬、業務改善制度・職員提案制度の推進、コールセンターの運営など、約3800万円を予算計上し、必要最小限の経費としました。

実績	民間活力活用業務の評価・検証や指定管理者選定委員会の運用に係る委員報酬、業務改善制度・職員提案制度の推進、コールセンターの運営などの経費については、必要最小限の予算執行に努め、効率的な運用を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆部内職員一人ひとりが常に「効率化」を考え、業務の進め方を見直し実践することで、効率的な組織運営を図ります。

実績	業務に関わる中で発生する課題等について、前任者と情報共有を行いながら、必要に応じて業務の考え方などの基準を更新し、効率的に業務を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆事務内容や新たな取り組み課題に係る企画案等について、担当職員がプレゼンテーション形式で発表を行い、知識・認識等の共有化を図るとともに計画的な事務執行に繋がります。また、これらを通じて、自らが考え行動する自律型職員の育成を図ります。

実績	事務内容や新たな取り組み課題に係る企画案等について、担当職員がプレゼンテーション形式で説明を行い、職員間で情報共有を行うとともに、議論を行うなかで出てきた意見を踏まえ、より計画的な事務執行に繋がりました。また新たな取り組み課題に係る企画案等についてプレゼンテーションを行うことで、各担当職員が積極的に市政への知識や理解を深めるとともに、説明能力の向上にもつながりました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆市の魅力を情報発信

定住促進や人口誘導の推進を図るため、特に転出者が多い20歳から40歳前半の年齢層を対象として、本市の魅力等を情報誌に掲載するとともに、ターゲットを絞ったリーフレットを作成し、市内外に情報発信します。

実績	定住促進や人口誘導の推進を図るため、20歳から40歳前半の年齢層の中でも、特に子育て世代を対象とした情報発信を行いました。子育て施策を中心とした本市の事業を紹介するために、大阪・京都・兵庫エリアの保育園に通う子どもの親を読者層とする地域情報誌への記事広告の掲載や定住促進リーフレットを作成しました。定住促進リーフレットについては、市のホームページやSNSへの掲載や、子育て世代が多く訪れる住宅展示場や各種イベントに出展するなど、市内外への情報発信を行っています。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆予算編成過程等の公表

行政運営の最も重要となる予算編成や実行計画等の査定に係る資料を新たに公表するとともに、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗を年度途中でホームページにおいて公表し、市民との情報共有を進めます。

実績	5月にホームページのトップに専用バナーを設け、実行計画及び予算、市長への提言、部の運営方針、審議会、特別顧問等及び戦略会議に係る情報を公表、順次更新しました。また、部の運営方針に示される重点施策・事業の進捗状況を年度の間（10月）に公表し、各施策・事業の課題解決に向け、市民とのより早期の情報共有に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

◆行政改革に関する情報発信

行政改革に係る取り組みを伝える「行革かわら版」の発行等を通じて、市民にわかりやすくタイムリーに情報発信します。

実績	事務事業や補助金の見直し、民間活力活用業務評価・検証等、行政改革に関する情報について、「行革かわら版」としてまとめ、市ホームページに掲載し、広く情報発信しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度

市駅周辺等活性化推進部

の取り組み実績

※平成 28 年度からの新設部のため、【2. 行政改革・業務改善/4. 組織運営・人材育成/5. 広報・情報発信】については、記載していません。

1. 重点施策・事業

(1) 枚方市駅周辺再整備の推進

<p>重点施策・事業 における目標</p>	<p>本市の中心市街地である枚方市駅周辺地域の賑わいを取り戻し、まちの魅力を高めるため、枚方市駅周辺再整備の早期実現化に向けた取り組みを進めます。</p>
<p>平成 28 年度の 取り組み</p>	<p>枚方市駅周辺再整備の早期実現化に向け、地元権利者や関係機関とともに協議・検討してきた内容をもとに、「枚方市駅周辺の将来のまちの姿」のイメージ図を公表し、市民会館・市役所庁舎が含まれる街区及びその周辺区域について、民間活力導入を検討するための検討パートナーを公募し、具体的な検討に取り組みます。また、大阪府住宅供給公社・京阪電鉄・旧長崎屋が含まれる街区及び官公庁団地が含まれる街区については、これまで検討を行ってきた内容を踏まえ、市街地再開発事業の事業化に向けた検討を進めます。その他街区については、引き続き地元検討組織等への技術的支援を行います。</p> <p style="text-align: center;">枚方市駅周辺再整備の取り組み箇所図</p> <p>平成 28 年度当初予算：29,800 千円</p>

平成 28 年度の実績	<p>枚方市駅周辺の将来のイメージについて、6 月に本市ホームページで全体整備イメージ図やイメージパンフレットを公表しました。</p> <p>民間活力導入の検討については、平成 28 年 10 月に京阪ホールディングス株式会社、株式会社ソウ・ツーと締結した三者協定や北大阪商工会議所が中心となり、市と協力して設置した枚方市駅周辺活性化協議会において、土地利用やエリアマネジメントの推進に向けて検討を行いました。その他、駅前広場隣接地権者等に整備イメージの説明を行うなど、再整備の機運の醸成を図りました。また、平成 28 年 7 月契約の業務委託により、市街地再開発事業の事業化に向けた検討を行うとともに、平成 29 年 3 月に「枚方市駅周辺再整備及び新庁舎整備の検討に係る中間報告について」を議会に説明しました。</p> <p>平成 28 年度決算：－（平成 29 年度に繰越）</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（２）香里ヶ丘図書館の建替え事業

重点施策・事業における目標	老朽化している香里ヶ丘図書館の建替えについての検討を進めます。
平成 28 年度の取り組み	香里ヶ丘図書館の建替えに向け、館の基本コンセプトや施設概要の検討、必要な什器類等を明らかにする整備基本構想を策定し、市議会や市民等への説明、意見聴取を進めていきます。（社会教育部）
平成 28 年度の実績	社会教育部における「香里ヶ丘図書館建替え基本計画」の策定作業と連携して、香里ヶ丘図書館や隣接する香里ヶ丘中央公園等の公共施設の再整備に向けた検討を行い、設計事業者をプロポーザル方式で選定するための評価基準案、発注仕様書案等の作成及び附属機関「香里ヶ丘図書館設計事業者選定審査会」の運営等に関する支援業務の委託発注を行い事業に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

3. 予算編成・執行

- ◆枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業に国庫補助制度の積極的な活用を図ります。（国庫補助予定額 430 万円）

実績	市街地再開発事業の事業化に向けた調査・検討業務委託を発注しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

平成 28 年度	市民安全部の取り組み実績
	<部の構成> 市民室、市民活動課、危機管理室、消費生活センター

1. 重点施策・事業

(1) 協働によるまちづくりの推進

重点施策・事業 における目標	<p>地域課題が多様化・複雑化する中で、これらを効果的に解決するためには、地域の様々な主体と課題を共有し、協働してまちづくりを進めることが必要です。地域との協働に向けた具体的な取り組みを行うため、校区コミュニティ協議会と定期的に情報交換を行い、地域課題を把握するとともに、一緒に解決策を考えていく仕組みとして、地域に市職員を配置する「地域担当職員制度」を平成28年度に導入します。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>①枚方市コミュニティ連絡協議会の4つのブロックに地域担当職員を配置し、地域との意見交換や地域課題の解決に向けた調整を行います。また、地域課題の解決に取り組んでいるNPOとの定期的な意見交換会を実施します。</p> <p>②多様な主体との協働を推進するため、市との協働による取り組みをまとめた事例集を作成します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：①50 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>①6月に12人の地域担当職員を任命しました。枚方市コミュニティ連絡協議会の4つのブロックに市職員を3名ずつ派遣し、地域との信頼関係の構築に努めながら、地域の公共的課題を共有化に向け取り組みを進めました。また、NPOとの協働については、ひらかた市民活動支援センターを中心とする「ひらかた防災学校企画委員会」のメンバーと防災に関する意見交換会を実施しました。</p> <p>②市として、今後より効果的な協働の取り組みを進めるため、市職員を対象とした「枚方市協働ハンドブック」を平成29年3月に作成しました。</p> <p>平成 28 年度決算：①50 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 校区コミュニティ協議会に対する補助制度の再構築

重点施策・事業 における目標	安全で魅力あるまちづくりを推進するため、校区コミュニティ協議会の活動に対し補助金を交付していますが、地域ではライフスタイルの変化や価値観の多様化により、自治会加入世帯の減少や役員の高齢化、担い手不足など、様々な課題を抱えています。今後、地域活動の活性化を図っていくためにも、地域の自主性を高める補助制度の構築に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	校区コミュニティ協議会への補助制度については、現行制度の課題を整理し、より地域の自主性が高められるよう制度の再構築を行います。 平成 28 年度当初予算：54,228 千円
平成 28 年度の 実績	地域の自主性が高められる補助制度の構築に向け、校区コミュニティ協議会との協働のあり方や現行制度の課題等の整理を行いました。 平成 28 年度決算：54,228 千円
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

(3) 地域防災計画・国民保護計画の改訂

重点施策・事業 における目標	地域防災計画・国民保護計画を改訂し、災害体制の強化・確立を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	地域防災計画については、機構改革を反映すると共に、国民保護計画についても、近年の状況等を勘案した国・府の計画及び本市地域防災計画、その他計画との整合性を図るよう改訂を行います。 平成 28 年度当初予算：551 千円
平成 28 年度の 実績	地域防災計画及び国民保護計画について、上記の修正事項を反映させ改訂しました。 平成 28 年度決算：86 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 防災啓発ブース（フェア）の出展

重点施策・事業 における目標	集客力のある市内イベントにおいて防災啓発ブース（フェア）を出展し、市民一人ひとりの防災意識の向上を図ります。
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	集客力のある市内イベントにおいて防災啓発ブースを出展し、非常持ち出し袋の展示や、来場者が楽しみながら防災を学べるクイズを実施し、防災知識の普及、意識啓発につなげていきます。
	平成 28 年度当初予算：400 千円
平成 28 年度の 実績	5 月から 1 月にかけて、集客力のある市内イベントにおいて防災啓発ブースを 8 回出展し来場者に対し、防災知識を普及するとともに防災意識の啓発に努めました。
	平成 28 年度決算：285 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(5) 防犯カメラの増設

重点施策・事業 における目標	通学路等の安全対策の強化に向け防犯カメラを増設します。
平成 28 年度の 取り組み	現在、市内に街頭防犯カメラを 329 台設置し運用していますが、さらなる安全対策の強化を図るため、通学路を含め、犯罪の抑止効果が期待できる場所の選定を進めます。その後、現地調査や地域のご意見もお聴きした上で、設置場所・台数を決定し、平成 28 年度からの 2 か年で設置できるよう取り組みを進めます。
平成 28 年度の 実績	通学路等の安全や犯罪の抑止効果が期待できる場所を選定し、増設する防犯カメラを 650 台としました。平成 28 年 9 月補正予算議決後、プレスリリースを行うとともに、校区コミュニティ協議会及び枚方市防犯協議会に対し事業説明を行い、平成 29 年 3 月に無線通信式防犯カメラの賃貸借の契約を締結しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(6) 市民室窓口の休日開庁の拡大

重点施策・事業 における目標	仕事の都合等で平日の来庁が難しい市民に利用していただけるよう、住民異動届やマイナンバーカードの交付などの窓口の休日開庁の拡大を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	定期的な休日開庁を実施し、その利用状況を見極め、段階的な拡大を進めます。

平成 28 年度の 実績	住民異動届や印鑑登録の受付のため 3 月に 1 回、4 月に 1 回の休日開庁を実施していましたが、平成 28 年度にはマイナンバーカードの交付のため最大月 6 回の休日開庁を実施した結果、一定の利用者数が見込めることから、平成 29 年 3 月からは毎月第 4 日曜日を定期的の開庁日とし、住民異動届・印鑑登録及びマイナンバーカードの交付も含め、仕事の都合等で平日の来庁が困難な市民に対応できるよう、休日開庁の拡大を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(7) 消費者被害対策の推進

重点施策・事業 における目標	複雑化・多様化する消費者問題に対し、消費者が的確な判断が出来るよう、消費生活相談体制を充実するとともに、消費者教育・啓発の機会の提供等を行います。
平成 28 年度の 取り組み	消費生活相談の体制（増員・勤務日数の拡大等）や情報化相談用設備を整備することで消費生活センターの機能を充実します。また、教育機関への消費者教育支援や市民向けの消費者教育のための講演会を開催すること、情報提供に努めることで、消費生活における的確な意思決定・行動が出来る消費者の育成に努めます。
平成 28 年度の 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活相談員の増員や勤務日数の拡大による相談体制の強化に加え、タブレット端末などの相談用設備を整備することで、消費生活センターの機能充実を図りました。 ・トラブル事例の周知、問題解決のための助言並びに各種情報を提供するために「ご存知ですか？消費生活センター」リーフレットを作成し、全戸に配布しました。 ・昨年度に引き続き、消費者被害防止のために各種講演会等を実施するとともに、インターネット被害防止のために教育委員会と連携し、市立小中学校への専門講師派遣を行い、延べ参加人数は 11,000 人を超えました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
3. 北部支所における空きスペースの有効活用	北部支所 1 階フロア事務所の南西側の一部の空きスペースを小規模保育スペースとして利活用するための取り組みを進める。

実績	北部支所の空きスペースについては、小規模保育施設（平成 29 年 7 月開設）及び保健センターの地域拠点施設（平成 29 年 12 月開設予定）として活用することを決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	市が設立に関わり補助金交付等の支援をしている、特定非営利活動法人枚方市勤労市民会について、自立運営に向けた取り組みを促進するため、今後の支援のあり方について、今年度中に市の考え方をまとめる。また、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターについては、今年度中に策定予定の中長期プランに基づき、改善に向けた取り組みを進めるよう求めている。
実績	平成 28 年 5 月下旬から 6 月上旬にかけて、大阪府内全市町村を対象に勤労者互助会の状況調査を実施し、調査結果も踏まえて作成した、今後の支援のあり方について、7 月以降に団体と協議を行った。 また、特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センターについては、平成 28 年 5 月に 10 年間を計画期間とする中長期の経営プランを策定し、プランで定めた方向性に基づく取り組みを進めている。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
15. サービスコーナー（蹠、牧野、菅原）の廃止	人口減少や各種証明書のコンビニ交付サービスの普及、マイナンバー制度による情報連携の開始などに伴い、今後、証明書の発行件数が減少していくことが予想される。そのため、サービスコーナー（蹠、牧野、菅原）の利用状況を見極めたうえで、廃止に向けた見直しを進める。一方、仕事の都合等で平日の来庁が難しい市民に利用していただけるよう、休日開庁の充実を図り、利便性の高い窓口サービスをめざす。
実績	サービスコーナーにおける証明書の発行件数の減少、それに伴う人件費コストの増加や証明書発行に係るコンビニ交付サービスの充実などの状況を鑑み、平成 29 年 3 月 31 日をもって、蹠、牧野、菅原サービスコーナーを廃止した。一方、平成 29 年 3 月からは毎月第 4 日曜日を定期的に開庁日とし、住民異動届・印鑑登録及びマイナンバーカードの交付も含め、仕事の都合等で平日の来庁が困難な市民に対応できるよう、休日開庁の拡大を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
16. 市民交流センターのあり方の決定	効率的・効果的な運営を図る観点から、生涯学習市民センターと一体的な指定管理者制度の導入も視野に入れた施設の今後のあり方について検討を進め、方向性をまとめる。
実績	平成30年度に予定している生涯学習市民センターと図書館の複合施設(6施設)への指定管理者制度の導入にあわせて、市民交流センターについて、牧野生涯学習市民センターとの一体管理を開始する方向で調整を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
自主防災組織への支援	継続的かつ効率的に地域防災力を向上させるため、既存受講者に対するのフォローアップに取り組むなど、地域防災推進員の育成事業について、研修内容の改善・充実を図る。
実績	地域防災推進員の育成研修に70名が参加し、地域の防災リーダーとしての防災知識を修得した。なお、70名の内3名は既存受講者であり、フォローアップとして研修を行った。研修内容の改善については、災害時に自主防災組織が担う役割の中で重要な位置を占める避難所運営に力点をおいて、研修を実施した。具体的には避難所運営を疑似体験できるプログラムである避難所運営ゲーム(HUG)を実施するとともに、東日本大震災等で避難所の運営支援に携わった方による講演等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
窓口サービスの向上	市民室での住民異動に連動する各種手続き(国民健康保険、児童手当等)について、担当課と連携し、丁寧な説明や適切な取り継ぎを行うとともに、迅速な対応に努める。
実績	新任職員に対し、担当課職員による各種手続き(国民健康保険、児童手当等)についての研修を実施。住民異動に連動する各種手続きについて、丁寧な説明や適切な取り継ぎに取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆地方消費者行政推進交付金等を活用し、相談員のレベルアップ及び消費生活相談体制の整備や、大型講演会の実施及び啓発冊子の作成など、様々な消費者教育・啓発事業に取り組みます。

実績	地方消費者行政推進交付金等を活用して、専門事例研修会へ相談員を派遣し、相談業務に必要な情報や知識を身につけることで、相談員のレベルアップを図りました。あわせて、増加するインターネット関連の相談に対応するため、タブレット端末等を購入し、消費生活相談体制の整備を実施しました。また、消費生活センターの周知活動として、消費生活センターリーフレットを刷新し、市内全戸配付するなどのPRに加え、大規模講演会（消費者教育講演会、小中学校への講師派遣）を開催するなど、様々な啓発活動を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆個人番号制度導入に係る補助金を活用し、マイナンバーカードの窓口交付などの業務に取り組みます。

実績	社会保障・税番号制度事務費補助金の交付を受け、休日におけるマイナンバーカード交付のための職員の残業代や臨時職員の賃金に活用し、マイナンバーカードの普及及び交付等の業務に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆市民室は多くの市民と日常的に接する部署として、親切・丁寧な接遇スキルや迅速・適切な対応が求められるため、戸籍事務や住民基本台帳事務、マイナンバー制度に関わる事務などについて、本庁・支所の担当者全体のスキルアップと標準化を図るOJT（職場内研修）を行います。

実績	総務省主催のマイナンバー制度研修、法務局主催の戸籍研修、協議会主催の戸籍研修に延べ14人が参加しました。住民基本台帳事務、マイナンバー制度への理解を深めるために室内で研修会を実施しました。また、本庁支所合同で戸籍研修を3回実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆消費生活を取り巻く環境は日々変化しています。消費生活相談に適切に対応するため、国民生活センター等の専門研修への派遣や職場研修を実施するなど、職員の専門的な能力向上を図ります。

実績	国民生活センターや大阪府消費生活センターが主催する研修会や弁護士会との共同事例研究会等に相談員を派遣し、専門的な知識の習得に努めました。また職場研修を通じて、職員間での情報や知識の共有を図ることで、職員の能力向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆校区コミュニティ協議会や（特活）ひらかた市民活動支援センターが発行する機関紙を市ホームページに掲載するとともに、NPOの継続的な活動を支援する各種講座やイベント情報、ボランティア活動に関する情報を掲載するなど、市民活動に関する情報発信に努めます。

実績	校区コミュニティ協議会が発行する広報紙を市ホームページに掲載するとともに、NPOの中間支援組織である「ひらかた市民活動支援センター」が発行する広報紙・情報紙を市公共施設に設置するなど市民活動に関する情報発信に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆平成 27 年度に全戸配布を行った防災マップを利用し、防災訓練や、出前講座等で地域における災害リスクの周知を行うと共に、各イベントにおいて防災啓発ブースを積極的に展開し、市民一人ひとりに対し、防災情報を発信していきます。

実績	校区で実施された HUG 訓練(10 回)、DIG 訓練(1 回)、防災講演会(5 回)や、防災出前講座(25 回)、各イベントにおける防災啓発ブース(8 回)において、防災マップを利用して災害リスクや防災情報の周知を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆マイナンバーカードの交付を円滑に進め、また、証明書発行に係る行政コストを抑え市民の利便性の向上に繋がるコンビニ交付サービスを普及させるため、市ホームページや広報ひらかた、出前講座を通じて積極的な情報発信に努めます。また、証明書を発行する窓口コンビニ交付サービスに係るポスターを掲示し、サービスの周知に努めます。

実績	マイナンバーカードを普及させるため、蹉跎・牧野・菅原サービスコーナーで申請時来庁方式の受付を行い、1,039 件の申請を受けました。また、市ホームページの常設の専用サイトの作成、広報ひらかたに記事を 10 回掲載、証明書を発行する窓口ポスターを掲示するなど、コンビニ交付サービスの普及のために情報発信を積極的に行いました。マイナンバー制度の周知のため自治会などを対象に出前講座を 8 回行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆緊急性の高い悪質商法などの情報を提供する月刊『くらしの赤信号』と、専門性の高い情報を分かりやすく提供する季刊『シグナル』等の啓発紙を発行し、消費生活に関する情報発信に努めます。

実績	月刊『くらしの赤信号』では、緊急性の高い情報を簡潔に発信することに努め、毎月7,500部発行し、駅街頭PR活動時にも配布をしました。なかでも、「劇場型勧誘」に関する相談が多く寄せられたので、注意喚起記事を掲載しました。季刊『シグナル』は、「専門性の高い情報」を「分かりやすく」編集する、消費者問題全般を体系的に取り上げる消費者啓発誌。平成28年度は、「液体入りスマホケース」の液漏れに関する注意喚起や、「ガスの小売り全面自由化」などの商品知識、インターネット通販の定期購入「初回お試し購入」に関するトラブルなど、タイムリーなトピックを取り上げました。季刊各7,000部。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	総務部の取り組み実績
	<部の構成> 人材育成室人事課、人材育成室職員課、コンプライアンス推進課、総務管理課、 情報推進課

1. 重点施策・事業

(1) メリハリのある人事・給与制度の充実

重点施策・事業 における目標	人事院勧告や社会情勢等を踏まえた、適正な給与水準の確保に努めつつ、職員のモチベーションの向上を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	人事院勧告や他市の動向を注視し、給与水準の適正化に努めつつ、新たに設置する枚方市人事・給与に関する評価員（外部有識者）の意見を聴きながら、職員のモチベーション向上の観点から、よりメリハリの効いた制度となるよう取り組みます。また、あわせて技能労務職員の給与については、その水準が適切であるかを検証するための調査を実施します。
平成 28 年度の 実績	<p>管理職員（課長以上）について、人事評価制度による評価結果の給与への反映拡大を行いました。また、平成 29 年度からの係長以下の職員に対する反映拡大及び非正規職員への制度導入に向けての取り組みを進めました。</p> <p>適切かつ安定した執行体制の確保を目的に複線型人事制度の導入に向けて取り組みを進め、課長代理級において特定分野を専任的に担う職を設置しました。</p> <p>給料表に関しては、平成 18 年 4 月の「給与構造の見直し」実施時に設定した経過措置を平成 29 年 4 月 1 日から廃止し、国に準じた構成となるよう見直しを行いました。</p> <p>技能労務職員の給与については、その水準を把握するため、複数の市内事業所を対象に聞き取り調査を実施しましたが、官民比較を行うことには課題が多いため、調査は収束し、次年度において従事する業務内容等を踏まえ、給与水準の適正化に向け取り組みを進めることとしました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 職員の多様な価値観や個性を尊重する市役所づくり

重点施策・事業 における目標	<p>多様な価値観や発想を行政に反映させる観点から、採用、登用、人材育成、職場環境の改善など、あらゆる面から女性の活躍を推進します。</p> <p>また、障害者差別解消法に基づく施策を推進しつつ、障害者雇用に積極的に</p>
-------------------	--

	<p>取り組むとともに、障害のある職員が採用後も安心して永く働き続けることができる職場環境づくりに努めます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>「女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画」に基づき、職員の意識改革なども含め、女性の活躍を推進する様々な取り組みを実施します。</p> <p>また、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」などを活用した職員研修を通じて、職員の理解を深めるほか、今年度においても障害者枠を設定した採用を検討するなど、人材の確保に取り組みます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：374 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>「女性職員の増加」に向けた取り組みとして、市採用試験の受験者等を対象とする職員採用セミナーで、男女問わず働きやすい職場であることを PR するとともに、現在活躍中の女性管理職員によるメッセージをホームページに掲載しました。また、働き方改革も含めた職員の意識改革をめざし、職員のキャリアと人生を応援しながら組織としての業績・結果を出しつつ、また、自らも仕事と私生活を楽しむことができる“イクボス”を養成することを目的に、課長以上の管理職を対象に 12 月に研修を実施したほか、女性管理職との意見交換等を行う場として、女性職員を対象としたキャリアプランニング研修を 1 月に実施しました。</p> <p>その他、「障害者差別解消法」の施行を受け、職員の障害への理解を深めるために次長・課長を対象として、障害者差別や合理的配慮をテーマとした人権研修を実施しました。その後、各職場で全職員を対象に職場研修を行い、人権意識の向上を図りました。</p> <p>加えて、事務員の職種において障害者枠を設定し採用試験を実施しており、人材確保に向け取り組みました。</p> <p>平成 28 年度決算：483 千円（※補正予算等の対応あり/その他関連経費あり）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

（3）審議会等の会議録の速やかな公表

重点施策・事業 における目標	市民や市民団体などとの情報の共有化の一環として、審議会等の会議録の速やかな公表を図り、公正な行政運営の推進に取り組みます。
平成 28 年度の 取り組み	会議録の速やかな公表を行うため、会議録の公表までの期間や意思形成過程等の非公開情報が含まれる場合の会議録の公表方法の具体化を図ります。

平成 28 年度の 実績	会議録の非公表の理由を具体的に記入する等の会議録の記入例の見直しを行い、周知を図りました。また、審議会の開催状況及び会議録の確定状況を把握する仕組みを導入し、会議録の確定及び公表状況を管理しています。これにより、公表までの期間の具体化について検討すべく、庁内の現状把握を進めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(4) 来庁者用駐車場の有料化に向けた取り組み

重点施策・事業 における目標	市役所本庁舎の来庁者用駐車場は開設以来無料で運用していますが、平成 27 年 11 月に取りまとめられた「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」を踏まえ、駐車場利用者への受益者負担やスムーズな駐車場利用、近隣の良好な住環境維持など駐車場管理の適正化の観点から、来庁者用駐車場の有料化をめざします。
平成 28 年度の 取り組み	来庁者用駐車場の有料化について、民間事業者の活用など運用手法や運営時間、料金設定など具体的な内容を決定し、来庁者用駐車場有料化の実施に向けた手続等を進めます。
平成 28 年度の 実績	駐車場の有料化については、民間の駐車場運営事業者へ駐車場用地を貸し付けて運用することと決定し、平成 28 年 11 月に「市役所駐車場貸付一般競争入札」を実施しました。競争入札により決定した駐車場運営事業者により駐車場整備工事を行い、料金設定など具体的な運用内容を決定し、平成 29 年 1 月から駐車場運営事業者による有料での運用を開始しました。 有料化での運用開始による効果額としては、土地貸付料収入の総額（4 年 3 ヶ月分）は 6380 万 1000 円であり、平成 28 年度分として 375 万 3000 円（3 ヶ月分）の土地貸付料収入がありました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) オープンデータ化の拡充・活用

重点施策・事業 における目標	市の保有する情報を、機械判読に適した形式で二次利用可能なルールで公開する「オープンデータ」をホームページ等で公開し、行政の透明性や信頼性の向上をめざします。市民による各種行政データの利活用を促進するため、市民参加によるアプリケーション開発にも取り組みます。
平成 28 年度の 取り組み	オープンデータの拡充を図るとともに、庁内で事例調査・研究を進め、市全体としての取り組みを進めることや、オープンデータを活用した試行版アプリケーションの導入及びその効果測定などによりオープンデータの利活用の促進を図ります。

	平成 28 年度当初予算：2,000 千円
平成 28 年度の実績	<p>公開するオープンデータの拡充を図るため、8 月に「枚方市オープンデータ推進に関するガイドライン」を策定し、全庁周知を行いました。9 月にはガイドラインに基づき、各部署が保有するデータ調査を行った結果、現在の公開データ数は 27 種 257 ファイルとなりました。</p> <p>オープンデータを活用した市民参加によるアプリケーション開発等については、2 月に「アプリ制作イベント」を開催し、イベントでの成果を市の試行版アプリとして採用しました。今後、市内大学との共同研究にて試行版アプリの機能改修を行います。</p>
	平成 28 年度決算：1,728 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	市役所本庁舎の来庁者用駐車場有料化の実施に向け、運用手法等について検討し、手続きを進める。
実績	平成 28 年度に、市役所駐車場（庁舎別館）の有料化による運営方法について、時間貸しで自動車駐車場の運営ができる民間事業者（以下、「運営事業者」）に駐車場用地を貸し付けて運用することと決定し、平成 28 年 11 月に「市役所駐車場貸付一般競争入札」を実施した。競争入札によって決定した運営事業者により平成 28 年 12 月中に駐車場整備工事を行い、平成 29 年 1 月から有料での運用を開始している。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
17. 人事給与システムの再構築による事務の効率化と人材育成の推進	人事給与・庶務事務システムを刷新し、更なる事務の効率化を図るとともに、人事データの一元管理による長期的かつ計画的な人材育成の推進を図る。
実績	人事給与・庶務事務システムについては、職員等の特定個人情報を含む個人情報を電算処理することから、本市情報公開・個人情報保護審議会に諮問し答申を得るとともに、一般競争入札により業者を決定し、平成 29 年度の本稼働に向けて、構築作業を行っている。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
18-1. 電子自治体の推進 (図書館システム及び地 図情報システム更新等による活用)	教育環境の充実を図るため、図書館システムの再構築に合わせ小中学校へも利用範囲を広げるとともに、効率的な行政運営を図るため、住基情報を利用できる地図情報システムの導入を行う。
実績	図書館システムについては、平成 28 年 10 月までに新システムの構築を完了し、学校図書館の蔵書情報電子化、教員向け研修の実施等、平成 29 年 4 月の運用開始に向けた準備を進めた。 地図情報システムについては、平成 28 年 12 月までに新システムの構築を完了し、運用を開始した。新システムでは、地図上での住基情報の利用により、地域特性に応じた施策の分析・展開等、全庁的な活用を可能とした。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
18-2. 電子自治体の推進 (オープンデータ化の拡 充・活用)	市民の利便性向上を図るため、公開する行政情報（オープンデータ）の種類を拡充に取り組み。また、オープンデータを活用した試行版スマホ用アプリによる検証を行い、公式アプリの導入及び機能の選択等、検証結果に応じた対応を行う。
実績	オープンデータの種類について、「市長への提言」や「農産物のふれあい朝市」等を拡充するとともに新たに公開し、データの種類を増やした。 試行版アプリによる検証等については、平成 29 年 2 月にアプリを作成するイベントを実施(参加者：24 人)し、イベントでの成果を試行版アプリとして採用した。 〈オープンデータの種類〉 H27：23 種類 38 ファイル H28：27 種類 257 ファイル
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
18-3. 電子自治体の推進 (ペーパーレス会議システム の導入)	会議運営の円滑化・効率化を図るため、試行版ペーパーレス会議システムの導入を行い、本導入に向けた効果検証を行う。
実績	平成 28 年 10 月から庁内の一部部署の会議体でタブレット端末を利用したペーパーレス会議を試行的に実施した。 試行結果から、紙資料の抑制や資料印刷等の時間短縮など、一定の効果が得られることを確認したが、利用者の操作スキルの向上が必要など、本格導入に向け解決すべき課題等も認められたため、継続して、システムの本格導入に向けた検討を行っている。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
18-4. 電子自治体の推進 (自治体クラウドの推進)	自治体クラウドの推進のため、効果の高い業務の洗い出しや、他自治体調査等を行う。
実績	大阪府自治体クラウド検討会（事務局：大阪府）へ参加し、府下の複数自治体とともに、ハードウェア共同利用の実現を目指し、将来的には業務アプリケーションの共同利用へと、段階的な自治体クラウド化を進めるべく、連携が取れる自治体の調査や、費用対効果等の調査分析の取り組みを進めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-1. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み (庁舎維持管理業務)	老朽化が著しい庁舎における緊急修繕や環境整備に対応できる職員の適正配置を行う。
実績	本庁舎等の緊急修繕や頻繁な環境整備に迅速に対応できるよう、正職員・再任用職員の適正配置を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
48. 人材育成基本方針に基づく職員力の向上	各職員が高いコンプライアンス意識を備えた「自律型職員」へと成長するため、「職員研修体系・研修計画」を改訂し、各ステージで必要となる能力を確実に身に付けるため各種研修を実施する。
実績	人材育成基本方針の趣旨を踏まえつつ、新たな課題などにも対応するため、研修体系の見直しを行うとともに、それに基づく研修計画に沿った研修などを行うことで、職員の意識改革、人材育成に取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
49. メリハリの利いた人事・給与制度の充実	職員のモチベーション向上や、人材育成の観点を踏まえつつ、人事評価制度の給与反映の拡充や、特定分野に精通した職員を育成し、業務を専任的に担う制度の構築など、メリハリのある人事・給与制度の充実に向け取り組む。

実績	平成 28 年 4 月に人事・給与に関する評価員を設置し、評価員からの意見を踏まえ、以下の内容の実施を決定した（実施時期はいずれも平成 29 年 4 月 1 日）。
	①複線型人事制度の構築 ②再任用制度の見直し ③行政職給料表の経過措置の廃止 ④人事評価制度による評価結果の給与反映の拡充
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
50. 職員定数と給与水準の検証	<p>現行の「職員定数基本方針」を、事務事業に見合った適正な職員数であるか精査・検証しつつ、新行政改革実施プランのそれぞれの取り組み課題の内容を踏まえ改訂する。また、技能労務職員にかかる民間事業者の給与水準の調査・検討に取り組む。</p>
実績	<p>「職員定数基本方針」の改訂に向けて、「枚方市新行政改革実施プラン」に基づく取り組み状況等の把握を行った。</p> <p>また、民間企業における技能労務職員の給与水準等を把握するため、複数の市内事業所を対象に聞き取り調査を実施したが、官民比較を行うことには課題が多いため、調査は収束し、次年度において従事する業務内容等を踏まえ、給与水準の適正化に向け取り組みを進めることとした。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

（２）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
人事・給与システムの刷新	<p>現行の人事給与システムは導入から 10 年が経過し、処理性能の低下や機能不足などの問題が発生しているため、人事評価や健康管理など分散管理している業務についても一元管理した新たなシステムを導入し、効率的・効果的な事務執行体制を確立する。</p>
実績	<p>更なる事務の効率化と人材育成の推進の観点を踏まえつつ、関係部署と連携を図りながら、新しい人事給与システムの調達仕様書の作成を進めた。</p> <p>また、本システムにおいては、職員等の特定個人情報を含む個人情報を電算処理することから、本市情報公開・個人情報保護審議会に諮問し答申を得るとともに、一般競争入札により業者が決定し、平成 29 年度の本稼働に向け、構築作業を行っている。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
ハラスメントの防止	全ての職員が個人として尊重され、信頼しあって働ける職場環境をつくるため、ハラスメントの相談及びハラスメント防止対策を進める。
実績	ハラスメント全般に対する防止体制の整備に向けた庁内の合意形成を図り、苦情相談体制の充実等について具体的に検討を進めた。また、職場研修担手を対象としたパワーハラスメント防止研修を実施し、引き続き、職員の意識啓発に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
セキュリティ対策の強化	平成 29 年 7 月からのマイナンバー制度の情報連携開始までに、ネットワークの分断などの技術的セキュリティ対策を行う。 情報セキュリティに関する研修や訓練を実施することで、職員の情報セキュリティ意識と対応力の向上を図る。 重要情報を管理するサーバ室について、情報セキュリティの向上を図るため、入退室管理等の更なる強化に努める。
実績	国の方針に従い、業務用端末からインターネット環境を完全分離するセキュリティ対策を強化するための事前準備を行った。必要なシステム（仮想デスクトップによるインターネットの閲覧、異システムのネットワークへのファイル転送、ウイルス等の可能性があるメールの無害化）の構築作業を行った。また大阪府セキュリティクラウド参加へ向けた事前作業を行った。 新入職員、新任課長への情報セキュリティポリシー研修及び全課を対象とした情報セキュリティ研修、ウイルス対策専門業者によるセキュリティに関する研修会を実施した。また、標的型メールを模した実践的な訓練を実施し、サイバー攻撃への対応体制について庁内への効果的な周知を行った。 サーバ室のセキュリティ向上については、サーバ室入退室用カードの貸出状況の日次チェック、スマートフォン等の私物持込の制限を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
タブレット端末等の導入	持ち運びが可能で利便性の高いタブレット端末の行政事務での有効的な利活用について、セキュリティも十分考慮しながら調査・検討し、導入を進める。
実績	平成 28 年 10 月より、庁内の一部部署の会議体で、タブレット端末を利用したペーパーレス会議を試行的に実施。今後も継続してシステムの本格導入に向けた検討を行う。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆引き続き、共用封筒及び給与明細への広告掲載や広告付き地図案内板等の設置により、約 250 万円の財源確保を見込んでいます。

実績	給与明細の広告掲載 47 万 7009 円	
	共用封筒の広告掲載 38 万 1000 円	
	広告付き地図等案内板 152 万 7350 円	
	公用車の広告掲載 20 万円	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆リース契約のサーバ等情報機器について、利用可能であれば継続して利用する（再リース）ことにより、全体の費用節減を図ります。

実績	業務用端末・サーバ等のリース契約の継続契約により費用削減を図りました。(1 年間で約 600 万円減)
	取り組みに対する達成状況

- ◆端末調達時には、各課との合併入札を推進し、事務負担の軽減と仕様の適正化、および一括発注による費用削減を図ります。

実績	重要データのバックアップ用媒体の外部保管委託を市長部局、上下水道局、市立ひらかた病院の 3 部局それぞれで契約していたものを合併入札することでコストの削減を図りました。(1 年間で約 10 万円減)
	取り組みに対する達成状況

4. 組織運営・人材育成

- ◆職員の人材育成には、「組織で人を育てる」ことや、「風通しの良い職場環境づくり」の観点が必要であることから、部下のワーク・ライフ・バランスを考慮しつつ、組織としてしっかりと業績・結果を出すことができる上司である「イクボス」を養成する講座を実施します。

実績	女性活躍やワーク・ライフ・バランス等についての意識向上を図るため、大阪市立大学大学院創造都市研究科准教授の永田潤子さんを講師として課長級以上の職員を対象とする研修を実施しました。	
	実施日：平成 28 年 12 月 21 日、22 日	
	テーマ：様々な立場から考える女性活躍推進法とライフ＆ワークバランスについて」	
	受講者数：231 人	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆人権研修、公務員倫理研修、メンタルヘルス研修を平成 28 年度の職場研修の必須科目に位置づけ、全職場、全職員で取り組むことで、職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上や、人権感覚に敏感な職員の育成を図ります。

実績	<p>人権研修では、職員の障害への理解を深めるため、障害者差別や合理的配慮をテーマとする研修を実施しました。公務員倫理研修では、個人所有の情報端末の取り扱い等について各職場で研修を実施し、コンプライアンス意識の向上を図りました。また、職場の健康管理意識の向上に繋げるため、メンタルヘルス研修を実施しました。</p> <p>平成 28 年度職場研修実施件数：700 件</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆労働安全衛生法の一部改正を受け、職員のメンタルヘルス不調の未然防止の観点から、新たに「ストレスチェック制度」を全庁的に実施し、いきいきと働きやすい職場環境の構築に効果的につなげます。

実績	<p>平成 28 年度から開始したストレスチェック制度について、メンタル不調の未然防止や職場環境改善につながるよう、高ストレス者に対する医療職面談の実施や各所属長に対して、職場環境改善につながるヒント集を添付するなど、活用に向けた取り組みを実施しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆「情報スキル向上計画」に基づき、それぞれの役割に応じた情報スキル向上に関する研修を実施します。マイナンバー制度を踏まえ、個人情報保護や最新のサイバー攻撃対策等に関する研修や訓練を通じ、更なる職員の意識向上を図ります。

実績	<p>グループウェア操作研修や地図情報システム（GIS）の活用研修、OA リーダー向け研修など、庁内システムの利活用促進を図る取り組みを行いました。また標的型メールを模した実践的な訓練を実施し、サイバー攻撃への対応体制について庁内への効果的な周知を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆女性の活躍を推進する観点から「女性採用比率」、「女性管理職比率」などの項目について公表するとともに、就職活動中の学生等に向けて、本市の女性の就業生活における活躍の推進に関する取り組みをはじめ、仕事と子育ての両立支援のための制度など、様々な情報を発信します。

実績	女性活躍推進法第 15 条及び第 17 条に基づき、「女性採用比率」や「女性管理職比率」、働きやすい職場環境づくりに繋がる研修等の実績について公表しました。また、採用試験の PR として、働きやすい職場であることを各大学で PR するとともに、ホームページ等で女性管理職のインタビューを掲載するなど、多岐に渡る情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆職員団体との交渉について、透明性を確保する観点から、平成 28 年度より交渉録を市ホームページに公開します。

実績	市民に対して透明性を確保する観点から、職員団体との交渉内容（交渉録）について、平成 28 年度（平成 28 年 3 月に実施した春闘交渉）から、市ホームページに公開しています。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆本市で実施している情報化施策の掲載や情報セキュリティ対策、子どもを守るニュースなど市民の関心の高い内容を市ホームページに掲載し、情報発信に努めます。

実績	「情報化基本計画」及び「情報化実施計画（平成 28 年度版）」を市ホームページに掲載。その他、市民等向けの講習として、小学生向けのセキュリティに関する出前講座を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆オープンデータの利活用促進のため、公開するオープンデータの拡充を図るとともに、市民や事業者等が作成したアプリケーションの活用事例を紹介するなど、市民への周知を図ります。

実績	オープンデータの拡充については、平成 27 年度に策定した庁内向けガイドラインに基づき、各部署が保有するデータ調査を行った結果、現在の公開データ数は 27 種 257 ファイルとなりました。 また、市民がオープンデータを活用し作成したサービスを市ホームページにおいて紹介することやオープンデータイベントの開催等により、更なる周知を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	財務部の取り組み実績
	<部の構成> 資産活用室資産活用課、資産活用室財産管理課、財政課、総合契約検査室契約課、総合契約検査室工事監理課、税務室税制課、税務室市民税課、税務室資産税課、税務室納税課、税務室債権回収課

1. 重点施策・事業

(1) 公共施設等総合管理計画の策定

重点施策・事業における目標	今後老朽化が懸念される公共施設等について、全体の状況を把握し将来人口を見据えた上で、機能の見直しや「更新」「統廃合」「長寿命化」などを計画的に行うことにより財政負担の軽減・平準化を図るとともに、公共施設等の最適な配置を実現できるよう、公共施設等を総合的かつ計画的に管理推進する上での基本方針を示した公共施設等総合管理計画（仮称「枚方市公共施設マネジメント推進計画」）を策定します。
平成 28 年度の取り組み	パブリックコメントの実施を経て、平成 28 年度末の公共施設等総合管理計画（仮称「枚方市公共施設マネジメント推進計画」）策定をめざします。 平成 28 年度当初予算：15,634 千円
平成 28 年度の実績	平成 28 年 12 月に計画案および概要版案をもってパブリックコメントを実施（意見：19 件）し、平成 29 年 3 月に「枚方市公共施設マネジメント推進計画」の策定及び公表を行いました。 平成 28 年度決算：10,292 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 予算編成過程の公表

重点施策・事業における目標	行政や地域における課題が多様化・複雑化する中、行政と市民や市民団体などが信頼関係を高め、協働によるまちづくりを進めていくため、市政の最も重要となる実行計画や予算の検討段階の情報などを公表し、共通の課題認識を持てるよう行政の透明性を高めていきます。
平成 28 年度の取り組み	予算編成過程を、平成 28 年 6 月補正予算からホームページで公表を行います。
平成 28 年度の実績	予算編成過程を、平成 28 年 6 月補正予算からホームページで公表を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 新地方公会計制度の導入

重点施策・事業 における目標	平成 27 年 1 月 23 日付総務大臣通知「統一的な基準による地方公会計の整備促進について」において、原則として平成 29 年度中に、統一的な基準による財務諸表を作成するよう要請がありました。本市では、他団体との比較を行うことにより、本市の財政状況の把握・分析をさらに深めるため、財務諸表の作成を行います。
平成 28 年度の 取り組み	固定資産台帳の整備及び財務会計システムのカスタマイズを行い、統一的な基準による財務諸表を作成できる環境を整えます。 平成 28 年度当初予算：20,335 千円
平成 28 年度の 実績	統一的な基準による財務諸表を作成できる環境の整備を行い、固定資産台帳の整備及び財務会計システムのカスタマイズを行いました。平成 27 年度決算における一般会計等の財務書類を作成しました。 平成 28 年度決算：15,338 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 入札契約制度の適正な運用

重点施策・事業 における目標	近年、建設工事における受注競争は激化しており、いわゆるダンピング受注による建設業者の経営悪化、下請業者へのしわ寄せ、現場の技能労働者等の賃金低下をはじめとする就労環境の悪化に伴う建設産業の担い手の減少などの問題が生じています。このことを踏まえ、将来にわたり信頼のできる品質の確保を図るため、公平性・公正性・透明性並びに競争性の向上を確保し、かつ適正な履行確保と事務の効率化をめざした入札・契約制度の運用を行います。
平成 28 年度の 取り組み	さらなる競争性の確保を図るため、建設工事における予定価格の事後公表を本格実施するなど、入札・契約過程の公平性・公正性・透明性を確保しながら適正な履行確保と事務の効率化を図ります。
平成 28 年度の 実績	4 月 1 日以降の建設工事（制限付き一般競争入札）に係る発注案件について、予定価格の事後公表を本格実施しました。 建設工事の適正な履行確保に向け、下請業者の社会保険の加入状況の確認、現場代理人の現場常駐の緩和措置等について、他市調査を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) ふるさと寄附金の推進

重点施策・事業における目標	ふるさと寄附金（納税）については、本市以外の自治体への寄附金に対する市民税控除額は年々増加する傾向にあり、昨年度から控除の上限額も拡充され、さらに増加することが想定されることから、一定額以上の寄附金に対して返礼品を設けるなど、より多くの方に市の施策を応援していただけるよう、本市への寄附額を増やす取り組みを行っていきます。
平成 28 年度の取り組み	返礼品送付初年度の取り組みとして、まずは 5～10 品目程度の返礼品で事業を開始し、寄附件数については、年間で 400 件の寄附をめざします。 平成 28 年度当初予算：1,300 千円
平成 28 年度の実績	寄附額を増やすための方策として、個人の寄附者に返礼品を送付する取り組みを速やかに開始するため、第一次運用として、平成 28 年 7 月から 14 品の返礼品を用意し、1 万円以上の寄附に対する返礼品の送付を実施しました。さらに、第二次運用として、12 月 1 日の寄附受付分から寄附額に応じた返礼品のグレードを 4 段階設け、一般公募により返礼品を 111 品目に拡充するなど、返礼品送付の本格実施を行いました。その結果、平成 28 年度の寄附実績は寄附額 1 億 3056 万 9 千円、寄附件数 4,504 件となりました。 平成 28 年度決算： 58,908 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(6) 税総合システム再構築事業及び番号連携システムの構築

重点施策・事業における目標	税業務の効率的な運用を図るとともに、税制度の改正等について適切に対応していくため、平成 28 年 6 月まで引き続き税総合システムの再構築を進めます。 また、社会保障・税番号制度の運用開始に伴い、平成 29 年 7 月より税務情報における情報提供ネットワークシステムとの接続開始にあたり、番号連携サーバとの連携を行うためのシステム構築を行います。
平成 28 年度の取り組み	新システムの本稼動に伴い、納税通知書の作成に向けて、適正な課税計算の実施や、システムによる障害を未然に防止するための取り組みを行うとともに、税総合システム再構築事業が終了となる 6 月までの間において、安定したシステム運用を実現するための運用マニュアル等の整備を行います。 また、平成 29 年 7 月より税務情報における情報提供ネットワークシステムとの接続開始にあたり、税総合システムと庁内にある番号連携サーバとの連携が必要となるため、連携システムの構築を行うとともに、運用開始に向けて検証を行います。 平成 28 年度当初予算：23,272 千円

平成 28 年度の 実績	<p>税総合システム再構築事業は 6 月に完了しましたが、今後の効率的なシステム運用や障害発生時の迅速な対応を図るため、運用マニュアルの整備を行いました。なお、平成 29 年 7 月に予定される税務情報における情報提供ネットワークシステムとの接続開始に向けて、連携システムの構築と検証作業を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：23,272 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(7) 市税等の収入確保について

重点施策・事業 における目標	<p>市税の収入確保においては、現年度課税分の優先徴収を行うなどにより滞納繰越を抑止し、税の公平性の確保の観点から、徴収率の維持・向上を図るための効果的な徴収体制を確立していきます。</p> <p>本市の税外債権の未収金額対策については、滞納整理をより強化するとともに債権管理のさらなる明確化や統一基準の策定に向けて取り組みます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>市税の収入確保については、徴収率の向上を図る方策として、個人住民税における特別徴収の推進のための訪問活動を行うなど、これまで効果のあった徴収の取り組みをさらに充実させ、平成 29 年度への滞納繰越額をさらに縮減させていきます。</p> <p>税外債権については、前年度を上回る徴収率の向上に向けて、債権所管課との連携及び指導・助言を図り、移管件数の増加及び移管債権の拡充を図るなど未収金の回収強化に取り組んでいくとともに、債権管理のさらなる明確化や統一基準の策定に向けて庁内委員会での検討を行います。</p>
平成 28 年度の 実績	<p>市税等の収入確保について、平成 30 年度からの個人住民税の特別徴収義務者の一斉指定に向けて、11 月開催の年末調整説明会において、特別徴収義務者の一斉指定のチラシを配布して説明を行うとともに、12 月の給与支払報告書総括表発送時においても、チラシ等を同封して事前周知を行いました。また、市税の徴収については、滞納発生後の早期着手など、これまで効果のあった取り組みについて実施しました。</p> <p>税外債権については、各債権所管課職員の徴収率向上のための研修として、債権回収課職員と共に金融機関へ臨場して預金差押執行を実施しました。また、副市長を委員長とする「市債権回収対策委員会」を新たに設置し、債権管理のさらなる明確化や統一基準の策定に向けて検討を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
4. 市有財産の有効活用	新たな財源確保策として、施設のネーミングライツ等、市が保有する土地・建物の有効活用に関して、民間事業者等から提案を募集する制度の構築に向けた取り組みを進める。
実績	民間事業者からの提案制度の構築に向けて、先進都市における事例などを参考に、本市における制度のあり方についての検討を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
5. 公債費の抑制	基金（貯金）を活用し、地方債発行額を毎年5億円程度抑制する。
実績	長期債の借換時に繰上償還を行うことにより、地方債残高の抑制を行った。 <繰上償還額> 平成28年度：6億7190万4000円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
6-1 市税等の収入確保 (ふるさと寄附金の推進)	ふるさと寄附金について、本市に寄附をしていただいた方に返礼品を送付する等により寄附額の増加をめざす。
実績	平成28年7月から14品の返礼品を用意し、1万円以上の寄附に対する返礼品の送付を試行実施した。更に、12月1日の寄附受付分から寄附額に応じた返礼品のグレードを4段階設け、一般公募により返礼品を111品目に拡充するなど、本格実施に移行した。 <寄附額(平成28年4月～平成29年3月)> 1億3056万9千円(内12月分 1億1643万6000円)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
6-2 市税等の収入確保 (未収金対策の強化)	平成27年度に作成した市債権徴収に関する全庁的な基準に基づく取り組みを行う。また、大阪府などと連携して、個人住民税の特別徴収を実施していない事業者を訪問指導等、特別徴収の推進を図るなど、平成31年度までに市税徴収率98%をめざす。

実績	<p>特別徴収を行っていない事業所に対して、実施を働きかける文書の送付を行うとともに、大阪府などと連携し、平成 30 年度からの特別徴収義務者の一斉指定の実施に向けての準備を進めた。</p> <p>市税徴収率の向上に向けて、効率的な財産調査の実施、債権優先の差押え、不動産公売の強化等の取り組みを行った。</p> <p>また、債権回収条例の制定に向けて、「市債権回収対策委員会」を新たに設置し、調査・検討を行った。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
7. 特別会計・企業会計の経営健全化と一般会計繰出金の抑制	特別会計・企業会計への繰出金のうち、市独自の判断で行う基準外の繰出金について抑制を図る。
実績	各特別会計・企業会計の経営計画に基づく、適切な繰出しを行った。さらに、国民健康保険特別会計については、平成 30 年度の国民健康保険の広域化にあわせた赤字解消に向け、「枚方市国民健康保険特別会計赤字解消計画」における収納対策強化等の取り組みを踏まえ、さらなる繰出金の抑制を行った。
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	平成 25 年 6 月に策定した「枚方市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」に基づき、平成 28 年度においては、約 13 億 8000 万円の公社保有地の縮減を図る。
実績	平成 25 年度から 29 年度までの取り組みとして「枚方市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」の進捗管理を行っており、28 年度は計画を達成した。また、計画最終年度である平成 29 年度についても、計画達成する見込みである。
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

改革課題	取り組み内容・目標
19. 公共施設等総合管理計画の策定及び推進	将来人口を見通した公共施設等の最適な配置を実現するため、公共施設等を総合的かつ計画的に管理する「公共施設等総合管理計画」（仮称「枚方市公共施設マネジメント推進計画」）を平成 28 年度中に策定する。
実績	平成 28 年 12 月に計画案および概要版案をもってパブリックコメントを実施（意見：19 件）し、平成 29 年 3 月に「枚方市公共施設マネジメント推進計画」の策定及び公表を行った。
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

改革課題	取り組み内容・目標
20. 統一的な基準による地方公会計の整備	中長期的な財政運営への活用の充実を図るため、国の統一的な基準による財務書類の作成を行う。
実績	総務省より無償で提供された標準ソフトウェアを導入し、財務会計システムとの連携を行うための、改修を行った。 平成 27 年度決算に基づき、国の統一的な基準による財務書類（一般会計等）を作成した。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
業務マニュアル	経験年数の浅い職員が増加する中、円滑な事務執行のため業務マニュアルの充実に努める。
実績	議会関係事務など毎年度変更のある事務について、マニュアルの更新を行ったほか、新たな業務についても可能な限りマニュアルを作成し、事務の効率化を図るよう取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
インターネット公売の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・差し押さえた不動産やタイヤロックの実施により引き上げた車両等のインターネット公売について、取り組みを促進し、市税の徴収強化を図る。 ・タイヤロックの現物を納税課のカウンターに展示し、徴収強化をアピールする。 ・庁内に差し押さえた不動産、動産の公売周知ポスターを掲示することで市税の滞納を抑止する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・タイヤロックを通年の取り組みとして、5 台の車両（バイク・軽自動車等）のタイヤロックを執行した。 ・タイヤロックで差し押さえた車両 1 台を公売で売却し、落札価額は 42 万円となった。 ・不動産公売は、過去最高の 6 件を売却し、落札価額合計 4528 万 6000 円となり、うち、2937 万 1009 円を滞納税に充当した。 ・タイヤロックの現物を納税課カウンターに常時展示することで、徴収強化をアピールした。 ・庁内に差し押さえた不動産、動産の公売周知ポスターを掲示し、市税の滞納を抑止すると共にインターネット公売参加者の促進も図った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
受付業務の充実	財務部では、税務関係職場を有するため市民から申告や申請等の受付が多くある。申告書等にチェック欄を設けることにより、市民の方の申告項目に漏れが起きないように充実することで市民サービスの向上にも取り組む。
実績	市民が申告書作成や窓口に来庁する際に、記載内容や添付書類の漏れがないことを視覚的に確認できるよう、申告書をはじめ申告の手引きや申告書作成ホームページ内に自己チェック欄を設けるなど充実を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆不動産の処分や賃貸借に係る算定基準を策定することにより、不動産鑑定評価を委託する必要がなくなったことから、事務の効率化及び269万6000円の経費の縮減ができました。

実績	平成27年度より不動産の処分や賃貸借に係る算定基準を策定し、平成28年度も引き続き算定基準による評価を行い、不動産鑑定評価委託の必要がなくなったことから、事務の効率化及び約448万6000円の経費が削減できました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆新システムの本稼動による標準パッケージシステムの導入に伴い、効率的な運用を図ることが可能となるため、予算編成にあたり税総合システム運用保守委託料が1387万7000円削減できました。

実績	新システムの本稼動による標準パッケージシステムの導入に伴い、効率的なシステム運用を行ったため、税総合システム運用保守委託料については、予算額の範囲で適正に執行することができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆税業務においては、公平かつ適正に賦課・徴収を行い、市民への説明責任を果たすため、固定資産評価、滞納処分、税制改正及び課税事務など専門的知識と経験が必要になることから、派遣研修やOJTを通じ職員のスキルを高めます。

また、部内職員向けに年2回「市税レポートひらかた」と題した情報誌を発刊し、職員の研究成果や実務、研修報告を掲載することにより職員の向上心も高めます。

実績	新任職員を対象とした「新任税務職員研修会」(4月、5月)や「徴収実務研修会」を開催したほか、職場研修や派遣研修を通じ、税務室職員のスキル向上を図りました。また、税務室職員向けに情報誌「市税レポートひらかた」を9月、2月に発刊し、職員の向上心を高めるとともに、研修報告や税務情報など情報の共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆入札・契約に係る職員の不正行為防止のため、総務部が実施するコンプライアンス推進の取り組みと連携して、全部局を対象とした合同研修会を実施することにより、より効果的な職員の意識啓発と向上を図ります。

実績	入職後概ね5年目までの職員、事務担当者及び管理職を対象として実施し、それぞれの対象者に応じた内容により、3月に総務部との合同研修会を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆市税以外の4債権の職員の徴収ノウハウの向上を図るため、所管部署と連携し、財産調査や滞納整理などの実践研修を行います。

実績	債権所管課職員と共に差押実践研修を実施しました。また、寝屋川市滞納債権整理回収室から講師を招き徴収実務研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆税に関する制度の情報発信

税に関する制度をわかりやすく、より広く市民に周知できるよう、広報ひらかたやホームページにある市税のページでの情報発信の充実に取り組みます。

実績	税の制度や申告の受付などの情報を広く市民に周知するために、広報ひらかたやホームページへの掲載を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

◆租税教室の推進及び啓発

次代を担う子ども達にも市の財政や市税の仕組みを理解して貰うことを目的として、枚方税務署管内租税教育推進協議会の主催により、市内小学校で開催する租税教室に税務室職員を講師として派遣するとともに、「税に関する小学生の習字展」の開催や、「中学生の税に対する作文」の優秀作品の掲載を行います。



実績	<ul style="list-style-type: none"> ・租税教育推進協議会の主催により、税務室職員を講師として派遣し、1月に開成小学校6年生の3クラスの児童を対象に「租税教室」を開催しました。 ・「税に関する小学生の習字展」を市役所別館1階にて11月に開催し、金賞・銀賞作品32点を展示しました。 ・中学生の「税についての作文」の中から選ばれた優秀作品のうち、「枚方市長賞」の作文をホームページに掲載しました。 	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

◆入札・契約に関する情報発信

入札・契約制度や入札参加資格申請受付などの情報について、これまでからの広報ひらかたやホームページによる情報発信に加えて、メールによる発信を行い、一層の周知を図ります。

実績	FAX送信により行っている事業者への通知・広報について、メール送信への転換が対応可能となったものから随時実施しました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

◆ふるさと寄附金の情報発信

クレジット収納に加え、郵便局から寄附ができるよう利便性を向上させるなど、ふるさと寄附の拡大を図るため、広報ひらかた、ホームページ、リーフレットの作成など様々な媒体を通して周知を図るとともに、ふるさと寄附金専用サイトの活用などによる全国への情報発信を進めていきます。

実績	ふるさと寄附の取り組みについて、より広く知ってもらうために、広報ひらかた、ホームページ、リーフレットの作成や、ふるさと寄附金専用サイトの活用など様々な媒体を通して周知を図ったことで、全国の寄附者から多くの寄附を募ることができました。また、寄附の申し込みの際において、従来からのクレジット決済に加え、新たにコンビニエンスストア、Pay-easy、携帯電話キャリア決済を可能とし、寄附手続きにおける利便性の向上を図りました。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

◆滞納処分強化等に関する情報発信

市のホームページを通じて、滞納者に対する「タイヤロック」や「インターネット公売」等の滞納処分強化の取り組みなど、多くの市民に周知するとともに、市税の納期限までに納付いただけるよう周知を図っていきます。

実績	市のホームページへ、「タイヤロック」や「インターネット公売」の実施に関する取り組みを掲載し、多くの市民への周知を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

平成 28 年度	産業文化部の取り組み実績
	<部の構成> 産業文化政策課、産業振興室商工振興課、産業振興室賑わい交流課、 産業振興室農業振興課、文化生涯学習室

1. 重点施策・事業

(1) 総合文化施設の整備

重点施策・事業 における目標	<p>老朽化した市民会館に代わり、集客と賑わいを創出する新たな文化芸術の拠点施設として、総合文化施設を整備します。</p> <p>総合文化施設整備計画では平成 31 年度中の開館となっていますが、建設費の高騰対応等により遅れが生じているため、できるだけ早期の整備に向け、取り組みます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>設計業務について、平成 28 年 9 月を目途に基本設計をまとめ、実施設計を進めます。</p> <p>また、総合文化施設の事業用地の買い戻しを行うとともに、施設運営の方針となる「施設運営計画」を策定します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：7,455,107 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>基本設計業務については、施設配置案を作成し、市民や文化団体等の意見聴取も実施し、取りまとめました。平成 29 年度からは実施設計を進め、平成 32 年度内の完成をめざします。また、事業用地の買い戻しを完了し、(仮称)枚方市総合文化芸術センターの施設運営について〔基本方針〕(案)をまとめました。</p> <p>平成 28 年度決算：7,357,612 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 市内中小企業と若年未就職者の雇用マッチング

重点施策・事業 における目標	<p>雇用環境は改善傾向にあるものの求職者の大企業志向は強く、中小企業の人材不足は深刻化しています。一方、早期離職や非正規雇用など安定的雇用に就けていない若年者も相当数見込まれるため、市内中小企業と若年者との雇用マッチングに向けた施策を推進します。</p>
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	市内の中小企業における人材不足の解消と若年者雇用の促進を図るため、求職前段階から就職、さらに就職後の定着支援までを一貫とする産業人材の育成確保支援策を実施します。 平成 28 年度当初予算：7,620 千円
平成 28 年度の 実績	①市内中小企業に対し、若年者の採用に向けたノウハウ等を学ぶ「若年人材採用セミナー」を平成 28 年 9 月 29 日に開催しました。②求職者の意識向上や市内中小企業 PR も含め「枚方市若者就職活動応援セミナー」を平成 29 年 1 月 14 日に開催しました。③市内中小企業と若者求職者のマッチングの場として、合同企業就職面接会「枚方市若者しごとマッチングフェスタ」を平成 29 年 1 月 21 日に開催しました。④③の面接会参加企業に対し企業 PR、情報発信のための「求職者向けプロモーションビデオ」を制作し、ホームページをはじめ、②③の会場にて放映を行いました。⑤③の面接会に参加した企業の人事担当者や入社 3 年までの社員を対象に早期離職防止・定着支援のための「定着支援セミナー」を平成 29 年 3 月 16 日に実施しました。 平成 28 年度決算：5,346 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 新規就農者への支援

重点施策・事業 における目標	若い世代の農業後継者を育成している「都市農業ひらかた道場」の修了者を含め、新規就農者が安定した経営ができるよう、関係機関と連携してサポートする仕組みを構築します。
平成 28 年度の 取り組み	円滑な就農・定着化を図り、将来の担い手となる農業者を育成するために、農業を生業とする新規就農者に対して就農初期における農業経営安定化支援（設備投資等への補助金交付）、就農後のサポート支援（サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣、担い手農業者組織の設立支援）、農地確保・集積支援（地主への奨励金交付）を実施します。 平成 28 年度当初予算：11,100 千円
平成 28 年度の 実績	都市農業ひらかた道場修了生を含めた認定新規就農者が安定した農業経営をめざせるよう、設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」、認定新規就農者への農地貸借に対し農地所有者に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」、認定新規就農者に知識及び技能を有する者を派遣して支援を行う「新規就農者サポート事業」を開始しました。 また、サポート協議会については、既存の組織である「枚方市農業振興協議会」がその役割を担い、就農後の支援を実施し、新規就農者による組織が設立されました。 平成 28 年度決算：6,262 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(4) 文化芸術振興計画の策定

重点施策・事業 における目標	平成26年4月に施行した枚方市文化芸術振興条例に基づく文化芸術振興計画の策定に取り組みます。 枚方市文化芸術振興審議会において、拠点施設となる総合文化施設の整備状況をふまえ市民の文化芸術活動の機会の充実、障害者等だれもが活発に文化芸術活動を行うことができる環境の整備、文化芸術の振興を支える人材の育成など、条例に規定する基本施策を総合的に推進するための計画を策定します。
平成28年度の 取り組み	枚方市文化芸術振興審議会において、引き続き、文化芸術振興計画策定に向けた調査・審議を行い、作成した素案について広く市民の意見を聴取し、計画を策定します。 平成28年度当初予算：404千円
平成28年度の 実績	枚方市文化芸術振興審議会において審議を重ね計画案を作成し、市民説明会やアンケート等により市民意見を聴取しました。平成29年2月の審議会からの答申を踏まえ、同年3月に振興計画を策定しました。 平成28年度決算：73千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) (仮称) 天の川プロジェクトの実施

重点施策・事業 における目標	枚方市と交野市は、七夕伝説ゆかりのまちであることから、両市に共通する「天の川」という地域資源を活用し、まちの魅力を高め多くの観光客を本市に呼び込むことを目的に、京阪電車交野線とその沿線を基軸に各種イベントを開催します。
平成28年度の 取り組み	京阪交野線の名称を天の川にちなんだ愛称とし、両市の公認キャラクター「ひこぼしくん」「おりひめちゃん」など、七夕をイメージしたラッピング電車を走らせるとともに、沿線でのスタンプラリーや体験型ツアーなどのイベントを実施します。 平成28年度当初予算：9,050千円
平成28年度の 実績	7月2日(土)、天の川ツーリズムのオープニングイベントを枚方市駅と私市駅で実施し、「ひこぼしくん・おりひめちゃん」と「キキ&ララ」がコラボレーションしたラッピング電車を運行。同時に交野線沿線のスポットを巡るスタンプラリーを実施しました。(10月30日まで) また、枚方市と交野市をバスで巡るバスツアーを12月11日(日)、1月22日(日)(一般向け)、2月4日(日)(領事館向け)に実施しました。 平成28年度決算：8,752千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 本市の文化芸術事業を担っている（公財）枚方市文化国際財団については、総合文化施設の運営主体の検討とあわせて、今後のあり方を検討する。 特定非営利活動法人枚方文化観光協会については、経営健全化に向けて、団体に対して早期の経営プラン策定を促し、その進捗管理を行う。
実績	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 2 月に施設運営主体についての考え方を含む（仮称）総合文化芸術センターの施設運営について（基本方針）（案）を取りまとめた。当該基本方針が枚方市文化国際財団の経営に大きく影響することから、同方針を踏まえ、財団の今後のあり方を検討する必要がある。 経営改善に向け、文化観光協会において、平成 28 年 5 月に中期経営計画を策定した。また、新規会員の獲得に向けた個人会員制度の新設など、計画に掲げる取り組み課題の進捗状況について、文書での報告を求めた。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	生涯学習市民センターと図書館の 2 複合施設（蹉跎・牧野）に導入している指定管理者制度について、導入状況の検証を図った上で、平成 30 年度に蹉跎・牧野を含む複合全 6 施設に指定管理者制度を導入する。
実績	<ul style="list-style-type: none"> 先行導入している 2 施設（さだ・牧野生涯学習市民センター）の状況の検証。 平成 30 年度における複合施設全 6 館への制度導入に向けた庁内協議を実施。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
イベント等の効率的な運営について	年間を通してイベント等の事業が多いため、運営手法や体制を検討し、より効率的な運用に努める。

実績	イベント等について、運営体制等を検討し、関係部局の連携により、効率的な運用に努めた。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
効率的な事務執行について	業務開始時に一日の取り組む事務執行の予定を設定し、業務終了時に達成度を確認することで、目標をもった効率的な事務遂行に努める。	
実績	グループウェアシステムに各自のスケジュールを入力し毎朝の朝礼で共有化を図るとともに、各担当者の業務内容を確認することにより、業務の効率的な遂行に努めた。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

3. 予算編成・執行

- ◆改革・改善サイクル等の指摘や、これまでの事業の実績等を踏まえ、イベント等の内容や委託、補助金の見直しに取り組むとともに、国等の様々な補助金等の有効活用を行うなど、より効率的な予算編成・執行管理に努めます。

実績	国の交付金を活用し、交野市・民間事業者や大学等と連携して、「天の川ツーリズム」として地域活性化に取り組むとともに、各補助金の見直しを行い、サンセット方式の導入を行いました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆産業文化部の業務は、市民や関係団体、事業者等との連携が重要であることから、研修やOJTを通じ、コミュニケーション能力を高めていくとともに、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの実現に向けた取り組みも促進しながら、業務の円滑な遂行に努めます。

実績	課内にて OJT 等を通じ、コミュニケーション能力の向上に努めました。また、計画的な有給休暇の取得などワークライフバランスの取り組みに努めました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆産業文化部で実施する様々なイベントについて、広報ひらかたやホームページのほか、マスメディアや地域メディア、ツイッター、フェイスブックなどを活用し、よりわかりやすく、効果的な情報発信に努めます。また、各種団体等との意見交換会の場など、様々な機会を通じ、施策の周知に努めます。

実績	地域メディアへの情報提供やプレスリリース、各種団体との意見交換等の場などで、施策の周知に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆枚方宿地区まちづくり協議会主催の活動やイベントについて、枚方宿のにぎわいづくりに資するようホームページや広報を活用し、市民への情報発信に努めます。

実績	枚方宿地区まちづくり協議会の活動について、広報ひらかたで情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

平成 28 年度	<h1>健康部の取り組み実績</h1>
	<p><健康部の構成></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康総務課、国民健康保険室、年金児童手当課、医療助成課 ・保健所（保健企画課、保健衛生課、保健予防課、保健センター）

※保健所については、別途、取り組み実績を作成しています。

1. 重点施策・事業

(1) 「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」連携事業の推進

重点施策・事業 における目標	<p>専門的知識を有する三師会や大学など、健康医療都市ひらかたコンソーシアム構成団体の連携により、市内の小中学生に対し、基礎知識の習得を目的とした健康教育の取り組みを進めます。また、日本語が話せない外国人が、安心して市内の医療機関を利用できるとともに、コミュニケーションギャップによる医師の負担や診療上のリスクを軽減するため、枚方市医療通訳士登録派遣事業を充実します。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>平成 27 年度から実施している健康医療キャラバン事業は、専門的知識を有する枚方市歯科医師会や枚方市薬剤師会、大学などの協力により、市内の小中学生に対し、「歯磨き・口腔ケア」や「薬物に関する乱用防止」などの基礎知識習得を目的とした健康教育の取り組みを進めます。</p> <div style="text-align: right;">  </div> <p>また、平成 27 年 6 月から実施している医療通訳士登録派遣事業は、さらなる派遣体制の安定を図り、かつ、対象言語を拡充し、本事業の充実を図ります。</p> <p>平成 28 年度当初予算：3,786 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>市内の小・中学生等を対象に実施する健康医療キャラバン事業について、「口腔ケア」と「薬物乱用」「食育」をテーマに 5 件実施しました。</p> <p>また、医療通訳士の増員及び対象言語の拡大を図るため、平成 28 年 1 月に、第 2 回医療通訳士養成講座を実施し、平成 28 年 6 月には新たに医療通訳士を 8 人加えるとともに、対象言語に韓国・朝鮮語を追加しました。</p> <p>平成 28 年度決算：3,609 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 救急医療体制の整備

重点施策・事業 における目標	本市には、北河内夜間救急センターや枚方休日急病診療所などの初期救急医療機関から高度救命救急を行う三次救急医療機関までが整備されており、この機能を維持し、引き続き確保します。また、市立ひらかた病院整備後の有効活用地の利用を念頭に、初期救急医療体制の再構築について検討します。
平成 28 年度の 取り組み	関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関を支援するとともに、北河内夜間救急センターの事務局として、年間を通じた夜間小児救急医療の円滑な提供に努めます。また、初期救急医療体制のあり方について、関係諸団体、諸機関との協議・調整を行いながら検討を進めます。 平成 28 年度当初予算：277,029 千円
平成 28 年度の 実績	関西医科大学附属病院をはじめとする救急医療機関に対して支援を行うとともに、北河内夜間救急センターの事務局として同センターを毎日運営し、夜間小児救急医療を滞りなく提供しました。救命率・社会復帰率向上を図る有効な手段として、枚方市・寝屋川市及び交野市域におけるドクターカー導入の検討会を枚方寝屋川消防組合が主体となって立ち上げ、協議・調整を行い、平成 29 年度よりドクターカーを導入することを決定しました。また、市立ひらかた病院整備後の有効活用地の利用を念頭に初期医療体制のあり方について、現在抱えている課題解決に向け、関係諸団体、諸機関と協議・調整を行いました。 平成 28 年度決算：272,498 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) コンビニエンスストアへの AED の設置

重点施策・事業 における目標	誰もが常時 AED を使用できる環境を整えるため、24 時間営業のコンビニエンスストアに AED を設置するとともに、枚方寝屋川消防組合等との連携した普通救命講習を行い、突然の心停止からの救命率向上を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	平成 28 年 4 月 1 日現在、5 社 76 店舗に AED を設置しており、引き続き、未設置店舗へ設置協力を働きかけ、設置店舗の増加を図ります。また、希望に応じて、枚方寝屋川消防組合等と連携し、AED の使用方法等を含めた救命講習を実施します。 平成 28 年度当初予算：4,272 千円
平成 28 年度の 実績	未設置店舗へ設置協力を働きかけ、新たに 12 店舗の協力を得て、AED を設置しました。平成 29 年 3 月 31 日現在、4 社 88 店舗に設置しています。なお、普通救命講習については、特に希望がなく実施していません。 平成 28 年度決算：3,215 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 国民健康保険の累積赤字解消計画の進捗管理

重点施策・事業 における目標	単年度収支均衡を図ることと、一般会計から適切に繰入れを行うことで、累積赤字解消計画を着実に進めます。
平成 28 年度の 取り組み	単年度収支均衡に向けた主な取り組みとして、保険料の適切な賦課と収納率の向上、また被保険者資格の適正化を進めます。
平成 28 年度の 実績	<p>収納率について、現年分 90.07%、滞納繰越分 18.82%と昨年度数値を上回りました。</p> <p>被保険者資格の適正化については、平成 28 年度に「事務処理要領」を制定し、居所不明世帯について年度末までに 164 件の資格の職権消除を行いました。</p> <p>また、単年度収支についても 7 億 5600 万円の黒字となっています。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) 国民健康保険のデータヘルス計画策定

重点施策・事業 における目標	国民健康保険被保険者の疾病予防、重症化予防を図り、効果的な保健指導を行う指針となる「データヘルス計画」を策定します。
平成 28 年度の 取り組み	<p>レセプトデータと特定健診データを突合、分析し、PDCA サイクルに基づく計画を策定します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：1,925 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>データヘルス計画を策定し、当該計画に基づき保健事業を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：1,610 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(6) 若年層からの健康意識向上に向けた取り組み

重点施策・事業 における目標	国民健康保険の特定健診対象前の若年層に対して、健診への意識啓発を行い、生活習慣病を早期に予防します。
平成 28 年度の 取り組み	<p>35 歳から 39 歳の被保険者へスマホ等を利用した簡易な健診と健康情報の提供を行います。また小学生を対象に健康を考えるポスターコンクールを実施し、若年層に対する健診への啓発及び勧奨に取り組みます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：6,734 千円</p>

平成 28 年度の 実績	<p>スマホ等を利用した簡易健診については、35 歳から 39 歳の被保険者 499 人が受診し、結果に応じた健康情報を提供しました。ポスターコンクールについては、19 小学校より 253 人の応募があり、優秀作品をカレンダーの図案に採用しました。</p> <p>平成 28 年度決算：4,253 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(7) 子ども医療費助成事業の実施

重点施策・事業 における目標	子どもの健やかな育成を図るため、医療費の一部を補助し、子育て世代の経済的負担を軽減することで、子育てを支援します。
平成 28 年度の 取り組み	<p>通院・入院にかかる医療費について、中学校 3 年生までを対象に医療費の一部を助成するとともに、高校生世代までの拡充実施に向けて、課題整理を行います。</p> <p>平成 28 年度当初予算：1,368,692 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>大阪府福祉医療費助成制度（乳幼児医療を含む）の改正が検討されていることからその動向を注視し、子ども医療（大阪府では乳幼児医療）を含めた今後の枚方市医療費助成制度の整理を行い、適切に対応していきます。</p> <p>平成 28 年度決算：1,348,308 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
8-1. 国民健康保険特別会計の経営健全化（収納率の向上）	適切な保険料の賦課、口座振替率の向上、収納ツール拡大等を図るとともに、滞納世帯に対しては早期の接触によって納付に繋げるなど、国民健康保険料収納率の向上を図る。
実績	平成 28 年 2 月策定の「枚方市国民健康保険特別会計赤字解消計画」に基づき、被保険者数や療養給付費を適切に算定し、保険料率の設定を行うとともに、口座振替の利用勧奨等、保険料の収納対策の強化等の取り組みを進め、収納率の向上に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
8-2. 国民健康保険特別会計の経営健全化（特定健康診査の受診率の向上）	医療費の抑制を図るため、未受診者対策の強化と生活習慣病予防及び重症化予防に向け取り組みを進め、受診率向上をめざす。

実績	<p>健診内容の充実、未受診者に対する個別的な受診勧奨、インセンティブの設定、広報・啓発に取り組むとともに、最も受診率の低い年代である 40 歳代の受診率向上に資するため、35 歳から 39 歳の方を対象に、インターネットで申込みから結果確認、健康情報の受信ができる、郵送型血液検査キットを活用した健診を実施した。</p> <p>また、特定健診結果から生活習慣病の重症化リスクが高い方に保健師が電話し、受診勧奨及び受診状況の確認、自己管理方法等の保健指導を実施した。</p>
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

改革課題	取り組み内容・目標
8-3. 国民健康保険特別会計の経営健全化（ジェネリック医薬品の利用促進等）	ジェネリック医薬品の利用促進等により医療費適正化を推進する。
実績	<p>ジェネリック医薬品希望カードの配布（保険証発送時、全世帯）、ジェネリック差額通知の発送（年 2 回）等を実施した。</p> <p>レセプト点検等給付審査については、医科・歯科・調剤レセプトの内容点検の一部に加え、平成 28 年度から鍼灸の申請書についても業者委託に変更し、今まで行っていなかった医科レセプトとの突合点検による医療費の適正化及び点検による財政効果の向上を図った。</p> <p>また、居所不明世帯や他保険資格の実態調査等に取り組み、資格の適正化を図った。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
21. 国民健康保険・医療助成システムの再構築	国民健康保険・医療助成のそれぞれのシステムの再構築を国民健康保険の広域化の時期にあわせて行い、パッケージシステムを採用し、カスタマイズを極力抑えること、また一括での保守運用により、経費の削減と安定的な運用を図る。
実績	システム再構築の業務委託を締結し、平成 30 年度からの国保広域化への対応に向けて大阪府や大阪府国民健康保険団体連合会、府内市町村との連携ツールとなる国保保険者標準事務処理システムとの連携に向けた調整を進めた。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
健康・医療に関する情報発信	健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体が有する社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流による連携事業の推進と様々なツールを用いた情報発信を行う。

実績	構成団体がコンソーシアムの連携事業として講演会や研修会を実施するほか、コンソーシアムの普及・啓発のため、コンソーシアムの広報紙である「健康医療都市ひらかたコンソーシアム通信」を4回（第22号～第25号）発行したほか、市内の駅構内に専用ラックを設置し、コンソーシアムの連携事業のチラシやコンソーシアム通信等を設置することで、事業の周知を図った。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
国民健康保険・医療助成システムの再構築	国民健康保険、医療助成システムの再構築にあたり中核市に対応可能なパッケージシステムを採用し、カスタマイズを極力抑え、また一括での保守運用により、経費の削減と安定的な運用を図る。	
実績	平成28年12月に再構築委託契約を行い、国民健康保険システムは平成30年3月・医療助成システムは平成30年2月の稼働開始に向け、構築作業を進めている。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
民間事業者のノウハウの活用	後期高齢者医療において、職員が行っているデータ入力業務を民間事業者に委託し、効率的な事務執行を図る。	
実績	職員が行っているデータ入力業務を民間事業者に委託した。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

◆国民健康保険特別会計の予算編成

被保険者の減少と低所得化、また高齢化と医療の高度化による医療費の増嵩が進行するなかで、国の支援策による低所得者への保険料軽減措置拡充、後期高齢者支援金等国への納付金額が減額されたことなどから、平成28年度当初予算においては、一般会計からの基準外繰入れを行わず、保険料率を算定しました。

実績	平成29年度当初予算についても、一般会計からの基準外繰入れを行わず、保険料率を算定しました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆健康・医療・福祉フェスティバルやひらかた食育カーニバル、敬老のつどい、健康のつどいなど関係団体と連携した事業の実施にあたっては、部内各課の協力・連携を図り、来場者の安全確保に努めるとともに、円滑に運営します。

実績	部内各課と連携・協力し、10月23日に健康・医療・福祉フェスティバルを、2月11日にひらかた食育カーニバルを、3月28日に健康のつどいを開催しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆「枚方市新型インフルエンザ等対策行動計画」に基づいて平成27年度に策定したマニュアルを踏まえ、研修及び想定訓練等を実施することで、さらなる職員の意識向上を図ります。

実績	新型インフルエンザ等が発生した場合に、感染拡大防止など必要な対策を適切に実施できるよう、新型インフルエンザ対策の研修や、発生段階に応じた枚方市が実施すべき行動を各対策班に分かれて検討する訓練を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆より質の高い地域保健サービスが求められる中、保健師の専門能力の向上を目的に、保健師人材育成ガイドラインに基づき、保健師の組織的・計画的な人材育成の体制を構築します。

実績	保健師の力量形成及び資質の向上をめざし、人材育成関係課会議を開催するとともに、個別面談やグループワーク、庁内保健師連絡会等で出された意見も参考に「保健師研修体系・研修計画」を作成しました。（平成29年度から本計画に基づき、組織的な人材育成に取り組んでいます。）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆健康・保健・医療等の関連施策の調整を迅速かつ効率的に行うため、情報共有を強化するとともに、OJTを活用し新任職員のスキルアップを図るなど、個々の職員の能力向上・組織力向上に努めます。

実績	健康・保健・医療等の関連施策の調整を迅速かつ効率的に行うため、部内会議や幹部会等を定期的に行い、情報共有に努めるとともに、各種イベントや災害医療対策訓練等をはじめ、各種事業の周知について、部内で連携して取り組みました。また、OJT及びOFF-JTの推進に努めるとともに、保健師については、人材育成トレーナーを通じて新任職員のスキルアップを図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」の活動や取り組みを広くアピールするため、メディアを効果的に活用した発信を行います。

実績	健康医療都市ひらかたコンソーシアム通信（第 22 号～第 25 号を発行）や平成 28 年度版パンフレットを作成し、構成団体が実施するコンソーシアムの連携事業等の情報を発信しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆平成 27 年度に行った「第 2 次枚方市食育推進計画」の中間評価を踏まえ、平成 29 年度の目標達成年次に向けて、市民の食育への関心を高めることにより食育の推進を図るため、広報紙等による情報発信を行います。



実績	広報ひらかた 9 月号の特集記事として、朝ごはんの大切さや市内の保育所・幼稚園に配付した「幼児食育教材セット」を実際に活用していただいた記事などを掲載しました。また、枚方市健康づくり食生活改善協議会で実施された食育推進事業を取材し、枚方市の公式フェイスブックに掲載することで、広く周知を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆特定健康診査の受診勧奨のため、市役所など公共施設に横断幕やのぼりを掲げ、公用車に啓発ステッカーを貼付するとともに、定期的に FM ひらかたで健康に関する番組を放送します。

実績	特定健康診査の受診勧奨のため、市役所など公共施設に横断幕やのぼりを掲げ、公用車に啓発ステッカーを貼付するとともに、FM ひらかたで健康に関する番組（偶数月 計 6 回）を放送しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	健康部 保健所の取り組み実績
	<健康部 保健所の構成> 保健企画課、保健衛生課、保健予防課、保健センター

1. 重点施策・事業

(1) 健康・医療に関する電話相談窓口の設置

重点施策・事業 における目標	市民の健康・医療に対する安全・安心を確保するとともに、多様化・高度化する市民ニーズに随時対応するため、健康・医療に関する電話相談窓口（医師・保健師・看護師等が 24 時間対応）を設置します。相談内容としては、医療、健康、介護や出産育児などが対象となります。
平成 28 年度の 取り組み	健康・医療に関する電話相談窓口の開設に合わせて、広報等による周知を行うとともに、チラシ・マグネットシートを作成し、全戸配布します。また、FM ひらかたによる案内や本館 1 階及び別館 2 階待合スペースでの情報発信等、積極的な周知活動を行います。 平成 28 年度当初予算：32,440 千円
平成 28 年度の 実績	7 月 1 日から「ひらかた健康ほっとライン 24」を開設し、広報等による周知活動を行ったほか、12 月にはチラシ・マグネットシートを作成し、全戸配布を行いました。7 月 1 日から 3 月 31 日までの相談件数（累計）は、9,679 件となっています。また FM ひらかたによる案内や本館 1 階及び別館 2 階待合スペースでの情報発信等、周知活動に努めました。 平成 28 年度決算：28,143 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 地域保健・公衆衛生分野における災害対策

重点施策・事業 における目標	地域保健・公衆衛生分野における災害対策について検討を行い、地域防災計画の見直しをはじめ、体制の整備を行います。
平成 28 年度の 取り組み	保健所に「地域災害医療本部」を置き、災害時の地域保健・公衆衛生分野における拠点となるよう、体制の整備を図ります。また、関係部署と連携し、大規模災害発生時における保健所及び保健所職員の役割を明確にするとともに、マニュアル整備や訓練を実施します。

平成 28 年度の 実績	地域防災計画の見直しに合わせて、地域災害医療本部の設置等、保健所の役割についての庁内調整を進めるとともに、保健所職員によるグループワーク（全 4 回）を行い、「枚方市地域災害医療本部活動マニュアル（案）」を作成しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（３）ヘルシーメニューの開発支援

重点施策・事業 における目標	日々の生活の中で、栄養・食生活分野は、がん、心疾患、脳卒中、糖尿病等多くの生活習慣病との関連が深くなっています。一方、本市が実施したアンケート調査によると、外食への依存傾向がみられました。そこで、食を取り巻く環境の改善が食生活面からの個人の健康づくりにつながることから、飲食店に対して啓発を行い、ヘルシーメニューの提供を通じて健康づくりの推進を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	今後、市内飲食店で提供していただくヘルシーメニューの基となる本市独自の基準を策定します。策定にあたっては、メニュー開発に協力をいただく飲食店とともに基準づくりを進め、飲食店や利用者からの意見を参考に策定します。 平成 28 年度当初予算：114 千円
平成 28 年度の 実績	公募による市内飲食店 8 店舗とともに作成したヘルシーメニューを 9 月から 11 月まで各店で提供し、延べ約 2,100 食の利用がありました。広報等での情報発信やマスコミへの情報提供を行ったほか、リーフレットを作成する等の周知活動を行いました。また、本市独自のヘルシーメニュー基準を策定しました。 平成 28 年度決算：47 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（４）「ひらかた健康優良企業」登録制度の創設

重点施策・事業 における目標	本市の人口動態統計（H26）によると、20～64 歳の死亡原因の一番はがんで、次いで心疾患、自殺の順となっており、働く世代に対する生活習慣病予防や自殺対策のさらなる取り組みが求められています。本市内の事業所においても、生活習慣病やメンタルヘルス等の課題を抱えている従業員が多く、従業員に向けた健康に関する情報や健康教育を求める声が多いことがわかりました。そこで、そうしたニーズを持つ事業所に直接的な支援を行うことで、働く世代の健康づくりを推進します。
-------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	「ひらかた健康優良企業」登録制度を創設し、登録された事業所に対して、働く世代をターゲットにした健康に関する情報発信や、事業所向けの健康教育の実施のほか、企業経営と従業員の健康管理に関する講演会の案内を行うなどの支援を行います。
	平成 28 年度当初予算：191 千円
平成 28 年度の 実績	「ひらかた健康優良企業」登録制度を創設し、7 月から市内事業所の募集を開始しました。登録企業の 26 社（平成 29 年 3 月末）に対して、登録証を発行し、健康に関する情報発信として「保健所つうしん〈企業版〉」を 5 回発行したほか、健康経営の取り組みについての講演会を 1 回、希望のあった企業に対して保健所職員による健康教育を 5 回開催しました。また、企業のニーズに合わせて、従業員の対応等の個別相談も行いました。
	平成 28 年度決算：346 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（5）食中毒など健康危機事象発生の未然防止

重点施策・事業 における目標	安全で快適に生活できるよう、食品関係施設や理美容所などの生活衛生施設における衛生水準の向上を図り、健康危機事象発生の未然防止をめざします。
平成 28 年度の 取り組み	食の安全・安心への関心が一層高まる中、食品等事業者には HACCP（ハサップ）による衛生管理の手法を普及・啓発し、食中毒などの健康危機事象発生の未然防止に努めます。
	平成 28 年度当初予算：12,489 千円
平成 28 年度の 実績	広報を用いて HACCP（ハサップ）による衛生管理を広く周知すると共に、食品等事業者に対して講習会や窓口にて HACCP に基づく衛生管理の手法について普及・啓発し、導入を推奨しました。
	平成 28 年度決算：7,435 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（6）こころの健康づくりの推進

重点施策・事業 における目標	身近にこころの相談ができる体制づくりや、疾患の初期段階から適切な相談や支援につなげるためのネットワークづくりを行うことでこころの健康づくりの推進を図ります。
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	<p>専用電話によるこころの健康相談及びモバイル機器を活用したメンタルチェックシステム「こころの体温計」を通して、こころの健康づくりの啓発に努めます。また、健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成するこころの健康増進部会を中心に、相談から適切な支援につなげるための包括的ネットワークの構築をめざします。</p> <p>平成 28 年度当初予算：247 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>専用電話によるこころの健康相談やメンタルチェックシステム「こころの体温計」を実施しました。ストレスについての講演など市民啓発を目的とした講演会を 9 回実施しました。また、健康医療都市ひらかたコンソーシアム「こころの健康増進部会」では、市内医療機関関係者を対象に精神科・心療内科との連携をテーマに講演会とグループワークを開催しました。</p> <p>平成 28 年度決算：247 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(7) 難病対策の推進

重点施策・事業 における目標	<p>難病患者やその家族が地域で安心して過ごせる在宅療養環境を整備します。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>健康医療都市ひらかたコンソーシアム参画団体で構成する枚方市難病対策分野神経難病対策医療ネットワーク部会を通して、関係団体と情報を共有し、在宅難病患者が抱える地域医療の課題に取り組みます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：7,165 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>枚方市域の在宅医療の実態把握のため、枚方市医師会と共同で市内全医療機関を対象とした在宅医療調査、枚方市訪問看護ステーション連絡会と共同で市内全訪問看護ステーションを対象とした訪問看護資源調査を実施しました。調査結果をまとめ、在宅医療資源集、訪問看護資源集を作成し、関係機関に配付し、在宅医療推進のための連携強化を図りました。</p> <p>枚方市医師会、関西医科大学附属病院と共同で在宅医療研修会（テーマ：「在宅医療の新しい展開」）を実施し、在宅医の増加の推進を図りました。</p> <p>実務者会議を開催し、在宅医療の課題、推進について構成団体で検討しました。</p> <p>平成 28 年度決算：4,695 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(8) 歯科口腔保健の推進

重点施策・事業 における目標	<p>歯と口腔の健康が、全身の健康の維持・増進にも極めて重要な役割を果たすことが指摘されています。</p> <p>市民の健康寿命の延伸をめざす観点から、乳幼児期から高齢期までの、生涯にわたる歯科口腔保健施策の更なる推進を図ります。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>大阪府内で初めとなる口腔保健支援センターを設置するとともに、後期高齢者歯科健康診査の無料化や2歳6か月児歯科健康診査にてフッ化物塗布を実施するなど、歯科口腔保健の推進を図ります。</p> <p>平成 28 年度当初予算：32,088 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>4月に口腔保健支援センターを開設しました。2歳6か月児歯科健康診査では、フッ化物塗布を導入し、歯周病検診対象者には、検診案内の個別通知を実施とともに、75歳以上のすべての人を対象に、後期高齢者歯科健康診査を無料にて実施するなど、乳幼児期から高齢期までを通じた歯科口腔保健を推進しました。</p> <p>また、障害者（児）施設歯科健康診査を実施し、歯科保健医療サービスを受けることが困難な者の口腔の健康の保持増進を図るとともに、その施設の職員などに対して歯科疾患の普及啓発及び指導を行い、施設全体の健康自立への意識の向上を促しました。</p> <p>平成 28 年度決算：13,451 千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(9) 妊娠・出産から子育て期までの支援の推進

重点施策・事業 における目標	<p>安心して楽しく子育てできるまちの実現に向け、妊娠・出産から子育て期にわたる切れ目のない支援策を充実させます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>妊娠届出時にすべての妊婦を対象とした保健師等による面接を行うとともに、地域を担当する保健師の名前及び相談先を記載したマグネットを配付します。あわせて、母子保健コーディネーター（助産師）の配置日数を拡充します。また、不妊治療における初回分の助成額を引き上げるとともに、新たに男性不妊治療の助成を実施します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：491,014 千円</p>

平成 28 年度の 実績	<p>4 月から母子保健コーディネーター（助産師）の配置日数を週 4 日に拡充しました。6 月から保健所・保健センターと乳幼児健康相談開催日の各会場に妊娠届出書の受付を集約し、保健師等による全数面接相談を実施しました（2,398 件）。また 7 月からは、面接時に居住地を担当する保健師名と相談先を記載したマグネットを配付しました（配付数 2,176 枚）。</p> <p>特定不妊治療費の助成を 451 件（内、初回申請 149 件、男性不妊治療 4 件）、不育症治療費の助成を 30 件実施しました。</p> <p>平成 28 年度決算：403,531 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

（1）新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	保健センターと市立ひらかた病院の駐車場を「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、平成 28 年 8 月から有料化の開始をめざす。
実績	平成 28 年度に有料化実施済み。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
相談業務の検証	健康・医療に関する電話相談窓口の設置に伴い、所内で実施している既存の各種相談業務について、相談件数の推移などを踏まえ、運営方法等の検証を行う。
実績	所内で実施している既存の各種相談業務において、必要に応じて「ひらかた健康ほっとライン 24」の紹介を行う等、当該相談窓口への集約に向けた働きかけを行った。現時点では目立った相談件数の増減等の影響は見られないが、引き続き状況を注視し、各相談業務の運営方法等について、検証を進めていく。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

3. 予算編成・執行

- ◆感染症予防対策、難病患者の在宅療養支援、がん検診の推進などの取り組みについて、感染症予防事業等国庫負担（補助）金を活用し、効果的な事業の運営を図ります。

実績	感染症予防事業等国庫負担（補助）金として、生まれくる新生児を先天性風しん症候群から守るための風しん予防対策事業に風しん抗体検査事業費補助金 226 万 2000 円、がん検診推進事業にがん検診推進事業補助金 341 万 4000 円、退職保健師が育成トレーナーとなる、新人保健師の指導育成事業に地域保健従事者現任教育推進事業補助金 86 万 4000 円をそれぞれ活用し、効果的に事業を推進しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆より質の高い地域保健サービスが求められる中、保健師の専門能力の向上を目的に、保健師人材育成ガイドラインに基づき、保健師の組織的・計画的な人材育成の体制を構築します。

実績	保健師の力量形成及び資質の向上を目指し、人材育成関係課会議を開催するとともに、個別面談やグループワーク、庁内保健師連絡会等で出された意見も参考に「保健師研修体系・研修計画」を作成しました。（平成 29 年度から本計画に基づき、組織的な人材育成に取り組んでいます。）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆FM ひらかたを通して市民の暮らしや健康に役立つ様々な情報を発信するとともに、放送内容をホームページに掲載することで市民に広く周知を行います。

実績	毎週木曜日午後 2 時に FM ひらかたを通して情報発信を行うとともに、放送内容を「ほけんしょ通信」と題してホームページに掲載しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆従業員の健康づくりに積極的に取り組む市内事業所を対象に、生活習慣病予防やメンタルヘルス対策などの働く世代が抱える健康課題に関する情報を掲載した「保健所つうしん」を発行し、事業者による健康増進活動を支援することで、働く世代の人々の健康の保持・増進を図ります。

実績	年 5 回、「保健所つうしん〈企業版〉」を発行し、生活習慣病予防や歯周病等について登録企業 26 社にメールもしくは郵送にて送付しました。また、関係機関にも配付しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

平成 28 年度	長寿社会部の取り組み実績
	<部の構成> 長寿社会総務課、地域包括ケア推進課、介護保険課

1. 重点施策・事業

(1) 保健・医療・介護・福祉等連携強化事業

重点施策・事業 における目標	<p>地域において保健・医療・介護・福祉が連携できる体制を構築するために、地域ケア推進会議を開催するほか、ケアマネジメント向上のための多職種による検討会議の取り組みを進め、認知症施策や地域ケア会議での課題検討を行い、住み慣れた地域で高齢者が安心して在宅生活を継続することができる環境の整備を行います。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>自立支援型地域ケア会議のブロック毎での開催を順次行うとともに、多職種連携研修会議を 13 の日常生活圏域で開催することで、地域での課題検討や市全域での体制整備に向けたさらなる取り組みを進めます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：384 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>地域での課題検討や体制整備に向けて、自立支援型地域ケア会議のブロック毎での開催を行うとともに、圏域毎の多職種連携研究会開催に向けた内容検討を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：309 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 認知症総合事業

重点施策・事業 における目標	<p>高齢者が認知症になっても地域の中で尊厳を持ち、安心して暮らせるよう、認知症についての理解者である認知症サポーターを引き続き養成します。</p> <p>また、「認知症初期集中支援チーム」の取り組みを推進するとともに、認知症の状態に応じた適切な介護サービスや医療提供の流れを示した「認知症ケアパス」の配付・活用に取り組みます。</p> <p>さらに、認知症カフェ設立を支援するなど、認知症の人々及び家族への支援の取り組みを進めます。</p>
-------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	新たに作成した「認知症ケアパス」を関係機関窓口の設置及び認知症サポーター養成講座等で配付し、認知症の理解と早期支援に向けた取り組みを進めます。また、認知症カフェ設立を推進するためのスタッフ研修等の支援を行います。
	平成 28 年度当初予算：6,539 千円
平成 28 年度の 実績	認知症ケアパスを 13,000 冊配付しており、今後も引き続き配付していきます。また、8 月から認知症カフェ登録受付申込及びカフェ設立の推進に向けた新たな取り組みを行っており、16 件の登録と 2 件の設立支援を行いました。
	平成 28 年度決算：1,172 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 枚方市市民後見推進事業

重点施策・事業 における目標	認知症などで判断能力が十分でない人の生活支援として、今後利用の増加が見込まれる成年後見人制度の新たな担い手として、親族以外で後見を行う「市民後見人」を養成する「市民後見人養成講座」を開始し、市民後見人の育成・支援を行っていきます。
平成 28 年度の 取り組み	市民後見人として活動していただける市民の育成を行うため、大阪府社会福祉協議会と連携し、「市民後見人養成講座」を開催します。なお、講座修了者については、選考委員会などを経て、市民後見人バンクへ登録されます。
	平成 28 年度当初予算：1,500 千円
平成 28 年度の 実績	6 月に市民後見人養成講座オリエンテーションを開催しました。8 月から開始した市民後見人養成講座基礎講習には 22 名の市民が参加し、そのうち 11 名が市民後見人バンクに登録されました。
	平成 28 年度決算：1,370 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 介護予防事業

重点施策・事業 における目標	高齢者が住み慣れた地域で生きがいをもって健やかに暮らすことができるよう、介護予防についての動機付けや習慣化を目的とした従来の事業のほか、柔軟性・筋力向上・認知症予防に効果的なラジオ体操・ロコモ体操・ひらかた体操を組み合わせ「ひらかた元気くらわんか体操」を活用し、地域を基盤にした継続的な健康づくり・介護予防活動の支援を進めます。
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	高齢者が参加しやすい身近な場所で介護予防教室を開催し、健康づくりへの意識を高める取り組みを進めます。 平成 28 年度当初予算：8,920 千円
平成 28 年度の 実績	介護予防の普及啓発を目的とした各講座等について、延べ 5,000 人以上の参加がありました。引き続き「ひらかた元気くらわんか体操」の周知とあわせて、介護予防の取り組みを推進していきます。 平成 28 年度決算：7,986 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) 介護予防ポイント事業

重点施策・事業 における目標	元気な高齢者の社会参加を促進し、健康寿命の延伸とともに、地域の介護力を高めることを目的とする「枚方市介護予防ポイント事業」の拡充を図っていきます。
平成 28 年度の 取り組み	サポーター養成研修会及び現任サポーターへのフォローアップ研修会を開催し、サポーター数の拡大を図るとともにサポーター活動のさらなる充実を図ります。 また、サポーターの受入先となる施設の拡大を図ります。 平成 28 年度当初予算：8,616 千円
平成 28 年度の 実績	新任サポーター養成研修会を 3 回、現任サポーターへのフォローアップ研修会を 3 回開催しました。サポーターの新たな受入先となる施設が 18 カ所増えました。 平成 28 年度決算：6,314 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(6) 街かどデイハウス事業

重点施策・事業 における目標	身近な地域で住民参加型の福祉活動を行う街かどデイハウスを増設するなど、事業の充実を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	街かどデイハウスに対する支援を行うとともに、現在街かどデイハウスの設置がない生活圏域において、1 カ所の増設を行います。 平成 28 年度当初予算：43,500 千円
平成 28 年度の 実績	街かどデイハウスの増設に向けて、6 月・9 月に事業候補者の公募を行い、選定した 2 カ所の事業候補者が開設に向けた試行運営を開始しました。 平成 28 年度決算：37,821 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(7) 総合福祉センターの円滑な運営

重点施策・事業における目標	平成 27 年度に老人福祉センターとしてリニューアルオープンした総合福祉センターは、開所以来、多くの高齢者に利用されてきました。今後も高齢者人口が増加する中、円滑な管理運営により、健康づくりや生きがいつくりの場として、引き続き、多くの高齢者に利用していただけるよう努めます。
平成 28 年度の取り組み	総合福祉センターを利用したことがない高齢者の方が利用するきっかけとして、指定管理者と連携し、参加しやすい趣味の講座などを開催します。また、より利用していただきやすくするため、センターの送迎バスについては、ダイヤや運行ルートの見直しを行うほか、利用者ニーズを踏まえ、必要な取り組みを行っていきます。
平成 28 年度の実績	今まで施設を利用したことがない個人の方も利用できるよう、切り絵講座やグラウンドゴルフ講座など、高齢者が健康で生き生きと過ごせるような講座を開催しました。また、8 月には送迎バス利用者のニーズに応えるため、利用区分にあわせた運行や本数の増便、新たなルートの増設などを含めたダイヤ改正を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	シルバー人材センターについて、平成 27 年 3 月に策定された「いきいき 21 世紀プラン（中期計画）」に基づき、自立運営に向けた取り組みを促す。
実績	シルバー人材センターの財政状況の確認を行うとともに、平成 27 年 3 月に策定された「いきいき 21 世紀プラン（中期計画）」に基づき、自立運営に向けた取り組みを促した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
42. くずは北デイサービスセンターの民営化	指定管理者制度により運営している「くずは北デイサービスセンター」について、介護事業者等による施設整備やサービス提供の状況を踏まえ民営化に向けた検討を行う。

実績	平成 30 年 4 月からの民営化に向け、多角的に検討を行った結果、当地域において本サービス事業所が必要であるとの判断に至ったが、民営化の効果等、諸課題について再検証するため、平成 29 年度においては、指定管理の更新手続きを行うこととした。	
	取り組みに対する達成状況	【 △ 】

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標	
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートを実施し、結果を踏まえて対応改善を行うとともに、窓口マニュアルを活用し市民満足度の向上に努める。	
実績	窓口アンケートを実施し、アンケート内容を職員で共有するとともに、満足度が比較的低い項目を中心に改善、工夫を行った。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

3. 予算編成・執行

- ◆ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 6 期）に基づき、適正な予算編成・執行に努めます。

実績	介護保険給付費は、計画の範囲内で推移しており、歳入・歳出ともに第 6 期計画に基づき適正な予算編成・執行に努めました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆頻繁に実施される法令改正に迅速に対応できるよう情報把握に努め、朝礼時や定期的な会議の場を有効活用し、多様な事象への初期対応、初動体制等について確認し合い、優れた対応力の育成に努めます。

実績	管理職による連絡会議を適宜実施して情報共有を図るとともに、朝礼、会議の活用と必要に応じて研修を実施することで、知識力、対応力の向上を図りました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆ 閲覧者が知りたい情報をわかり易く整備するとともに、速やかに目的の情報にアクセスできるよう、閲覧者の利便性向上に努めます。また、画像やイラストを活用することで、わかりやすく読んでいただけるホームページをめざします。

実績	「高齢者しつとこサイト」の見やすさ、わかりやすさ、新しい情報が更新されているかなどをチェックし、速やかに修正、更新を行うよう努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

平成 28 年度	福祉部の取り組み実績
	<部の構成> 福祉総務課、生活福祉室、障害福祉室、福祉指導監査課

1. 重点施策・事業

(1) 地域福祉の推進

重点施策・事業における目標	誰もが住みたい、住み続けたいと感じられるまちづくりをめざし、多様化・複雑化する生活課題を抱える人への支援体制の充実や環境整備、不足する地域福祉活動の担い手の育成支援などの地域福祉の推進に取り組みます。
平成 28 年度の取り組み	地域福祉計画（第 3 期）に基づき、地域福祉課題の把握に向けた取り組みを行うとともに、計画の進行管理を行います。
平成 28 年度の実績	「枚方市地域福祉計画（第 3 期）」で定めた具体的な取り組みを進める一環として、平成 28 年 10 月に地域福祉専門分科会で計画の進捗状況の報告を行うとともに、平成 29 年 3 月には社会福祉協議会や人権まちづくり協会と連携し、地域福祉セミナーを開催しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 生活困窮者自立支援制度に係る学習支援事業の拡充

重点施策・事業における目標	子どもの貧困対策が課題となる中、生活困窮家庭の中学生を対象として、学習を中心に子どもたちが安心して過ごせる居場所となる「学習教室」を実施し、高等学校等への進学を支援し、将来の進路選択の拡大につなげます。
平成 28 年度の取り組み	平成 28 年 2 月に、市内の公共施設 1 か所で開室した「学習教室」について、対象生徒や保護者等の意見を踏まえ、教育委員会等関係機関と連携して、効果的な拡充策を検討し、実施します。 平成 28 年度当初予算：961 千円
平成 28 年度の実績	被保護世帯の児童・生徒及び保護者に実施したアンケートや、他市への実施状況の照会と視察を通じて、効果的な実施方法を検討した結果、実施場所が市内 1 か所のみであるため通うのに不便であるとの意見を把握するとともに、事業を実施する中で、指導支援員（特に女性）の確保が課題となりました。 このため、教員経験者が相当数登録されている枚方市シルバー人材センターへ事業委託することで、女性を含む指導支援員の確保ができ、2 か所目の教室の設置が可能となり、南部地域に 2 か所目の教室増設を進めました。

	平成 28 年度決算：968 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（3）枚方市障害者計画（第3次）の見直し

重点施策・事業における目標	障害のある人が、障害のない人と同じように、住みなれたまちで地域の人たちと共に安心して生活できるまちづくりをめざし、平成 23 年度に策定した「枚方市障害者計画（第3次）」について、中間見直しを行い、さらに実情に即した効果的な障害者施策を推進します。
平成 28 年度の取り組み	「枚方市障害者計画（第3次）」は、平成 24 年度から平成 33 年度までを計画期間としており、概ね中間年にあたる今年度に見直しをすることとしています。策定時からの法改正や社会状況の変化も踏まえ、ニーズ調査を実施するなど、地域で住み続けるための方策について検討し、必要な見直しを行い、「枚方市障害者計画（第3次）」を改訂します。 平成 28 年度当初予算：4,800 千円
平成 28 年度の実績	当事者等に対するアンケート調査等を実施したほか、6 回にわたる枚方市社会福祉審議会 障害福祉専門分科会を開催し、外部有識者による専門的な見地からの意見も踏まえた枚方市障害者計画（第3次）改訂版を策定しました。 平成 28 年度決算：2,884 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（4）障害のある方に対する就労支援策の再構築

重点施策・事業における目標	障害者の就労を支援するため、雇用に向けた訓練の充実や就労の場、機会の提供から職場定着まで、きめ細かな支援を実施します。また、障害者への就職支度金制度の対象に精神障害者等を加えます。
平成 28 年度の取り組み	一般企業への就職に向け、地方公共団体等が一定期間雇用するチャレンジ雇用について、事業実施に向け、検証・検討をしていきます。また、就職支度金について、平成 28 年度から新たに精神障害者、難病患者等を対象に加えます。 平成 28 年度当初予算：1,560 千円
平成 28 年度の実績	平成 28 年 9 月 1 日～9 月 30 日まで、精神障害者 1 名を臨時職員として雇用し、チャレンジ雇用の実施に向けた検証を行いました。また、就職支度金について、平成 28 年度から精神障害者、難病患者等を対象に加えました。 平成 28 年度決算：1,560 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) 障害者社会参加促進事業の充実

重点施策・事業における目標	グループホームの安全対策の一環として、スプリンクラー等の設置費用の助成を行い、障害者の自立や社会参加を支援します。
平成 28 年度の取り組み	消防法の改正により、現存するグループホーム等のうち、平成 30 年 3 月末までにスプリンクラー設備等の設置が義務付けられた事業所に対し、整備を推進するべく、新たな設置補助事業を実施します。 平成 28 年度当初予算：8,400 千円
平成 28 年度の実績	平成 30 年 3 月までにスプリンクラー設備等の設置が義務付けられた事業所の整備を推進するため「枚方市グループホームスプリンクラー設備整備等補助金事業」を実施しました。4 月には対象事業所への説明会を開催したほか、5 月にはスプリンクラー等の整備計画について対象事業所へのヒアリング調査を実施しました。 平成 28 年度決算：—（補助対象事業がなかったため執行なし）
取り組みに対する達成状況	
【 〇 】	

(6) 重症心身障害者宿泊訓練事業の実施

重点施策・事業における目標	在宅の重症心身障害者の介護を担う保護者の高齢化等を見据え、住みなれた地域やグループホームで自立した生活ができるよう、宿泊を伴う生活訓練事業を実施することにより、障害者の地域生活を支援します。
平成 28 年度の取り組み	今後、介護にあたる保護者(親等) の高齢化を見据え、障害者が安心して地域で暮らすことができるよう、平成 28 年度より障害の程度や介護家族の状況等を十分に理解する事業所が実施する宿泊を伴う生活訓練事業に対し、補助金を交付し、障害者の地域生活を支援します。 平成 28 年度当初予算：800 千円
平成 28 年度の実績	対象となる事業者に事業内容の説明会を 4 月に行いました。うち 1 事業者が事業を実施し、補助金を交付しました。 平成 28 年度決算：315 千円
取り組みに対する達成状況	
【 〇 】	

(7) 枚方市障害者差別解消支援地域協議会の設置

重点施策・事業における目標	平成 28 年 4 月からの「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」の施行に伴い、関係機関による地域のネットワーク組織として「枚方市障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、障害を理由とする差別に関する相談や問題解決の取り組みを進めます。
---------------	--

平成 28 年度の 取り組み	<p>障害を理由とする差別の解消を効果的に推進するため、「枚方市障害者差別解消支援地域協議会」を設置し、関係機関において紛争解決に至った事例や、合理的配慮の具体例、相談事案から合理的配慮に係る環境の整備を行うに至った事例等の共有・分析を行います。その結果をもとに、構成機関等における業務改善、事案の発生防止のための取り組み等につなげ、障害の理解を深めるとともに障害者差別の解消に向け取り組みを推進します。また、出前講座を活用するなど、法制度の周知・啓発に向けた取り組みに努めます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：380 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>枚方市障害者差別解消支援地域協議会を設置し、紛争解決に至った事例や、合理的配慮の具体例の共有・分析を通じて、事案の発生防止のための周知・啓発に取り組むとともに、相談事案について対応を検討する事務局会議及び調整会議を開催しました。</p> <p>平成 28 年度決算：52 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(8) 社会福祉法の改正等への円滑な対応

重点施策・事業 における目標	<p>平成 28 年度の介護保険法の改正や子ども・子育て新制度の施行に伴う適切に対応、さらに、平成 29 年度に予定されている社会福祉法の大幅改正に対し、引き続き利用者が安心してサービスを楽しむよう円滑に対応するため、福祉関連法人への情報発信等を行っていきます。</p> <p>また、福祉施設等の適正な管理と安定的な運営体制が確保され、よりよい福祉サービスが提供されるよう、適時、新たな制度内容を指導監督業務に反映させていきます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>平成 28 年 4 月から、新たに「指定地域密着型サービス」となる小規模な通所介護（デイサービス）の円滑な運営に向け、事業者への説明会を開催するなど、事業者に対して適切にサービス提供を行うよう指導を行っていきます。</p> <p>また、平成 29 年度に予定されている社会福祉法の大幅改正では、社会福祉法人の組織ガバナンスの強化や地域内で公益的な取り組みを実施する責務を負うことが規定されています。</p> <p>こうした制度改革に適切に対応するため、法人向け説明会を開催するなどさまざまな機会を通じて、適時、情報発信を行っていきます。</p>
平成 28 年度の 実績	<p>指定地域密着型通所介護の円滑な運営と適切なサービス提供に向けて、事業者への説明会を 5 月に開催し、国・府からの通知等について随時発信することで、事業者が適切にサービス提供を行えるよう助言、指導を行いました。</p> <p>また、平成 29 年度に全面施行となる改正社会福祉法に適切に対応するため、社会福祉法人への説明会を 12 月に開催し、国・府からの通知等についてはホームページ等を利用し広く周知することで、必要な情報提供を行いました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(9) 新たな給付金等の円滑な支給

重点施策・事業 における目標	平成 28 年度の臨時福祉給付金に加え、賃金引上げの恩恵が及びにくい高齢者や年金受給者の生活を支援し、個人消費を下支えするため、新たに所得の低い高齢者向けと、障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）が支給されます。市民への十分な情報提供等を通じて、これらの給付金が円滑に支給できるよう取り組みます。
平成 28 年度の 取り組み	給付金の支給対象者や支給額、申請期間等について市民に分かりやすく案内するとともに、あわせて、校区コミュニティ協議会や民生委員児童委員協議会などの関係機関へも情報提供と周知のための協力依頼を行い、申請率の向上を図ります。
平成 28 年度の 実績	上記関係機関等への情報提供と協力依頼を行ったことにより、高齢者向け給付金（平成 28 年 5 月 9 日から 8 月 9 日まで受付）については、95.9%の申請率となりました。また、障害・遺族基礎年金受給者向け給付金（平成 28 年 9 月 1 日から平成 29 年 3 月 1 日まで申請を受付）は 92.2%、平成 28 年度臨時福祉給付金は 77.2%の申請率となりました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(10) 民生委員・児童委員の活動支援

重点施策・事業 における目標	市民の立場に立って相談・援助を行い、社会福祉の推進に努める役割を担う民生委員・児童委員の選任及び活動支援を行います。
平成 28 年度の 取り組み	中核市移行に伴い、必要に応じて推薦要領の見直し等を行うとともに、委員候補者の推薦から委嘱までを一貫して行います。また、現民生委員・児童委員が平成 28 年 11 月 30 日で任期満了（任期 3 年）を迎えるため、一斉改選を円滑に行います。
	平成 28 年度当初予算：3,285 千円
平成 28 年度の 実績	民生委員・児童委員の一斉改選における候補者について、推薦会及び民生委員審査専門分科会で審議した後、厚生労働大臣に対して推薦を行い、適正に委嘱手続きを行いました。
	平成 28 年度決算：3,021 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	今年度に枚方市社会福祉協議会が策定する経営戦略プログラムについて、策定の関与や計画の進捗状況の確認を行い、外郭団体等の経営改善に向けた取り組みを促進する。
実績	枚方市社会福祉協議会では、平成 24 年に策定した「経営戦略プログラム（第 2 期）」に基づき「効果的・効率的な事業実施」や「事務局機能の再構築」などの取り組みを進めており、公認会計士や地域福祉に関する有識者などで構成される計画の評価委員会の中で毎年度検証し、その結果をホームページで公表するなどの情報発信に努めている。また、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」の実現に向けた活動を継続的に取り組んでいくため、平成 29 年 3 月には「経営戦略プログラム（第 3 期）」を策定した。今後も引き続き、進捗状況の確認等を通して、同協議会の取り組みを支援していく。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
22. 障害者相談員の廃止	障害者の相談機能を有する地域活動支援センターや相談支援事業所等が普及している現状を踏まえ、現相談支援員の任期が終了する平成 29 年 3 月末をもって廃止する。
実績	廃止に係る通知文書を推薦団体及び各相談員に対し、1 月末に送付し、平成 29 年 3 月末をもって廃止した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
23. くすの木園のあり方の検討	施設の利用者状況や市内の障害者通所施設の整備状況等を踏まえ、くすの木園の民営化も含めた今後のあり方を検討する。
実績	くすの木園のあり方について、関係課会議等を開催し、廃止及び民営化も含め検討し、民間活力の導入の観点から、今後は民営化に向けて進めていくことを決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口対応	窓口アンケートの実施や窓口マニュアルを活用し市民満足度の向上に努める。 また、障害福祉室で作成した「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害者に対し、適切な対応に努める。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口マニュアルを職場で共有し、窓口対応の向上を図るとともに、職員同士の役割分担の明確化や連携を強化したことで、待ち時間の短縮に努めた。 ・「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル」を活用し、障害者に対して適切な対応に努めた。また、「窓口における障害のある市民に対する配慮マニュアル改定版」を平成29年3月に作成した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
ペーパーレス化の徹底	福祉部では、市民からの各種の相談から福祉サービスの提供まで広範囲な業務を実施しており、各種の業務に係る印刷物も膨大となっている。このため、両面・冊子印刷やメール機能、紙の電子化等の活用を行い、部内全体でのペーパーレス化を徹底する。
実績	福祉部では、帳票類の不必要な部数の印刷や据置きをせず、必要に応じて打ち出すなど、紙の省力化に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆生活保護費や障害福祉サービスなど社会保障関連経費の増加が予想される中、事業の精査を行い、必要な財源の確保に努めながら予算編成を行いました。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護受給者等にかかる扶助費 134 億 1443 万 4988 円の支出に対する財源として、生活保護費等国庫負担金 100 億 6122 万 2000 円を確保しました。 ・障害福祉室では、障害者手帳所持者全員に発送する「福祉のてびき」の改訂に合わせて、経費の削減を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆昨年度に引き続き、生活保護の実施体制等の強化を図るための「セーフティネット支援対策等事業補助金」等の国庫補助金を活用するなど、必要な財源確保に努めました。

実績	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金を活用し、3257万1000円の財源確保ができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆専門性の高い知識や経験が求められる相談支援業務を中心に職場内研修に取り組むほか、職場外の専門研修へ職員を派遣するなど、知識の習得や技術の向上を図ります。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護業務に従事する査察指導員(SV)及び地区担当員(CW)を全国研修会に派遣し、業務のスキルの向上に努めるとともに、全国の自治体職員との情報共有を図りました。また、職員の技能向上・育成を目的として、全体研修、育成研修及び新任研修を実施しました。さらに、生活困窮者自立支援制度に従事する相談支援員を大阪府が主催する従事者研修等に派遣し、業務スキルの向上に努めました。 ・新入職員に対し、障害に関する理解を深めるための研修を行い、手話研修や外部研修への参加、障害者関係施設への見学会を行い、障害への認識を深める取り組みを実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆法・制度改正などに的確に対応し、他の行政機関との連携による制度研修や事例研究などを通じて、情報共有を進めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法の施行に伴い、障害者差別解消市町村ワーキングへ参加し、市町村職員向け障害者差別解消対応の実務マニュアルの作成及び障害者差別解消法に関する対応状況等の情報共有を行いました。 ・法・制度改正に関する国や大阪府が開催した説明会などにおいて情報収集にあたりるとともに、大阪府や府内市町村との連携会議やワーキング、関係法令ごとの専門研修への参加により、職員のスキルアップと情報共有を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆職場の課題や懸案事項等については、職場会議や朝礼等を通じて職員間での情報共有を図り、その解決等に向けて組織的に取り組みます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・監督者会議、査察指導員会議及び全体会議をそれぞれ月2回開催し、生活保護業務に関する課題、対応策等の共有化を図りました。 ・職場の課題や懸案事項は、朝礼以外にグループまたはチームごとのミーティングを適時開催し、その解決につなげました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆ 広報ひらかた、市のホームページ、エフエムひらかた、及びリーフレット等様々な媒体を活用し、分かりやすくタイムリーな情報発信に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報ひらかたやホームページにて、「特別弔慰金」や「地域福祉計画」の記事を掲載する等の情報発信を行いました。 ・ 法改正や制度改正に関する情報や事故・災害の注意喚起、感染症発生の緊急情報については、文書発出やファックス、メールのほか、随時ホームページによりタイムリーな情報発信に努めました。 	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

- ◆ 昨今のスマートフォンやタブレットの普及に鑑み、市からお知らせする文書やパンフレットに QR コードを掲載するなど、福祉に関する情報にすぐに接することができる環境の整備に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本市ホームページ内の窓口説明のページにアクセスできる QR コードを載せた生活困窮者自立支援制度の相談窓口案内のチラシ（名刺型）を 9,000 部作成し、配布を開始しました。 ・ 障害者手帳を交付する際に、「福祉のてびき」を窓口配布するとともに、各支所及び障害者相談支援センター6 か所への設置やホームページに掲載し、障害者手帳を所持する市内に在住している方、約 18,000 人に冊子を送付し、情報提供を行いました。 	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

- ◆ 障害福祉室では、障害者差別解消のための啓発パンフレットの配布やイベントの開催のほか、出前講座を活用した地域への周知活動を行い、市民意識の啓発・向上に努めます。

実績	「障害のある人への差別をなくそう！」A4 版パンフレットを 3,000 部作成し、障害福祉室、各支所、相談支援センター等で配布しました。また、障害者差別に関する講演会を「ほっこりひらかた 2016」で開催し、出前講座等を活用した地域への周知活動を行いました。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

- ◆臨時福祉給付金課では、新たな給付金について、申請受付期間や期限が異なるため、広報ひらかたや市ホームページのほか、自治会の回覧板などを通じて適切な時期に繰り返し情報を発信することにより、申請漏れを防止するとともに申請率の向上を図ります。

実績	平成 28 年度に実施した 3 つの給付金について、支給対象者への個別勧奨を行いました。また、それぞれの申請期間に合わせ広報ひらかたや市ホームページで情報発信を行うとともに、FM ひらかたで給付金の PR を行いました。さらに、申請開始時と申請終了前に自治会の回覧板などを通じた周知啓発や、民生委員児童委員協議会やケアマネ連絡会などの関係機関に情報提供と協力依頼を行い、申請率が向上しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	子ども青少年部の取り組み実績
	<部の構成> 子ども青少年政策課、子育て支援室子育て事業課、子育て支援室子育て運営課、 子育て支援室保育幼稚園課、子ども総合相談センター

1. 重点施策・事業

(1) 子ども・若者育成支援事業

重点施策・事業 における目標	子どもの貧困が社会問題となる中、貧困が世代を超えて連鎖しないよう、子どもの貧困問題の解決に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	大阪府との共同実施を視野に入れた「子どもの貧困に関する実態調査」を実施し、調査結果を踏まえ課題整理を行うとともに、子どもの貧困対策を効果的に推進するための必要な施策を検討します。 平成 28 年度当初予算：2,000 千円
平成 28 年度の 実績	子どもの生活実態や学習環境、支援上での課題等を把握することを目的に、小学 5 年生及び中学 2 年生とその保護者等を対象に、「子どもの生活に関する実態調査」を実施しました。調査においては、大阪府及び府内 13 市町と共同実施し、調査手法や分析作業等について連携を図りました。調査結果から把握した課題等を踏まえ、支援を必要とする子どもやその家庭に対する効果的な支援策の検討を進めていきます。 また、平成 28 年 10 月から、家で 1 人で食事をとるなど、家庭的にさまざまな課題のある子どもに食事や学習、団らんの場などを提供し、子どもの居場所づくり（いわゆる「子ども食堂」）に取り組む地域団体等への支援制度を開始しました。5 団体を目標に募集を行ったところ、全 11 団体（13 カ所）から申請があり、認定・補助金の交付を行いました。平成 28 年度の子ども食堂の開催回数は 152 回、開催 1 回あたりの平均参加人数は 19 人となりました。 平成 28 年度決算：3,841 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 待機児童対策推進事業

重点施策・事業 における目標	安心して子育てと仕事を両立できるよう、保育需要を検証しながら、通年での待機児童の解消に向けた保育の供給体制を整備します。
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	<p>保育需要見込み量の多い南部地域の更なる対応を図るため、平成 30 年 4 月から 20 名の定員増に向けた「枚方保育所」の建替え工事を進めます。また、特に増加傾向にある 3 歳未満児の定員増を図るため、公共施設の有効活用により小規模保育施設 2 カ所の整備を進めるとともに、民間園による小規模保育事業の検討を進めるなど、通年での待機児童の解消をめざします。</p> <p>平成 28 年度当初予算：324,689 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>通年での待機児童解消に向け、今後の保育需要を推計し、平成 31 年 4 月までに 500 人の保育枠を確保することとしました。</p> <p>その具体策として、枚方保育所の建替え工事を進めるとともに、公共施設 2 カ所を活用し、旧枚方区検察庁舎を平成 29 年 4 月におおがいと小規模保育施設として定員 19 人で開設しました。また、北部支所において、7 月に定員 19 人の小規模保育施設を開設できるよう整備を進めました。さらに、民間園についても小規模保育事業の実施について意向調査を行うとともに、認可外保育施設 3 園について、小規模保育事業の認可を行い、平成 29 年 4 月に 34 人の定員増を図りました。</p> <p>平成 28 年度決算：372,957 千円（※補正予算等の対応あり）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(3) 保育サービスの充実

重点施策・事業 における目標	<p>保育ニーズがますます多様化・複雑化する中、病児保育の充実や保育料の軽減等により、保育サービスの充実を図ります。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>病児保育の充実を図るとともに、保育所等の保育料については、国の制度（所得制限あり）に基づき年齢制限を撤廃し、第 2 子の保育料半額、第 3 子以降の保育料無料化を実施します。さらに、第 2 子以降の保育料無料化については、公立保育所の民営化なども含めた行政改革を押し進めることにより実現をめざします。</p>
平成 28 年度の 実績	<p>病児保育の充実としては、市立ひらかた病院内で市が運営している「枚方市病児保育室」の利用者増加に向け、受付時間等の拡充や紹介状の費用負担のあり方、利用手続きの簡素化など、より利用しやすい改善策の検討を行い、平成 29 年度から受付時間の拡充を図りました。</p> <p>国の制度に基づく保育所等の保育料軽減措置については、条例改正等の手続きを経て、平成 28 年 4 月分に遡及して実施しました。第 2 子以降の保育料無料化については、財源確保の状況を含め検討を進めています。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(4) 新児童発達支援センター整備事業

重点施策・事業における目標	知的障害児通園施設のすぎの木園と肢体不自由児通園施設の幼児療育園について、両施設が抱える老朽化対応や施設機能の充実などを図るため、両施設の機能を統合した「(仮称)枚方市立児童発達支援センター」を整備します。 (平成 31 年度開設予定)
平成 28 年度の取り組み	整備予定地である元第四学校給食共同調理場跡地において、新たな児童発達支援センターの整備に係る設計に取り組みます。 平成 28 年度当初予算：17,100 千円
平成 28 年度の実績	(仮称)枚方市立児童発達支援センター整備計画に基づき、建設工事の設計業務に着手しました。 平成 28 年度決算：11,450 千円
取り組みに対する達成状況	【 〇 】

(5) 子どもに関わる相談窓口の一元化

重点施策・事業における目標	子どもやその家庭の多様化・複雑化する相談に総合的に対応するため、各分野の専門相談員を配置した「子ども総合相談センター」を設置し、家庭児童相談やひとり親家庭等自立相談、子ども・若者のひきこもり相談など子どもに関する窓口を一元化することで、ワンストップで必要なサービスを対象者に提供し、早期に問題解決が図れる体制を構築します。
平成 28 年度の取り組み	「子ども総合相談センター」における専門相談を充実し、研修等を通じ組織と職員の力量を高めます。また、子ども・若者をめぐるさまざまな講演会やシンポジウムなどを開催するとともに、あらゆる機会を通じて、同センターの周知を図ります。
平成 28 年度の実績	児童虐待などの児童家庭相談や子ども・若者相談、ひとり親相談などに関する専門性の強化と充実に向け、外部講師の招聘や大阪府の研修等により、高度な面接技法やアセスメントに関する職員の専門的能力の向上を図りました。 また、子どもの相談窓口の効率的、効果的な連携を図るため、保健センター及び教育委員会児童生徒支援室と協議を行いました。 子どもに関する相談窓口の一元化に向けて、10 月から駅前のサンプラザ 3 号館に家庭児童相談と子ども・若者・ひとり親相談の子どもに関する総合相談として子ども総合相談センターを整備しました。12 月にはオープニングイベントを開催し、市民公募によって愛称を「となとな」とし、センターを広く市民に周知するため、リーフレットを作成し配布しました。このほかにも、子ども・若者支援のための通年の連続講座を子ども総合相談センター設置記

	念講演と位置づけ、里親制度やひきこもりについての講演会やシンポジウムを開催しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
24. 保育料の改定	第2子の保育料無料化も視野に入れながら、国の基準や他市の水準等を踏まえ、保育料改定に関する方針を検討する。
実績	<p>保育料の水準については、国が進める幼児教育の段階的無償化、低所得階層の多子世帯やひとり親世帯などに対する負担軽減により、国基準（上限額）が引き下げられているほか、近隣他市においても、少子化対策などの理由から保育料の無償化や負担軽減が予定されるなど、本市を取り巻く状況が大きく変化している。</p> <p>また、多額の財源を要する第2子の保育料無料化について、無料化する条件の検討や経費の試算を行いながら、あわせて喫緊の課題である通年での待機児童解消に必要な財源確保とのバランスを踏まえ、改定方針の検討を進めている。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
43. 公立保育所の民営化	「公立保育所民営化計画（中期計画）」に基づく取り組みや保育需要等を検証したうえで、公立保育所のうち、地域子育て支援拠点7園を除く5園（走谷、山田、渚、禁野、藤田川）について、民営化等に関する方針を策定する。
実績	<p>これまでの民営化の取り組みに対する総括、民営化対象保育所の課題整理や、民営化に向けた方策の検討を行った。そうしたなかで、通年での待機児童の解消や効率的な行政運営により削減した経費をさまざまな保育サービスの充実につなげるため、走谷保育所を平成31年度に民営化し、平成32年度に30人の定員増を図る方針を取りまとめた。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
45-2・45-3. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（児童福祉施設用務・営繕業務）（児童福祉施設調理業務）	児童福祉施設における用務・営繕業務については、委託可能な業務の整理を行う。また、調理業務については、将来的な民間活力の活用に向け、安全・安心な給食を安定的に提供する体制を確保する中で、委託可能な範囲について検討を進める。
実績	児童福祉施設用務・営繕業務は、平成 29 年度から新たに小規模保育事業実施施設(2 箇所)が開設されることを踏まえ、効率的な業務体制及び人員配置について検討を行うとともに、委託可能な業務の整理について取り組んだ。また、調理業務は、アレルギー児へのきめ細やかな対応や事故防止及び食育推進のため、保育士等との密接な連携を図りながら業務に取り組むとともに、将来的な調理業務のあり方について、安全・安心な給食を安定的に提供できる体制の調査研究に取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

（２）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
共有ドライブやグループウェアを活用した情報の共有	グループウェアのスケジュール管理等を活用し、職員間の効率的な情報の共有化を図る。
実績	グループウェアのスケジュール管理を活用し、職員のスケジュールや照会等への対応について効率的に情報の共有化を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
相談等の窓口業務に関するアンケートの実施による業務改善	子育て支援室や子ども総合相談センターでの相談等の窓口において、窓口業務に関するアンケートへの記入協力を求め、今後の業務改善につなげる。
実績	年間を通して窓口アンケートを実施した。いただいた意見を課内周知し、業務改善に役立てた。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆市立枚方保育所の建替え工事を行うにあたり、国の社会資本整備総合交付金を活用し、財源(約1億3000万円：平成28年度当初予算ベース)を確保します。(補助率：国1/2、市1/2)

実績	市立枚方保育所の建替えについては、平成28・29年度の2カ年にわたる工事を予定しています。国の社会資本整備総合交付金の活用にあたっては、本事業の実現性を高めるため、関係部署等との調整により、次年度分も見据えた予算の確保に努めました。 (決算額：歳出2億4471万円／歳入2億500万円)
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆保育所(園)や認定こども園における業務効率化のためのICT化や事故防止・検証に向けたカメラの設置を行うにあたり、国の保育対策総合支援事業費補助金を活用し、財源を確保します。(補助率：国3/4、市1/4)

実績	私立保育所(園)及び認定こども園計37施設において保育業務支援システムを導入し、業務の効率化を図りました。また、私立保育所(園)21施設及び全公立保育所において、事故予防等のためのビデオカメラの設置を行い、その費用を国庫基準額の3/4について保育対策総合支援事業費補助金を活用しました。 (決算額：歳出3979万784円／歳入2984万3000円)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆部の職員全員が「部の運営方針」で示す目標を十分に認識し、各職場において課題解決に向けた取り組みを進めます。

実績	部の職員全員が「部の運営方針」で示す目標を共有化し、平成28年度における部の重点施策・事業の達成に向けて、連携を図りながら取り組みを行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆子育て支援に関するニーズがますます多様化・複雑化する中、子ども青少年部では、児童福祉施設の受付業務のほか、家庭児童相談、ひきこもり等相談、ひとり親家庭相談などの業務、さらには、子ども・青少年の健全育成に取り組む市民、地域団体等と連携した業務など、市民の方々と接する機会が多いことから、よりの確かつ適切な窓口対応が行えるよう、OJTを含めた職員一人ひとりの対応力の向上に努めます。

実績	市民の視点に立った接遇・窓口対応が行えるよう、日頃からOJT等に取り組むなど、職員一人ひとりの対応力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆子どもに関する相談窓口を市民により分かりやすいものとするため、ひきこもり等の相談や家庭児童相談など子どもに関する窓口の一元化に向けた「子ども総合相談センター」の設置に加え、これまで教育委員会で行っていた幼稚園の入園等に関する事務を子ども青少年部（保育幼稚園課）に移管したことなど、窓口体制の変更について市民に広く周知を行います。

実績	子どもに関する相談窓口の体制変更について、広報や市ホームページ、リーフレットの配布等により、広く周知を行いました。また、子育て支援情報を掲載した小冊子「子育て応援ナビ」について、年齢に応じ必要な情報がより分かりやすく得られるようリニューアルを行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆公私立保育所（園）や認定こども園に設置している掲示板等を活用し、各施設で取り組んでいる地域子育て支援行事のチラシ等を掲示し、情報発信の充実を図ります。

実績	公私立保育所（園）や認定こども園に設置している掲示板等を活用し、各施設で取り組んでいる地域子育て支援行事のチラシ等を掲示し、情報発信の充実を図りました。また、妊娠期から就学前の子どもがいる保護者が必要とする、子育てイベント、予防接種、及び健康診断等の子育て支援情報を、子どもの年齢や居住地域に応じてきめ細かに提供できるよう子育てアプリの開設に向けた準備を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	環境部の取り組み実績
	<部の構成> 環境総務課、減量業務室、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所、 環境保全課、環境指導課

1. 重点施策・事業

(1) 可燃ごみ広域処理施設整備の推進

重点施策・事業における目標	穂谷川清掃工場第3プラントが老朽化したため、新たなごみ焼却施設の整備が課題となっています。平成26年12月に京田辺市との広域連携による可燃ごみ広域処理施設を共同で建設し、運営することに合意し、平成27年7月に「枚方市・京田辺市可燃ごみ広域処理に関する連絡協議会」を設置しました。今後、平成28年度に一部事務組合を設立して、平成35年度の稼働をめざします。
平成28年度の取り組み	京田辺市との広域連携による可燃ごみ広域処理施設を整備するため、事業実施主体となる枚方京田辺環境施設組合を設立し、環境影響評価を実施します。
平成28年度の実績	広域連携による可燃ごみ広域処理施設の整備に向けて、5月に両市で構成する一部事務組合「枚方京田辺環境施設組合」を設立するとともに、同組合により、環境影響評価の事務手続きが進められました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 東部清掃工場の長寿命化総合計画の策定

重点施策・事業における目標	稼働8年目を迎える東部清掃工場のごみ焼却施設を適切に維持管理し、安全で安定した焼却処理を継続させるため、基幹的設備の改良を見据えた延命化及び施設保全を包括した長寿命化総合計画を策定します。
平成28年度の取り組み	東部清掃工場の長寿命化総合計画を策定します。 平成28年度当初予算：15,000千円
平成28年度の実績	延命化計画及び施設保全計画を包括した東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画を平成29年3月に策定しました。 平成28年度決算：8,409千円 循環型社会形成推進交付金：2,099千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(3) 淀川衛生工場し尿処理施設の改造

重点施策・事業における目標	淀川衛生工場の施設の老朽化や公共下水道の普及に伴うし尿等の処理量の減少に対応し、効率的・効果的な処理を行うため、平成 29 年度にし尿等の希釈放流を開始します。
平成 28 年度の取り組み	し尿等の希釈放流の開始に向けた施設の改造工事を行うとともに、業務棟の解体工事等を行い、業務の集約に向けた取り組みを進めます。 平成 28 年度当初予算：535,000 千円
平成 28 年度の実績	し尿等の希釈放流に向けた、淀川衛生工場改造工事として、土木建築工事、機械設備工事、電気設備工事及び下水道管渠工事の 4 区分に分けて契約し、工事に着手しました。このうち、下水道管渠工事については、平成 28 年 11 月に完成しました。また、淀川衛生事業所業務棟等解体及び整備工事については、7 月に契約し、淀川衛生工場敷地内に駐車場及び洗車場を整備した後、業務棟等の解体を行い、平成 29 年 2 月に工事は完了しました。 平成 28 年度決算：109,982 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(4) 空き家・空き地対策の推進

重点施策・事業における目標	雑草の繁茂など衛生上問題のある空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うことにより、管理不良の空き家・空き地の発生を抑制し、生活環境の保全を図ります。
平成 28 年度の取り組み	枚方市空家等対策協議会の答申に基づき、緊急対応の措置や空き地への対応などの制度化に取り組みます。また、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく対策計画の策定に向けて取り組みます。 平成 28 年度当初予算：1,352 千円
平成 28 年度の実績	枚方市空家等対策協議会の答申に基づき、緊急安全措置や空き地等への対応など市独自の制度を規定した「枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例」を制定し、平成 29 年 4 月から施行しています。 平成 28 年 12 月から、空家等実態調査を開始するとともに、空家等対策計画の策定について、枚方市空家等対策協議会に諮問しました。 平成 28 年度決算：2,951 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) 地球温暖化対策の推進

重点施策・事業における目標	枚方市地球温暖化対策実行計画に基づき、市民・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省CO ₂ 活動、ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクルなどによるごみの減量を推進し、市域から排出される温室効果ガスの削減を図ります。
平成28年度の取り組み	<p>廃プラスチックをはじめ、紙類等のごみの資源化や環境にやさしいライフスタイルへの転換に向けた情報発信、啓発活動等を継続して行います。</p> <p>平成28年度当初予算：196,428千円</p>
平成28年度の実績	<p>廃棄物減量等推進員総会やひらかた夢工房発表会などにおいてごみの減量等に関する啓発を行うとともに、枚方市地球温暖化対策協議会と連携し、エコライフキャンペーン、ライトダウンキャンペーンや緑のカーテンなどの普及・啓発活動を実施しました。また、再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、国や府の動向などについて情報収集を行いました。</p> <p>平成28年度決算：180,428千円</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営改善を促進するため、中期的な経営プランの進捗管理の仕組みの構築に向けた検討を進める。
実績	ひらかた環境ネットワーク会議が環境問題に市と連携して取り組みを続けるとともに、経営基盤の安定を図るため、平成27年度に策定した中期経営プランに基づき、その進捗状況を管理する方法について、当該団体との協議を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
25. 大気汚染測定局の配置等の見直し	市が設置している大気汚染測定局の配置等の見直しに向け、大気環境や交通量などについて、各測定局間の変化の状況を把握する。
実績	大気環境や自動車交通量等について各測定局の状況を把握するとともに、平成27年度の大気環境測定結果（光化学オキシダント以外の全ての測定項目で環境基準を達成し、低濃度で推移。）を環境データ集として公表した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	淀川衛生工場は、処理施設の老朽化や処理量が減少していることから、希釈放流方式への移行に向け施設の改造工事を実施する。また、業務棟の解体等の工事を実施する。
実績	平成 28 年度当初に単年度工事として淀川衛生工場改造工事の入札を行ったが、不調や契約解除等により予定より遅れが生じた。 そのため、平成 28 年度 12 月補正にて予算の組み替えを行い、平成 29 年 12 月末の希釈放流開始に向けて、平成 29 年 3 月に契約を締結した。また、業務棟の解体等の工事は完了した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
27. ごみ焼却量の削減	手付かず食品等の発生抑制や紙類等のリサイクルの取り組みなどを充実・強化し、ごみの減量化に向けた取り組みを進める。また、家庭系ごみ処理手数料については、適正化の検討を進める。
実績	ごみ処理基本計画・実施計画に基づき、学校園での環境学習、メールマガジンや減量フェア等を通じた情報発信、分別排出に係る啓発活動の実施等、ごみ減量・資源化の取り組みを進めた。また、ペットボトル・プラスチック製容器包装及び紙類のリサイクルに係る施策・取組についても検討を行った。 家庭系ごみ処理手数料の適正化については、事例調査等を進めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
28. 事業系ごみ処理手数料の適正化	廃棄物の処理及び清掃に関する法律による排出者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう、事業系ごみ処理手数料改定によるごみ減量の効果を検証する。
実績	事業系ごみ処理手数料の改定前と改定後のごみ搬入量の推移や搬入手数料の推移等を比較し、ごみ減量の効果等を検証した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-4. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（し尿等処理・施設管理業務）	平成 29 年度の希釈放流にあわせて、民間活力を活用するなど、職員配置の適正化に向け、検討を行う。

実績	<p>し尿処理施設の希釈放流方式への移行については、淀川衛生工場改造工事の入札不調や契約解除等により予定より遅れが生じている。</p> <p>希釈放流方式移行後の職員配置の適正化や、し尿収集車両の減車について、目標達成に向けた検討を進めた。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-5. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ収集業務）	災害等の発生時において、市の責務として市民生活に著しい影響を与えないために、セーフティネットを確保しながら、段階的な委託に向けた検討を進める。
実績	災害等の発生時において、市民生活の著しい影響を与えないよう、直営率 50%体制を確保するとともに、平成 29 年度からの 3 年間で直営車両の 3 台を段階的に委託（1 台/年、計 3 台）するための検討を行った。検討した内容を基に、平成 29 年度収集業務委託契約において、委託車両（1 台）を増車し、直営車両（1 台）を減車した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-6. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ処理・施設管理業務）	東部清掃工場は現状の運転管理業務の委託を行いながら、安定的かつ効率的な施設運営を継続する。一方、老朽化が進む穂谷川清掃工場については、長年施設の運転・維持管理業務を担ってきた職員の知識・経験・技術力が必要であることから、直営と委託の併用での運転管理とし、焼却炉運転の経験をもった再任用職員の活用を行い、平成35年度の第3プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行う。
実績	東部清掃工場は運転管理業務を委託しているため、その監理には、豊富な知識、経験、技術を持った技術職員が携わることで、安定的かつ効率的な運転管理体制を維持した。穂谷川清掃工場は平成 27 年度正職員退職者の補充として、焼却炉運転等の経験をもった再任用職員 1 名を活用し、効率的・効果的な人員体制整備を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
51. 広域連携によるごみ処理施設の整備	京田辺市と共同で整備する可燃ごみ広域処理施設について、一部事務組合の設置等、広域的な連携を図りながら、平成 35 年度の稼働に向けた取り組みを進める。
実績	平成 28 年 4 月 1 日に総務大臣に対し、京田辺市と連盟で一部事務組合設立申請書を提出し、平成 28 年 5 月 31 日に一部事務組合設立許可があり、平成 28 年 7 月 1 日から一部事務組合「枚方京田辺環境施設組合」での事務を開始した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
環境教育・環境学習の充実	試行実施したごみに関する中学校環境学習を精査し、あり方を検討する。また、事業者による環境学習の取り組みや施設見学メニューの拡充により環境教育・環境学習の充実を図る。
実績	<p>試行実施した中学校の環境学習は土曜日の特別授業として取り組んで来たが、ごみ減量施策を多くの中学生に発信するため、平日の一般授業に出向くように整理を行った。また、事業者による環境学習の取り組みや施設見学のメニューを紹介するホームページを充実させるとともに、環境副読本「わたしたちのくらしと環境」に掲載し、小学4年生全員に配布することで、学校園での利用拡大を図った。また、S-EMSの取り組み報告書により、学校園における環境教育の利用状況の把握を行った。</p> <p>高校4校 881人、中学校4校 1,891人、小学校41校 6,682人、幼稚園 保育所 保育園33園 3,985人、延べ13,439人に対して環境学習を実施した。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
大型ごみ持出しサポート収集の実施	家庭ごみ収集において、大型ごみの持ち出しが困難な障害者世帯を対象に、屋内から排出して収集するサービスを実施する。
実績	<p>大型ごみの持ち出しが困難な障害者世帯18世帯（1人世帯 14世帯、2人世帯 4世帯）より、家具類29点、スプリングマットレス3点、その他4点の大型ごみを屋内から排出して収集した。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	無事故・無違反チャレンジコンテストに参加するとともに、交通安全講習会や安全運転・安全作業マニュアル研修等の充実を図る。
実績	<p>無事故・無違反チャレンジコンテストに160人参加した。</p> <p>安全運転作業研修（DVD〔死角に潜む危険〕）、事故事例研修、安全運転実技（誘導）研修を行った。</p> <p>安全運転掲示板を設置し、枚方市内の危険箇所に関して職員周知を図り交通事故防止に努めた。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆東部清掃工場の売電収益として、約2億5000万円を見込んでいます。

実績	総発電量 32,619,920kWh の 51.3%にあたる 16,725,910kWh の電力を売却し、2億5892万725円の売電収益を得ました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、約840万円を見込んでいます。

実績	平成28年度の売電収入は2944万2395円となり、リース料を除いた売電収益は838万7795円となりました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆昨年度の取り組みにおいて、水質汚濁常時監視事業における市独自調査地点及び項目等について見直し、予算編成にあたり前年度比で約100万円の経費を削減しました。

実績	市独自調査地点を10地点から3地点に見直したことにより、予算編成にあたり調査委託料を前年度比で約100万円削減しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- その他の実績

実績	新たな財源の確保のため、穂谷川清掃工場余剰電力分の売電を開始しました。発電量7,301,250kwhのうち、余剰電力3,025,310kwhを売却し、3028万3349円の売電収益を得ました。
----	--

4. 組織運営・人材育成

- ◆定期的に部内会議を行い、組織目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行うことで、より効率的、効果的な事務執行を行います。

実績	毎月(年間12回)、部内会議を開催し、目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆現場での業務経験の蓄積や継承に必要な技術・知識の向上をめざし、OJTの充実を図るとともに、組織の機動力を最大限引き出すための組織体制を構築します。

実績	通常の指導育成や市民対応や窓口対応以外に、現場で重点的に取り組む項目を設定し、研修を行うなどの取り組みを行いました。また、現場での指導育成や市民対応等についての内容を記録し、現場担当係長間で共有できるようにしました。その他、他市視察の職員による報告会や消防訓練を実施しました。また、技術の向上をめざし、ごみ処理施設技術管理者及び最終処分場技術管理者の資格取得を積極的に行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆日常業務における教育訓練にとどまらず、朝礼やミーティングの場も活用し、互いに学び合う職場風土を築くとともに、自ら考え、行動できる自律型職員の育成に努めます。

実績	日々の朝礼や適時ミーティング等において、各担当に係る事案や課題、進捗状況などの共有化を図ったり、職員一人ひとりの意識の向上を図るとともに職員の育成に取り組みました。また、自立型職員の育成に向けても、職場研修の講師を順番制で行うなど、自ら研修目的を理解し、研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆運転技能講習を継続的に実施し、交通事故防止とエコドライブの取り組みを行います。

実績	安全運転作業研修（DVD〔死角に潜む危険〕）、事故事例研修、安全運転実技（誘導）研修を行いました。 また、エコドライブ研修や大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストへ参加しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆穂谷川清掃工場内の「ひらかた夢工房」において、講習会や発表会等を開催し、市民ボランティアによる活動を通じてごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。

実績	ひらかた夢工房内の市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを計25回開催し、556人の参加がありました。工房には1,666人の来場がありました。 「ひらかた夢工房」発表会を開催し、410人の来場がありました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ サプリ村野の「環境情報コーナー」の展示をさらに充実させ、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、省 CO₂ 活動や市の環境保全活動を効果的に PR します。

実績	環境情報コーナーにある枚方の生きもの展示コーナーでは、昆虫標本を充実させるとともに、エコドライブシミュレーターの使用や省エネナビの貸出しなどを行い、省 CO ₂ 活動や環境保全活動の PR を行いました。(研修室 134 回 1,262 人、環境情報コーナー 2,483 人の利用がありました。)
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 穂谷川清掃工場や東部清掃工場、大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」において、小学生等の見学の受け入れなどを行います。

実績	<p>小学生や一般市民等を対象に施設見学を実施しました。</p> <p>穂谷川清掃工場 (施設見学者数：1,003 人 ※減量フェア 652 人含む)</p> <p>東部清掃工場 (施設見学者数：4,830 人 ※小学生 4,343 人含む)</p> <p>枚方ソラパ (施設見学者数：179 人 ※計 3 回の見学会)</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 自然観察会や講演会の開催や各種啓発キャンペーン、「ひらかたクリーンリバー」など、市民等と連携によるイベントを行います。

実績	<p>マイバッグ・マイボトル持参キャンペーンを 22 回開催、5,892 人に啓発しました。</p> <p>水辺の楽校やセミの抜け殻調査など自然観察会を年 5 回実施するとともに、自然環境を考える講演会を開催しました。(参加者：289 人) また、天の川クリーン&ウォークや船橋川・穂谷川クリーンリバーに対する支援を行いました。(参加者：1,001 人)</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	都市整備部の取り組み実績
	<部の構成> 都市計画課、景観住宅整備課、連続立体交差推進室、施設整備室、 開発指導室開発調整課、開発指導室開発審査課、開発指導室建築安全課

1. 重点施策・事業

(1) 京阪本線連続立体交差事業

重点施策・事業 における目標	枚方公園駅付近から香里園駅付近(寝屋川市)までの延長約 5.5 キロメートル(うち枚方市域約 3.4 キロメートル)の鉄道高架の完成目標を平成 40 年度とし、平成 31 年度から鉄道高架工事に着手できるよう事業用地の取得について、専門的ノウハウを有する民間機関を活用しながら引き続き取り組んでいきます。	
平成 28 年度の 取り組み	京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務に加え、光善寺駅周辺のまちづくり事業に向けた市街地再開発事業調査を開始し、駅前にふさわしいまちづくりの実現をめざします。 平成 28 年度当初予算：3,527,083 千円	
平成 28 年度の 実績	京阪本線連続立体交差事業の用地取得業務については、大阪府からの配当額をもって鋭意取り組みました。 また、光善寺駅周辺まちづくりに関しては、市街地再開発事業調査を行うとともに地元まちづくり協議会の活動に対し技術的支援を行いました。 このことにより再開発準備組合が設立されるはこびとなりました。 平成 28 年度決算：1,889,718 千円	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

(2) 都市計画マスタープランの改正及び立地適正化計画の作成

重点施策・事業 における目標	少子高齢化、人口減少の進展に対応し、持続可能な都市づくりを進めるため、将来の都市像を示す都市計画マスタープランを改定するとともに、住宅や都市機能の適正な立地の誘導を図るため、立地適正化計画を平成 28 年度末に策定します。
-------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	両計画の素案について、説明会や公聴会など市民意見を聴く場を設けたうえで、本市都市計画審議会に諮るなどの手続きを進め、平成 28 年度末に策定します。
	平成 28 年度当初予算：22,000 千円
平成 28 年度の 実績	両計画の素案を作成した上、説明会の開催や素案の閲覧、意見書の受付などを行った後、枚方市都市計画審議会の審議を経て両計画の改定及び作成を行いました。
	平成 28 年度決算：14,873 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(3) 三世代家族の定住を促進

重点施策・事業 における目標	少子高齢化・人口減少が進む中、市内在住の親世帯と子育て世帯や若年夫婦世帯が同居・近居するために住宅をリフォームまたは購入することに対して助成し、若年世代の市内転入及び定住を促進します。さらに、マイホーム借上げ制度の周知・普及により、高齢者の持ち家を子育て世帯等へ転貸することで空き家化を防ぎ、若年世代の市内転入を促進します。
平成 28 年度の 取り組み	補助の要件等を整理のうえ、同居のために持ち家をリフォームする費用に対して 1/2 以内で最大 30 万円、または同居・近居のための住宅取得費用に対して最大 30 万円を補助します。また、高齢者世帯や子育て世帯等が、それぞれの世帯にあった住宅への住みかえを支援するため、関係機関等との連携により、マイホーム借上げ制度の周知・普及に努めます。
	平成 28 年度当初予算：12,180 千円
平成 28 年度の 実績	三世代家族・定住促進補助金の制度を整備し、10 月 1 日の運用開始に先だち広報誌等による周知及び市民等への説明会を実施しました。9 月より事前協議を始め、事前協議 43 件、交付申請 8 件を受付しました。 また、一般社団法人 移住・住みかえ支援機構が運営する「マイホーム借上げ制度」について関係団体へ協力をお願いし、事業者向け制度説明会を実施しました。さらに市民への周知・普及のための制度説明会や個別相談会を実施しました。
	平成 28 年度決算：2,464 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(4) 総合文化施設の整備

重点施策・事業 における目標	文化芸術活動の新たな拠点となる総合文化施設について、プロポーザル（技術提案）により選定した設計事業者と連携し設計を進めます。	
平成 28 年度の 取り組み	設計業務について、基本設計を取りまとめ、実施設計に着手します。 平成 28 年度当初予算：100,000 千円	
平成 28 年度の 実績	総合文化施設の設計業務について、市民等の意見内容の反映や関係者との協議などで進捗が遅れましたが、平成 29 年度からの実施設計につながるよう設計事業者と連携し、基本設計の取りまとめを行いました。 平成 28 年度決算：2,729 千円	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

(5) 公共施設の整備・保全

重点施策・事業 における目標	枚方保育所や枚方消防署中宮出張所の建替えをはじめ、新児童発達支援センターなどの整備を着実に進めるとともに、市有建築物を適正に維持保全するため、計画的に改修・更新工事を進めます。	
平成 28 年度の 取り組み	枚方保育所については、仮園舎の完成後に新たな園舎の建設に着手します。また、枚方消防署中宮出張所については、新たな同出張所の建設を進め年度内の完成をめざします。さらに新児童発達支援センターの整備に向けて設計業務に着手します。 市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき、財政負担の平準化を図りながら、計画的に改修・更新工事を進めます。 平成 28 年度当初予算：1,370,652 千円（消防予算を含む。）	
平成 28 年度の 実績	枚方保育所については、仮園舎完成に引き続き新園舎の建設に着手し、平成 29 年 11 月末の完成を目指します。また、新児童発達支援センターについては、設計業務に着手し平成 30 年度の工事完了を目指します。なお、枚方消防署中宮出張所については年度末に完成しました。 市有建築物の維持保全については、市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づき、財政負担の平準化を図りながら、計画的に改修・更新工事を進めました。また、当該実施計画に基づき、平成 29 年度の改修・更新工事にかかる設計業務を実施しました。 平成 28 年度決算：1,215,659 千円（消防予算を含む。）	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	枚方市街地開発株式会社について、平成 26 年 10 月に策定した経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行う。
実績	平成 26 年 10 月に策定された経営プランが着実に推進されるよう進捗管理を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
29. 市有建築物の効率的・効果的な改修・更新工事	市有建築物保全計画の「第Ⅱ期実施計画」に基づく改修・更新工事について、「ESCO 事業」の導入を検討するなど、民間活力を活用しながら効率的・効果的に進める。
実績	市有建築物保全計画に基づく「輝きプラザきらら」及び「中央図書館」の老朽化した空調設備等の更新にあたり、ESCO 事業の導入による事業実施に向け、プロポーザル方式により事業者の選定を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
迅速・効率的な窓口運営	窓口で縦覧に供している都市計画図書について、タッチパネル形式を用いた窓口システムを導入することで、市民の利便性の向上と職員の負担軽減を図る。
実績	窓口システムの導入により、都市計画情報の確実な運用を図るとともに迅速な窓口対応が可能となった。また、容易な操作性により来庁者による検索も可能となり、職員の負担軽減に寄与することができた。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆連続立体交差事業関連まちづくり事業に国庫補助制度の積極的な活用を図ります。(国庫補助 予定額 250 万円)

実績	連続立体交差事業関連まちづくり事業について、国庫補助制度を活用し、光善寺駅西地区市街地再開発事業についての調査を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆京阪本線連続立体交差事業の用地取得を迅速かつ円滑に進めるため、平成 28 年度の用地取得業務を引き続き民間機関を活用しながら進めます。(予算額 2 億 2000 万円)

実績	用地取得業務について、一般社団法人近畿建設協会枚方支所と委託契約を締結し業務を進めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆公共施設の整備・保全にあたっては、品質の向上とコストの低減をファシリティマネジメントの視点で取り組み、効果的な予算執行に努めます。

実績	公共施設の整備・保全に際し、品質向上を考慮しつつ、省エネルギー面で有用な照明や衛生器具などの資材を選定し、ライフサイクルコストの削減に繋げるとともに、保全にあたっては計画に基づいた予防保全に取り組むことにより、効率的・効果的な予算執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆機構改革により部の担当事務が増加したことや、新規配属職員の部の業務内容の理解を深めるため、各課の業務内容をテーマに研修を行い、部内の相互理解を深め、職員の資質向上に努めます。

実績	都市整備部の運営方針に基づく各課の業務内容について取りまとめを行い、新規配属職員をはじめ部内職員で共有を図り相互理解を深めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆京阪本線連続立体交差事業及び関連するまちづくりについては、関係者に対し職員・民間委託業者双方が満足度の高い説明、対応ができるよう、職員の資質向上、取り組みの進捗管理の徹底に努めます。

実績	課内会議等において、進捗管理を図りながら各地区の課題を抽出し、業務に関する情報の共有化を図ることで権利者の理解を得られる説明、対応に繋げることができました。 また、職員の資質向上のため、各団体主催の研修等に参加しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆開発指導、建築指導行政及び各種事業に係わる関連協議会や講習会に積極的に参加し、担当職員の資質向上に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発指導や建築指導に係る研修会等への積極的な参加により、担当職員の専門知識の習得及び資質向上が図られました。（開発調整課） ・ 近畿ブロック開発許可・宅地防災行政連絡協議会、大阪府開発許可宅地防災行政連絡協議会、近畿建築行政会議、大阪府内建築行政連絡協議会をはじめとする関連協議会、各種ワーキング等に積極的に参加し、また、改正建築物省エネ法に関する講習会、建築確認に関する研修会等にも積極的に参加したほか、熊本地震に伴う派遣要請にも応じ、本市に有事の際の対応力も含め、担当職員の資質向上に努めました。（開発審査課）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆災害時において二次災害を防止するため、建築物や宅地の安全確認を行う危険度判定士や被災建築物応急危険度判定コーディネーターの資格取得者の増員を図ります。

実績	被災宅地危険度判定士として11名が新規に資格を取得、11名が資格を更新しました。また、被災建築物応急危険度判定士として10名が資格を更新しました。これにより職員の危機管理意識の向上を図ることができました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆住宅施策等に関し、国・府・公社・UR等、様々な関係機関との連携が必要であるため、情報の共有化や意見調整を図るなど、効果的・効率的な業務執行を行います。

実績	URの市内団地建替事業に関して、関係課協議により調整を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆屋外広告物の新たな規制・誘導基準について、関連団体等へ広く周知すると共に普及啓発に努めます。

実績	屋外広告物の基準について、市・関係団体の広報紙に掲載し、概要資料を許可申請者、関係団体の会員等に配布するなど周知及び普及啓発を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆公開対象となっている会議録や計画策定に関する情報については、随時ホームページ等を活用した情報発信に努め、きめ細かな行政サービスに取り組んでいきます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画の決定・変更に係る説明会等の開催にあたっては、本市広報紙及びホームページ等を活用し周知を図るとともに、内容説明に際しては、パワーポイントの使用や概要版の配布など、理解し易い説明を行いました。また、会議録等の公表資料については、迅速な情報提供に努めました。(都市計画課) ・審議会の会議資料を会議後速やかにホームページに公開するとともに、会議録を業務委託により効率的に作成し、作成後速やかにホームページに公開することで、きめ細やかな情報発信を行いました。(景観住宅整備課)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

平成 28 年度	土木部の取り組み実績
	<部の構成> 土木総務課、道路河川管理課、道路河川補修課、道路河川整備課、 公園みどり推進室、交通対策課、用地課

1. 重点施策・事業

(1) 枚方市総合交通計画の策定

重点施策・事業 における目標	本市の将来都市像の実現を図る観点から、交通事業とまちづくりが連携した総合的かつ計画的な交通施策として、平成 29 年度「枚方市総合交通計画」の策定に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	計画策定に向け、市民や各交通関係機関が参画する協議会を立ち上げます。 また、さまざまな意見を聞くための市民ワークショップを行います。 平成 28 年度当初予算：13,938 千円
平成 28 年度の 実績	広く交通利用者の方の意見を聞くため、交通まちづくりワークショップを 4 回開催するとともに、市民、事業者等を対象に交通アンケート調査を実施しました。また、検討体制の構築として、枚方市総合交通計画協議会を立ち上げ、協議会を 3 回開催し、ワークショップやアンケート調査の意見等を基に、本市の交通に係る現況と課題を整理し、将来めざすべき都市像に向けて、総合交通計画の目標として、基本的理念を定めました。 平成 28 年度決算：11,565 千円
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

(2) 枚方市駅周辺再整備ビジョン推進事業

重点施策・事業 における目標	人が集まるまちづくりの推進をめざし、市駅周辺再整備ビジョンの実現にむけた交通基盤整備の取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	市駅周辺の交通環境の改善に向け、第 1 期実行計画として、市駅北口から文化芸術拠点へのアクセスとなる道路において、歩行者が安全で快適に回遊できるよう、歩道の拡幅をはじめ、外周道路や駅高架下道路を活用するなど、より具体的な取り組みを進めます。 平成 28 年度当初予算：35,600 千円
平成 28 年度の 実績	市駅北口から文化芸術拠点へのアクセス道路の歩道拡幅や駅高架下道路の活用、また、外周道路の整備に向けて、詳細設計を行っています。 平成 28 年度決算：—（平成 29 年度に繰越）

(3) 都市計画道路事業

<p>重点施策・事業 における目標</p>	<p>都市基盤として安全・快適で活力を生む道路交通網の整備に取り組みます。</p>
<p>平成 28 年度の 取り組み</p>	<p>新名神高速道路へのアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線については、大阪府に対し、周辺環境に十分配慮した道路として早期に完成されるよう働きかけます。また、淀川を渡河する新橋の整備については、対岸市と連携しながら、早期実現に向けた取り組みを進めます。</p> <p>本市道路ネットワークの軸である都市計画道路については、安全で円滑な交通体系を構築するため、第二京阪道路や枚方市駅へアクセスする牧野長尾線や枚方藤阪線、さらに避難路や緊急時の運送経路の確保に繋がる御殿山小倉線や中振交野線の整備を計画的に進めます。</p> <p>また、国、府、警察と連携して取り組んでいる国道 307 号の渋滞対策については、(仮称) 責谷川沿い道路の都市計画決定に向け、取り組みます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：1,665,321 千円</p>
<p>平成 28 年度の 実績</p>	<p>新名神高速道路及びアクセス道路となる都市計画道路内里高野道線については、事業者に対し周辺環境に十分配慮した道路を整備されるよう働きかけを行いました。また、淀川渡河橋については、国と大阪府により都市計画道路牧野高槻線が最適な位置であるとの基本的な方針が確認され、これを受け、対岸市と連携し、整備を明確に位置付けられるよう大阪府に要望を行いました。これら働きかけにより「大阪府都市整備中期計画(案)別冊参考資料(案)」に都市計画道路牧野高槻線など関連道路が個別事業として位置付けられました。</p> <p>本市の都市計画道路について、牧野長尾線は、一部区間の整備工事を行い、また、鉄道との交差部の架道橋新設工事については、JR との工事協定に基づく工事に着手、中振交野線、御殿山小倉線は、一部区間の整備工事、用地買戻しの手続きを行いました。枚方藤阪線については、事業用地の取得に向けて、対象地権者との交渉を進めました。</p> <p>国道 307 号の渋滞対策として、(仮称) 責谷川沿い道路については、都市計画道路長尾杉線として都市計画決定されました。また、国と警察により第二京阪道路と交差する津田北町 3 交差点の改良及び信号現示の変更が実施されました。</p> <p>平成 28 年度決算：1,393,285 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	<p>【 ◎ 】</p>

(4) 安全・安心な交通環境の創出

重点施策・事業 における目標	安全・安心な交通環境の創出を図るため、通学路の安全対策や自転車通行空間の創出に向け取り組みます。
平成 28 年度の 取り組み	<p>通学路の安全対策としては、安全な歩行空間の確保を図るため、「通学路交通安全プログラム」に基づき、平成 27 年度に完成した JR 学研都市線の交野踏切拡幅整備に続き、第一藤阪踏切の拡幅整備や中宮第 2 号線の改良整備を進めます。また、安全で快適な自転車利用環境を創出するため、市内主要駅（枚方市駅、樟葉駅、長尾駅）と周辺の公共施設における自転車通行空間の整備に向けた検討を進めます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：150,000 千円（中宮第 2 号線）、4,000 千円（自転車通行空間計画策定）</p>
平成 28 年度の 実績	<p>第一藤阪踏切及び中宮第 2 号線は、用地取得が完了した一部区間の整備を行いました。残りの区間についても、引き続き用地交渉を行い、用地取得が完了した区域から順次整備を進めていきます。自転車通行空間の整備については、「(仮称)枚方市主要鉄道駅周辺自転車ネットワーク計画」を策定中であり、現在アンケート調査や既往資料、枚方市総合交通計画の調査データを基にネットワーク路線を含んだ素案を作成し、平成 29 年 4 月のパブリックコメントに向け、準備を進めています。</p> <p>平成 28 年度決算：126,647 千円（中宮 2 号線）、－（自転車通行空間計画策定）（平成 29 年度に繰越）</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

(5) 道路・公園等の効率的・効果的な維持管理

重点施策・事業 における目標	道路・公園等施設の安全性と機能性を維持するため策定した長寿命化計画に基づき、計画的な改修・更新を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	<p>道路や公園などの機能や安全性を確保するため、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら更新、改築等を行うとともに、これらの施設の異常や支障箇所の早期発見を目的に各関係機関との連携や部内でも引き続き定期的なパトロールを行うなど、迅速な対応に努めます。また、主要道路リフレッシュ事業を継続的に進めるとともに、道路照明灯などの点検のほか、橋梁やトンネルについても精度の高い点検を行います。</p> <p>平成 28 年度当初予算：58,000 千円（道路施設調査点検）、121,000 千円（橋梁修繕・補強事業）、126,000 千円（主要道路リフレッシュ事業）、50,000 千円（公園改築等）</p>

<p>平成 28 年度の 実績</p>	<p>道路については、主要道路リフレッシュ整備事業として、岡東山之上東 1 号線舗装修繕工事、牧野長尾線舗装修繕工事、中宮津田線舗装修繕工事及び楠葉中央線舗装修繕工事を施工しました。また、橋梁長寿命化計画に基づき、平成 29 年度の完成をめざし、第九号橋他修繕補強工事に着手し、平成 29 年度以降、遅滞なく維持管理を行うことができるよう、各種設計委託を実施する等、道路施設状況の改善を図りました。</p> <p>さらに、市全域の市道及び市管理道路において、年に 2 回、道路一斉パトロールを行うとともに、道路施設点検として、橋梁の近接目視による点検や、道路照明の点検を行い、異常個所の早期発見に努めました。</p> <p>公園については、公園施設長寿命化計画に基づき、鏡伝池緑地・養父元町公園・伊加賀西町南公園の遊具の撤去・更新工事を行い、中の池公園については照明灯の更新工事を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算:41,008 千円(道路施設調査点検)、31,941 千円(橋梁修繕・補強事業)、159,925 千円(主要道路リフレッシュ事業)(※補正予算等の対応あり)、46,661 千円(公園改築等)</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	<p>【 ◎ 】</p>

(6) 公園の整備と緑地保全や緑化推進によるみどり豊かな都市環境の創造

<p>重点施策・事業 における目標</p>	<p>日常生活の中で自然とふれあい親しめる場を確保するため、公園、緑道など緑地整備を進めます。東部地域の里山を市民全体の貴重な財産として保全継承していくため、里山保全に関する取り組みを進めるとともに、「里山保全基本計画」を現状に即した計画に改定します。さらに、平成 28 年 3 月に策定した「みどりの基本計画」に基づき、多くのみどりを育み、みどりとふれあうまちづくりを進めます。</p>
<p>平成 28 年度の 取り組み</p>	<p>東部公園は、引き続き第 2 期整備区域において緑地整備を進めます。星丘公園については、地域の憩いの場となる自然環境を活かした公園整備を図るため、計画的に用地取得を進めます。また、天満川緑道においては、災害時での避難路の確保や密集市街地における延焼防止を図るため、緑道の整備に向けて用地測量を実施します。</p> <p>里山保全については、地権者や地域の方などと意見交換会等を行い、効果的な施策の検討や情報発信を行うとともに普及啓発に努めます。</p> <p>また、まちなかの緑化を推進するため、花と緑のまちづくり基金を活用し、市民による緑化活動やまちなかの花壇整備等に対する支援を行い、良好な景観、拠点整備による地域のにぎわいの創出をめざすと同時に「みどりの基本計画」の実行計画に基づき、市民・市民団体など多様な主体が連携できる場としてのプラットフォームづくりに取り組みます。</p>

	平成 28 年度当初予算：570,000 千円（公園整備）、480 千円（里山保全事業）、17,111 千円（花と緑のまちづくり事業、緑化推進事業）
平成 28 年度の 実績	<p>東部公園は大型複合遊具や展望広場を有した第 2 期施設整備工事を施工し、完成しました。また、平成 28 年 8 月には、ドッグラン施設を試行的に開設しました。星ヶ丘公園の整備については、用地取得を行い、平成 30 年度の第 3 工区の整備に向けて取り組みました。自然巡回路（天満川緑道）は、未整備区間である北楠葉・楠葉中町地区の緑道整備のための用地取得交渉を行いました。</p> <p>また、今後の里山保全の基本的な方針や方向性を見直し、東部地域の住民の意見を参考にし、枚方市みどりの基本計画に即した第 2 次枚方市里山保全基本計画を平成 29 年 3 月に策定しました。津田・穂谷両地区では森づくり委員会、杉・尊延寺地区では、山地を管理している団体に里山保全のアンケートを実施し、意見を聴取しました。さらに、里山保全意識の向上をめざし、森林ボランティアの育成や里山ウォーキング等の事業を実施しました。</p> <p>花と緑のまちづくり事業では、平成 28 年度は、花と緑の拠点づくり事業に 3 件の申請があり、枚方市花と緑のまちづくり事業選定審査会において審査が行われ、3 事業とも選定されました。また、施設緑化事業について、実績が 1 件にとどまっていることから、申請件数の増加に向けて、対象とする施設の面積要件を緩和するなど要綱の改正を行いました。プラットホームづくりについては、仕組みの構築方法について検討を進めました。</p>
	平成 28 年度決算：541,147 千円（公園整備）、306 千円（里山保全事業）、10,845 千円（花と緑のまちづくり事業、緑化推進事業）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

（1）新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	公園等の管理方法として、「鏡伝池緑地（市民の森）」の指定管理者制度の導入に向けて、具体的に検討する。
実績	鏡伝池緑地については、平成 28 年 8 月に指定管理者の公募を行い、選定委員会にて候補者を選定。12 月議会にて指定管理者の指定について議決を得た後、平成 29 年 4 月から鏡伝池緑地の指定管理に移行した。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
44. 交通安全教室の委託化	枚方・交野両警察署と連携して取り組んでいる「交通安全教室」を全ての保育所（園）・幼稚園・認定こども園・小学校において実施するため、民間に委託する。
実績	平成 28 年度から交通安全教室(自転車)の業務委託を開始し、市立小学校全 45 校で実施した。 <交通安全教室（自転車）実施校数> 平成 27 年度：小学校 35 校 平成 28 年度：小学校 45 校
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-7. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（道路維持管理業務、公園維持管理業務）	効率的・効果的な業務の運用を図る観点から、緊急時や災害時における直営での業務執行体制を確保しつつ、民間活力の効果的な活用を検討する。
実績	道路維持管理業務と公園維持管理業務について、民間活力を活用できる業務の洗い出しを行い、その課題の抽出を行った。 また、公園維持管理業務として実施していた道路附属施設である街路樹の管理業務を移管し、平成 29 年度から道路維持管理業務として実施することとした。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	スポーツ施設の管理運営の一元化に向け検討を進める。
実績	スポーツ施設の管理運営の一元化に向けて社会教育部と検討会議を開き、使用料や免除規定など条例改正の内容や駐車場の有料化のあり方等について、検討を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

（２）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
安全作業の徹底	「安全十則」「安全作業の手引」などにより、常時の安全確認と意識啓発を行う。

実績	危険予知に関する取り組み目標を全員で唱和するなど、常に安全に対する意識を高めるための活動を行った。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
公用車の事故防止	運転中の安全確認はもとより、道路上での作業中の安全対策等も含めて、効果的な講習等について検討し、実施する。	
実績	中部別館において、日々の朝礼などにより安全作業の徹底と安全運転に対する意識の向上を行った。また、安全運転講習への積極的に受講し、現場調査時も含め、できるだけ2名以上で乗車し、相互に安全確認を行った。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆都市計画道路の建設、通学路の改良整備、主要道路リフレッシュ事業、道路・公園等施設の長寿命化計画に基づく更新、改築等については、国の交付金等を最大限に活用し、効率的に取り組みます。

	維持管理	建設事業	計
平成 28 年度 当初予算	10 億 740 万円	36 億 8430 万円	46 億 9170 万円

実績	(主な事業)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主要道路リフレッシュ整備事業（岡東山之上東1号線などの舗装整備）（1億5993万円） ・ 橋梁修繕・補強事業（3194万円） ・ 牧野長尾線整備事業（2億4686万円） ・ 中振交野線整備事業（2億2834万円） ・ 御殿山小倉線整備事業（5億5770万円） ・ 市道中宮第2号線拡幅事業（1億2665万円） ・ 星ヶ丘公園整備（2億600万円） ・ 東部公園整備（3億3515万円） 	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆道路・公園等の整備から維持管理まで一貫して所管する部として、各課間の連携を密にし、効率的・効果的に事務事業の執行を図ります。

実績	道路等に関する要望については、関係課で会議を開き、情報を共有するとともに、調整を行い課題解決に向け連携を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆災害時等のセーフティネットとして万全の対応が取れるよう、災害対応訓練などによる検証を繰り返し、充実した態勢を整えます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・災害情報システムによる処理対応等を含めた図上訓練を2月に実施しました。 ・MCA無線の通信訓練をグループと個別で、交互に月1回実施しました。 ・台風接近前など連絡体制の確認と災害予想状況に応じた臨時対策などを行いました。 ・災害時に即座に対応できるよう、土嚢作り及び備蓄を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆新名神高速道路やその関連事業など、広域的な事業調整の増大に対応するため、大阪府との人材交流を積極的に行います。

実績	平成27・28年度の2年間、土木事業推進のため、大阪府都市整備部職員1名の派遣を受け、市と府の連携事業の推進に取り組むとともに、本市も平成27・28年度の2年間、道路河川整備課職員1名を大阪府都市整備部交通道路室に派遣し、実務研修を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆部内報や部内研修の充実などを通じて、各課の事務事業の共有化を促進し、意識・知識・見識など職員力のさらなる向上に取り組み、自律型職員の育成を図ります。

実績	土木部への異動者を対象とした部内研修を実施したほか、スキルアップのための部内任意研修を4回開催しました。また、部内報「DOBOKU TOPICS」を発行し、部内事務事業の共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆市民への周知や普及啓発などの情報を正確かつ効果的に発信するため、部内各課のホームページに掲載する内容を精査し、情報発信のより一層の充実を図ります。また、メール等による通報や依頼に関して、各課における業務の内容や対応方法等については、新たな手法についても検討します。

実績	<p>工事発注した各道路整備事業の進捗状況や、本市が事務局となっている、枚方市総合交通計画協議会や枚方市バリアフリー推進協議会等の会議における情報等をホームページ等により周知しました。また、都市計画道路牧野長尾線の JR 工事概要について、住民説明会を開催し、説明会の内容をホームページに掲載しました。</p> <p>また、交通安全運動（春・秋）やその他啓発運動について、ホームページや広報紙へ掲載しました。</p> <p>通報や依頼に関する対応方法等については、より迅速に対応できるよう、実施に向け、新たな手法を検討する等取り組みを進めています。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆市民参加のイベント（枚方市緑化フェスティバル、菊花展、交通安全教室など）については、市民に参加や鑑賞を呼びかけるため、多数の機関にチラシやポスター掲示などの協力を求め、情報発信に努めます。

また、体験型のイベント（里山講座、ウォーキングイベントなど）を通じ、それぞれの取り組みや活動内容を、より身近に感じてもらい、みどりに関する意識の向上に努めます。

実績	<p>市民参加のイベントについては、広報やエフエムひらかたのほか、ミニコミ紙への情報提供や市内公共施設や駅等にチラシやポスターの掲示の依頼をしました。また、体験型のイベントを通じ、里山保全や緑化推進などの意識の向上に努めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	会計管理者の取り組み実績
	<部の構成> 会計課

1. 重点施策・事業

(1) 公金の適正な管理

重点施策・事業における目標	公金の収入・支出が、適正に執行されるよう法令等に基づき、厳正な審査を行うと同時に、各課会計担当者の会計実務能力の向上を図ることにより不適切な会計処理を防止し、公金の適正な管理を行います。
平成 28 年度の取り組み	各課会計担当者に対し、会計実務研修を行うとともに、機会を捉え、個々に指導を行うことで、会計実務能力の向上を図ります。
平成 28 年度の実績	法令等に基づき、支出手続きに対する審査を厳正に行うとともに、審査情報等の共有化を進め適正な公金管理を行いました。また、会計実務能力の向上を図るため、各課会計担当者に対して会計実務研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 公金の安全で効率的な資金運用

重点施策・事業における目標	資金運用については、社会経済状況の変化に的確に対応し、公金の安全で効率的な運用を図ります。
平成 28 年度の取り組み	公金の収入・支出の収支状況のチェックと今後の収支見込みなどにより、余裕資金などを的確に把握したうえで、銀行等の定期預金に加え、国債等による債券運用を行うなど、運用益の確保を図ります。
平成 28 年度の実績	公金の収入・支出の収支状況や今後の収支見込みと、余裕資金などを把握しながら、安全性、効率性に留意し、銀行等の大口定期預金を中心に資金運用に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
審査事務における支出命令書の返戻件数の縮減	会計事務に関わる書類に記載不備等があった場合は個別指導や再発防止に向けた助言等を行う。また、会計実務研修の実施や啓発文書の配付などにより、各課に会計実務の浸透を図り、支出命令書の返戻件数の縮減をめざす。
実績	会計実務能力の向上と支出命令書の返戻件数の縮減を進めるため、書類に記載不備等があった場合には、再発防止に向けた助言や個別指導等を行うとともに、啓発文書の配付や各課会計担当者を対象に会計実務の基本について研修を実施した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
環境負荷の低減	電子ファイルや裏紙の使用により、紙の使用量を削減する。また、昼休みなどの消灯や使用しないパソコンの蓋を閉めるなどにより環境負荷の低減を図る。
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・庁内ネットワークや共有ファイルの活用などにより、資料の印刷枚数を抑制するとともに、裏紙の使用を進め、紙の使用量の削減に取り組んだ。 ・昼休みなどの執務時間外の消灯や使用しないパソコンの電源 OFF など節電に努め、環境負荷の低減に取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆歳計現金の資金不足時の資金調達について、基金からの繰替え運用を基本とし、調達額や期間を必要最小限にすることで、借入利息の抑制を図ります。

実績	資金調達については、銀行からの一時借入れは行わず基金からの繰替運用をより短期間にするなどにより、借入利息を抑制しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆会計課職員が会計実務テキスト等を参考に研修を行い、公金取扱の重要性の認識、コンプライアンス意識の醸成に努め、正確な会計処理ができるように会計担当者の資質や実務能力の向上に努めます。

実績	各課の会計担当者の力量の向上を図るため、会計課職員が各課の担当者を対象に会計実務研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆行政管理講座や債券運用セミナーなどの外部研修に参加することで、審査や出納などの会計実務能力の向上に努めます。また、河北会計事務連絡会に参加し、近隣市が抱える課題に関する研修や情報交換を行うことで、職員の能力向上を図ります。さらに、研修参加者による課内フィードバック研修を実施し、研修知識の共有化を図ります。

実績	出納や審査、資金管理などの能力の向上を図るため、行政管理講座や債券運用セミナーなどの講習会に課員を派遣しました。また、会計実務能力の向上を図るため、近隣市で構成する「河北会計事務連絡会」が行う研修会及び情報交換会に課員を派遣し、研修で得た知識の共有化を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆平成 27 年度決算書・決算概要説明書は庁内行政資料コーナー及び市内各図書館に配付します。また、過年度分を含む決算情報等については、決算概要説明書をホームページに掲載することで、市民に決算情報を提供します。

実績	市民に決算内容の周知を行うため、歳入歳出決算書や決算概要説明書を庁内行政資料コーナーや市内図書館に閲覧用として配付するとともに、ホームページに決算概要説明書を掲載しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	<h1>上下水道経営部の取り組み実績</h1>
	<部の構成> 上下水道経営室（総務担当・経営財務担当・営業料金担当）、給排水管理課

1. 重点施策・事業

（1）水道料金制度のあり方の検討

重点施策・事業における目標	<p>節水機器の普及や人口減少による有収水量の減少（平成 27 年度見込み対前年度▲487 千m^3，増減率▲1.1%）が続いていることに加え、地下水採取の規制緩和に伴う大口需要者の地下水採取への切り替えにより、一層の給水収益の低下が見込まれます。</p> <p>水道施設の更新・改良・耐震化などに取り組みながら、将来にわたり安定経営が維持できるよう、水道料金制度のあり方を検討します。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>他市の料金体系や地下水採取への対応状況等の調査を実施するとともに、枚方市上下水道事業経営審議会へ水道料金制度のあり方について諮問します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：209 千円</p>
平成 28 年度の実績	<p>水道料金制度のあり方について、8 月に他市視察を行い、他市の料金体系や地下水採取への対応状況等を調査するとともに、平成 28 年 4 月に設置した上下水道事業経営審議会へ諮問し、3 回の審議会を開催しました。その中で将来にわたって持続可能かつ今の時代にあった水道料金制度を目指し、水道料金制度のあり方を検討するにあたっての論点整理、基本的な考え方の確認等を行いました。</p> <p>平成 28 年度決算：202 千円</p>
取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】	

（2）組織体制の充実

重点施策・事業における目標	<p>平成 28 年 4 月の上下水道局の機構改革により、経営部、事業部に再編し、より戦略的な事業運営の推進と危機管理体制の強化を図ります。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>新たな体制でそれぞれの役割を担いつつ、事業運営の推進のため、部間の連携を図ります。さらには、水道・下水道組織の統合により、ジョブローテーションなどによる幅広い技術者の育成を図り、技術の継承に取り組むとともに、業務の効率化やワンストップによるお客さまのサービスの向上を図ります。また、危機管理面では部間の応援協力体制の強化を図ります。</p>

平成 28 年度の実績	機構改革により、水道・下水道事業の申請等の窓口を統合し、お客さまのサービスの向上を図りました。また、これまで水道・下水道事業ごとに、担当部署が個別に対応していた危機管理事象について、局全体で対応するよう、部間の応援協力体制の強化を図りました。なお、部間の連携、技術継承のための技術者の育成及び業務の効率化については、事業運営の中で引き続き取り組んでいきます。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(3) 水洗化の促進

重点施策・事業における目標	平成 30 年度住居系地域の汚水整備の概成に向けた取り組みとともに、公共下水道の供用開始後 3 年以内に義務付けられているトイレの水洗化の促進を図ります。
平成 28 年度の取り組み	新たに公共下水道の供用を開始した区域の家屋所有者に対して、水洗化工事の手続き、補助・融資制度などをわかりやすく説明した啓発文書により、引き続き水洗化の促進を図ります。 また、水洗化義務期限である 3 年を経過した下水道未接続家屋の所有者に対しては、勧告や戸別訪問など、水洗化促進に向けた取り組みを強化し、水洗化率の向上に向けて積極的な働きかけを行います。 平成 28 年度当初予算：330 千円
平成 28 年度の実績	水洗化の促進に向け、供用開始してから 1 年目、2 年目と 2 年半目に当たる未接続家屋に対して、啓発文書の送付を行いました。 また、水洗化義務期限である 3 年を経過した未接続家屋に対して、積極的な働きかけを行うため、継続的に戸別訪問などを行いました。 平成 28 年度決算：134 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
9-1. 下水道事業会計の経営健全化（下水道使用料のあり方検討）	今後予測される下水道使用料収入の減少や下水道施設の長寿命化事業に伴う維持管理費の増加等を踏まえ、下水道使用料のあり方について、他市状況調査を実施する。

実績	下水道使用料のあり方について、中核市の下水道使用料の実態を把握するとともに、平成 30 年度策定予定の「下水道事業経営戦略」に向けて、今後の下水道施設長寿命化等に伴う概算事業費等を踏まえ、収支見通しのシミュレーションを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
9-2. 下水道事業会計の経営健全化（水洗化の促進）	水洗化義務期限である 3 年を経過した下水道未接続家屋の所有者に対する勧告や戸別訪問など、水洗化促進に向けた取り組みを強化し、水洗化率の向上に向けて積極的な働きかけを行う。
実績	公共下水道の平成 26、28 年度供用開始区域へ下水道に接続するよう啓発文書を送付した。 また、平成 24 年度供用開始区域の下水道未接続家屋を把握するための実態調査として、建物所有者の確認や下水道の利用状況を確認後、戸別訪問や文書送付により接続意義の説明等を行い、すみやかに下水道に接続するよう指導し、水洗化の促進を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
30. 水道料金制度のあり方の検討	他市の料金体系や地下水採取への対応状況等の調査を実施するとともに、枚方市上下水道事業経営審議会へ水道料金制度のあり方について諮問する。
実績	水道料金制度のあり方について、8 月に他市視察を行い、他市の料金体系や地下水採取への対応状況の調査を実施した。また、上下水道事業経営審議会へ諮問し、将来にわたって持続可能かつ今の時代にあった水道料金制度を目指し、水道料金制度のあり方を検討するにあたっての論点整理、基本的な考え方の確認等を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

（2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
類似業務の統一化	2 つの部署で行っていた給水装置工事と排水設備工事の工事事業者の指定等に関する業務を 1 部署で担当することにより、業務内容を総括して検証し、事務の省略や統一などを行い業務の効率化を図る。

実績	給水装置、排水設備に係る工事事業者の指定等業務について、業務の効率化や業務量の削減等を図るため、給水と排水で異なっていた事務処理方法の統一等を行った。また、平成 29 年度からの実施に向けて、指定・審査手数料の入金確認方法の変更、新規指定の際の説明会の同日実施、申請から指定までの標準処理期間の短縮など、見直しを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
安全衛生委員会の機能強化	事故のない安全な職場環境の維持のために設置している安全衛生委員会について、これまで部単位で設置していたものを、機構改革と執務場所の統合に伴い、上下水道局として 1 つにまとめて設置する。これにより、それぞれの委員会での有効な取り組みを融合し、委員会機能の強化を図る。
実績	これまで各部で開催していた安全衛生委員会を、上下水道局安全衛生委員会として 1 つに統合し、「リスクアセスメント活動」、安全や健康について啓発する「安全の日」の取り組みを融合するなど、委員会機能の強化を図った。また、新たに「上下水道局安全衛生委員会だより」を発行し、安全衛生に関する情報の周知及び共有化を行った。今後も事故のない安全な職場環境の維持のために、積極的な取り組みを進めていく。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

●その他の実績

市外転出による水道料金及び下水道使用料の未収金を抑制するため、市民室及び各支所での転出受付の際に、案内チラシを配付することにより、「水道使用中止届」の未提出の防止に努めた。
--

3. 予算編成・執行

- ◆水道事業会計では、収入の根幹となる給水収益の減少傾向が続きますが、予算編成時だけでなく、予算執行段階においても経費節減に取り組み、健全な経営を維持します。また、資本的収支では、建設改良費が増加しますが、自己財源を活用し、企業債発行額を抑制しながら、計画的に企業債残高の縮減を図ります。

実績	節水機器の普及などに加えて、大口需要者の地下水利用の影響もあり、給水収益は減少しました。一方、費用面では職員給与費の増などはあったものの、減価償却費の減などにより、費用全体では減少となりました。その結果、単年度の純利益は前年度より減少し、11 億 6421 万 3000 円を計上しました。 また、企業債について、自己財源を活用し、発行額が償還額を超えないように
----	--

	<p>しながら、企業債残高の縮減を図りました。</p> <p>【対前年度決算比】</p> <p>給水収益減少額：約 1 億 434 万円 職員給与費増加額：約 1 億 2884 万円 減価償却費減少額：約 3 億 3688 万円 単年度純利益減少額：約 519 万円</p> <p>企業債発行額：約 10 億 1820 万円 企業債償還額：約 15 億 1893 万円 企業債残高：約 206 億 2689 万円</p> <p>【対前年度決算比】</p> <p>企業債残高削減額：約 5 億 73 万円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 下水道事業会計では、供用開始区域の拡大に取り組む一方で、水需要の減少により使用料収入の大幅な増収は見込めない中で、予算編成から執行段階においても経費節減に努め、基準外繰入金金の計画的な削減に引き続き取り組みます。

実績	<p>使用料収入は、水洗化の促進や大型商業施設等の下水道の使用開始などから増加となり、修繕費や利息の減など、経費の縮減にも努め、基準外繰入金を削減しました。なお、単年度純利益は前年度より減少し、21 億 596 万 2000 円を計上しました。</p> <p>【対前年度決算比】</p> <p>下水道使用料増加額：約 3482 万円 一般会計繰入金削減額：約 4 億 1315 万円 単年度純利益減少額：約 5 億 9591 万円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆ 平成 28 年 4 月に機構改革を実施し、水道部・下水道部を経営部・事業部に再編、水道・下水道事業を一体的に捉えた実質的な組織統合を図ったことから、水道・下水道事業を安定して持続的に取り組んでいけるよう、効率的な組織運営に努めます。

実績	<p>新たな組織において、給水・排水設備関係の窓口業務のワンストップ化により、お客さまサービスの向上を図りました。また、災害等危機事象に備え、部間の応援協力体制、緊急出動班の整備を行い、危機管理体制の強化を図りました。</p> <p>なお、この機構改革に合わせて、執務場所の統合、代表電話（電話による上下水道局総合受付）の設置を行うことにより、窓口における関係部署の連携した対応、代表電話における的確な対応を図り、お客さまサービスの向上へ取り組むとともに、上下水道局組織全体の効率的な運営にも努めました。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆上下水道局の事業が、お客さまの信頼の上に成り立っていることを、全職員が再認識し、服務規律の確保を徹底していくため、コンプライアンスの向上に向けた取り組みを継続的に行っていきます。

実績	職員が常に襟を正し、コンプライアンスの推進を図ることが市民の信頼につながることから、上下水道局全職員に対して、コンプライアンスの徹底、個人情報の保護、信用失墜行為の禁止などについて、適宜、通達を行い、服務規律の確保に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆水道、下水道事業ともに、高度な専門技術の習得とその技術の継承が必要なため、研修参加への促進を図るとともに、技術の継承が図れるよう職場内研修の推進を図ります。

実績	上下水道局職員として高度な専門技術の習得や将来への技術継承のため、他団体主催の研修へ広く参加し、職務に関する知識やスキルの向上を図りました。また、年度当初、上下水道局へ異動してきた職員及び新規採用職員を対象に、上下水道局各課の業務を案内する研修を実施するなど、水道・下水道事業の取り組みについて習得する機会を設け、職員の資質の向上に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆水道・下水道事業を一体的に捉えた機構改革の実施に合わせ、上下水道局の取り組みに関する広報についても、水循環に関連付けて一体的に行い、広く情報発信します。

実績	水道・下水道事業の取り組みを広く情報発信するため、FM ひらかた、情報誌など各種媒体を通じて広報を行いました。平成 28 年度の上下水道事業の主な取り組みなどを紹介した情報誌を、5,000 部発行し、市役所本庁舎、支所、図書館など、市内公共施設 35 ヲ所で配布しました。また、水道・下水道事業の取り組み、業務窓口等を案内した「水道・下水道ガイド（保存版）」を転入者に配布しました。今後も、一体的に情報発信を行い、広報の充実を図っていきます。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆上下水道局ホームページについて、より検索が容易になるよう、局内横断的な更新に取り組みます。また、お客さまに必要な情報は、掲載方法を工夫し、わかりやすく情報発信します。

実績	枚方市ホームページにある「上下水道局」専用ページ内の検索をスムーズに行えるよう、タイトルメニューの分類を検索者の視点から見直し、わかりやすく整理しました。また、素早く対象を絞り込み、容易に検索ができるよう、検索対象となる「個人のお客さま」、「事業者さま」等の別に専用バナーを設置しました。今後もわかりやすい情報発信に努め、随時更新を行っていきます。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	上下水道事業部の取り組み実績
	<部の構成> 上下水道計画課、上水道整備室浄水課、上水道整備室上水道工務課、上水道保全課、 下水道整備室汚水整備課、下水道整備室雨水整備課、下水道施設維持課

1. 重点施策・事業

(1) 水道管路更新・耐震化事業

重点施策・事業 における目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるため、上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けた取り組みに着手します。
平成 28 年度の 取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 28 年度当初予算：2,810,000 千円
平成 28 年度の 実績	約 12km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を行い 1,167 件の鉛製給水管の取替えを実施しました。(耐震化率 22.3%、鉛製給水管率 18.7%) 上水道施設整備基本計画の策定については、プロポーザル方式により、選定された事業者と計画策定の業務委託契約を 11 月に締結しました。計画の策定に向けた調査では、現計画の課題整理に取組み、将来人口予測に基づく給水需要予測を行いました。 平成 28 年度決算：1,607,766 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 中宮浄水場更新事業

重点施策・事業 における目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	平成 27 年度から実施している基本構想策定・基本設計業務に引き続き取り組むとともに、浄水場更新用地の取得や既存建築物の解体工事を進めます。 平成 28 年度当初予算：1,936,000 千円
平成 28 年度の 実績	中宮浄水場更新基本構想を策定しました。また、更新用地を取得し、文化財包蔵確認調査を終え、既存建築物の解体工事に着手しました。 平成 28 年度決算：1,156,311 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(3) 応急給水拠点の整備

重点施策・事業 における目標	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 31 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
平成 28 年度の 取り組み	平成 28 年度は、応急給水拠点として、北山配水場に緊急遮断弁を設置するとともに、鷹塚山配水場の更新工事に着手します。また、津田低区配水場では、平成 33 年度に耐震化事業を完了し応急給水拠点として整備するため、事業に必要な用地を取得します。 平成 28 年度当初予算：284,800 千円
平成 28 年度の 実績	北山配水場に緊急遮断弁を設置し、応急給水拠点として運用を開始するとともに、鷹塚山配水場更新工事に着手しました。また、津田低区配水場の耐震化に向け、事業用地を取得しました。 平成 28 年度決算：161,677 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(4) 下水道施設維持管理事業

重点施策・事業 における目標	浸水被害対策等に備え、下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。また、下水道施設長寿命化計画を策定し、汚水管渠施設等の計画的な改築及び修繕工事を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	下水道施設（河川、水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。また、下水道施設長寿命化計画（汚水管渠・ポンプ場遠方監視システム）策定に向けた詳細調査、計画の策定を進めます。 平成 28 年度当初予算：944,312 千円
平成 28 年度の 実績	水路、管渠等の下水道施設の清掃や維持補修を定期的に行うとともに、老朽化した下水道管の更生工事を行いました。 また、下水道施設の詳細調査結果に基づき、汚水管渠と遠方監視設備の長寿命化計画を策定しました。 平成 28 年度決算：615,858 千円（※その他関連経費あり）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）

重点施策・事業における目標	河川や水路、池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちとするため、公共下水道の整備を促進するとともに、生活排水等の適正処理を進めます。
平成 28 年度の取り組み	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組みます。 平成 28 年度当初予算：1,348,010 千円
平成 28 年度の実績	平成 28 年度整備予定地区の工事を進めるとともに、平成 29 年度整備予定地区の設計業務を実施しました。また、未承諾地区についても 2 地区の工事を行いました。 平成 28 年度決算：1,155,675 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）

重点施策・事業における目標	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
平成 28 年度の取り組み	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地について、津田汚水幹線より企業共有の集中浄化槽までの約 0.7km について、平成 27 年度から平成 30 年度を整備期間として整備工事に着手しており、平成 28 年度も引き続き整備を進めます。 平成 28 年度当初予算：130,000 千円
平成 28 年度の実績	枚方工業団地においては、約 0.7km の整備予定延長中、約 0.4km の汚水整備を行いました。 平成 28 年度決算：255,938 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(7) 公共下水道雨水整備事業

重点施策・事業における目標	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組みます。
---------------	---

平成 28 年度の 取り組み	浸水対策として、船橋本町雨水支線や養父丘排水路などの整備に取り組むとともに、新安居川ポンプ場及び溝谷川ポンプ場の排水能力の向上をめざし整備を進めます。
	平成 28 年度当初予算：1,714,195 千円
平成 28 年度の 実績	平成 29 年度完成を目途に船橋本町雨水支線の整備を進めるとともに、養父丘排水路の整備を実施しました。新安居川ポンプ場では樋管・樋門工事、ゲート工事を完成させ、ポンプ場土木工事に着手し、溝谷川ポンプ場でも沈砂池築造工事に着手しました。
	平成 28 年度決算：856,554 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(8) 下水道浸水被害軽減総合事業

重点施策・事業 における目標	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設等の整備を進め浸水被害の軽減に取り組みます。
平成 28 年度の 取り組み	下水道浸水被害軽減総合計画に基づくハード対策として、蹠跏排水区では、雨水貯留施設の整備を推進し、楠葉排水区では、実施設計に取り組みます。
	平成 28 年度当初予算：596,500 千円
平成 28 年度の 実績	蹠跏排水区においては、雨水貯留管の整備工事に着手するとともに、楠葉排水区においては、実施設計に取り組みました。
	平成 28 年度決算：237,828 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
31. 水道施設の計画的な整備・更新	給水人口や有収水量の減少などの長期的な見通しを踏まえ、アセットマネジメントを導入した「上水道施設整備基本計画」を策定し、計画的に施設の整備、更新を進める。 また、中宮浄水場の更新については、効率的・効果的な施設の更新・運用を図る観点から、民間活力の活用も検討しながら、同施設の基本構想・基本設計・実施設計を策定し、工事に着手、平成 37 年度から給水開始をめざす。

実績	<p>「上水道施設整備基本計画」の策定については、プロポーザル方式による委託業務事業者選定審査会の答申を受け、業務委託の契約を締結した。</p> <p>計画策定に向けて基本資料の収集、現計画と現状との相違点・課題の整理、将来人口予測に基づく給水需要予測を行った。</p> <p>中宮浄水場の更新については、更新事業検討委員会を設置し、浄水処理方式の検討を経済性・施工性・水処理や維持管理面など多角的な見地から検討を行った。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
32. 下水道施設の長寿命化	老朽化した下水道施設の機能を適切に管理し、事後保全型から予防保全型へのシフトを図り、計画的に施設の改築・修繕を行うため下水道施設長寿命化計画の策定により、下水道施設の延命化と維持管理費の平準化を図る。
実績	<p>平成 28 年 8 月 29 日に汚水管渠及び遠方監視設備の計画策定業務委託の契約を締結した。12 月に関係機関と協議し、計画書の記載方法や計画策定までの工程等についての確認を行った。</p> <p>また、施設の状態を把握するための点検・調査を実施し、緊急度判定などの診断結果に基づき、平成 29 年 3 月に汚水管渠と遠方監視設備の長寿命化計画を策定した。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
45-8. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（上水道施設維持管理業務）	漏水修繕業務については、直営との役割分担を踏まえつつ、道路掘削作業など、その一部に民間活力を導入し、事業者の技術の習得状況を確認しながら、技能労務職員の適正な配置を行う。
実績	<p>平成 28 年 7 月から単価契約による「水道管漏水等修繕工事」として、修繕業務の繁忙期や漏水発生 の重複時に民間活力を導入し、31 件の修繕工事を発注した。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

改革課題	取り組み内容・目標
45-9. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（下水道施設維持管理業務）	浸水災害対応時のポンプ場の運転管理を基本に職員を配置しているが、ポンプ場の自動化や遠方監視システムの導入に合わせ配置基準の見直しを進める。
実績	<p>本市が管理する雨水ポンプ場 8 施設のうち、蹠沓ポンプ場にある 3 号・5 号エンジンポンプの自動運転化の工事を完了した。平成 29 年 3 月に遠方監視設備の長寿命化計画を策定した。これらの取り組みとあわせ、配置基準の見直しに向け、引き続き検討を進める。</p>
	<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
水道維持管理業務における、漏水修繕手法の検討	水道維持管理業務は、民間事業者も含め、人材確保と技術継承が大きな課題となっている。平成 27 年度に不調となった民間事業者への発注方法の再検討を行うとともに、直営体制の充実も視野に入れた課題解決の手法を検討する。
実績	民間事業者への発注方法を再検討し、単価契約による漏水修繕工事として 31 件を発注した。また、他市の委託状況調査を実施するとともに、市内の複数事業者との委託に向けた意見交換では、24 時間 365 日に対応するには体制的に困難な状況であった。一方、現行サービスを維持するため漏水修繕業務に携わる若手職員の人材育成及び技術継承に努めた。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
危機管理体制の充実	事業部として、大規模災害等危機事象に備えてのマニュアル整備、情報の共有化等、水道及び下水道に係る新たな危機管理体制の構築を行う。
実績	大規模災害等危機事象に備えるため、「上下水道局危機管理マニュアル」を 7 月に策定し、そのマニュアルに基づいて、様々な訓練を行うことで、情報の共有化を図る等、水道及び下水道に係る新たな危機管理体制を構築した。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
業務効率の向上	定例会議により、工程等の共有に加えて、設計業務等の重要課題を課内全員で検討することにより、業務の適正化及び効率化を進めるとともに、職員の技術の向上や継承を図る。
実績	毎月課内会議を行い、業務の課題や進捗状況を共有することにより、業務の適正化及び効率化を進めるとともに、職員の技術の向上や継承を図った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆水道事業については、建設改良費の増加に対し、自己財源を活用し、企業債発行額を抑制しながら計画的に企業債残高の縮減を図ります。

実績	企業債については、新規発行額を償還額以下に抑制し、引き続き、残高の縮減を図りました。 企業債発行額：10 億 1820 万円 企業債償還額：約 15 億 1893 万円 企業債残高：約 206 億 2689 万円 【対前年度決算比】 企業債残高削減額：約 5 億 73 万円
	取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】

- ◆下水道事業については、整備事業に国費を活用するとともに、経営の効率化、経費削減に努め、一般会計からの基準外繰入金を抑制し予算編成を行いました。

実績	一般会計繰入金を縮減する一方、船橋本町雨水支線や新安居川ポンプ場、汚水管の整備工事等に国費を活用しました。 国費執行額：約 6 億 8983 万円 【対前年度決算比】 一般会計繰入金削減額：約 4 億 1315 万円
	取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆上下水道組織の再編により、事業の効率的・効果的な組織運営を図るとともに、危機管理体制の強化に努めます。

実績	水道と下水道の施設情報管理システムの統合・再構築を進めるための庁内プロジェクトチームを設置し、業務の効率化に向けた取り組みを進めました。また、上下水道局危機管理マニュアルに基づいて、8月から応急給水訓練を随時行い、2月には「大雨が降り続いた」という想定で図上訓練を実施し、危機管理体制の強化に努めました。
	取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】

- ◆水道・下水道の将来を担うエキスパート職員を長期的視点で育成するとともに、部内のジョブローテーションや専門研修等を活用し、職員の資質や能力の向上に努めます。

実績	業務に必要となる専門研修の受講や技術・機器等の展示会への参加等を行い、その内容を他の職員へも共有することで、職員の資質や能力の向上に努めました。
	取り組みに対する達成状況 【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆市民の皆様が安心して水道水を利用できるよう、施設の更新・耐震化事業や水質管理についての情報発信を行います。

実績	水質検査計画に基づき実施した定期の水質検査結果を、実施の都度ホームページに掲載するとともに、年報として取りまとめ、ホームページや行政資料コーナー等で公開することにより、年間を通じて全ての検査項目で国の定める水質基準を満たした安全安心な水道水の供給について、情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市民の皆様が安心できるようホームページやリーフレット等を活用した浸水対策事業等の下水道事業の情報発信を行います。

実績	ホームページを活用して浸水対策事業等の情報発信を行いました。 蹉跎排水区及び楠葉排水区では、市民の皆様へ浸水対策事業への理解を深めていただくため、わかりやすくまとめたリーフレットを配布しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

<上下水道局 新管理棟>



平成 28 年度	市立ひらかた病院の取り組み実績
	<部の構成> 診療局、看護局、薬剤部、医療安全管理室、医療相談・連携室、事務局（経営管理室総務課、経営管理室経営企画課、医事課）

1. 重点施策・事業

（1）新公立病院改革プランの策定

重点施策・事業における目標	平成 28 年度を最終年度としている「中期経営計画」の後継計画として、国が示す「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、新公立病院改革プランを策定します。
平成 28 年度の取り組み	大阪府が平成 28 年 3 月に策定した「大阪府地域医療構想」との整合を図りながら、平成 28 年度内に新公立病院改革プランを策定します。
平成 28 年度の実績	「市立ひらかた病院改革プラン策定委員会」を設置し、現行の「中期経営計画」に掲げた「緊急健全化対応策」の実績評価や「中期的な取組」の進捗状況について検証し、平成 29 年 3 月に「市立ひらかた病院改革プラン」を策定しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

（2）新病院整備事業の完了

重点施策・事業における目標	駐車場と病院玄関前ロータリーは平成 28 年 7 月末までに、自転車駐車場と芝生広場等は 12 月 15 日までに整備を完了し、駐車場は 8 月から、自転車駐車場は平成 29 年 1 月から有料で運営を開始します。
平成 28 年度の取り組み	新病院整備工事が契約期間満了日の 12 月 15 日までに完了できるよう都市整備部と連携して進捗管理を行います。
	駐車場については保健センターと一体的に管理運営する事業者へ行政財産目的外使用許可を付与し、8 月の新駐車場の開設に合わせて、有料で運用を開始します。また、自転車駐車場については平成 29 年 1 月から病院部分のみ有料で運用を開始します。
	平成 28 年度当初予算（医業外収益）：8,000 千円（駐車場収入）
	平成 28 年度当初予算（建設改良費）：536,500 千円（工事費等）

平成 28 年度の 実績	自転車駐車場及び芝生広場を含む新病院整備事業については、平成 28 年 12 月にすべて完了しました。	
	駐車場については、8 月 1 日から予定どおり、有料で運用を開始し、自転車駐車場についても平成 29 年 1 月より有料で運用を開始しました。	
	平成 28 年度決算（医業外収益）：19,089 千円（駐車場収入）	
	平成 28 年度決算（建設改良費）：457,720 千円（工事費等）	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

（３）病院経営の健全化

重点施策・事業 における目標	中期経営計画で目標として設定している病床利用率 80%を達成することによる収益拡大と、各種委託業務の仕様見直し等による費用縮減により病院経営の健全化を図ります。	
平成 28 年度の 取り組み	病床利用率向上のため、地域医療連携をより一層強化するとともに、病床利用率が低い 4 階東病棟（女性病棟）の受入れ対象患者の拡大を図ります。また、今年度に更新時期を迎える委託業務の仕様を見直し、費用縮減を図ります。	
平成 28 年度の 実績	地域連携紹介患者は前年比約 18%の増と一定の成果があったものの、病床利用率については医師の不足等の課題があったことから、目標値を下回ることとなりました。ただし、診療単価の向上や入院患者数の増加により、収益については増加しています。また、各種委託業務については、契約更新時の仕様の見直しにより、費用の縮減を図りました。	
取り組みに対する達成状況		【 △ 】

（４）地域医療連携ネットワークの拡充

重点施策・事業 における目標	「ひらかた地域医療連携ネットワーク協議会」の会員数を増加させ、さらに「地域医療連携システム」を拡充します。	
平成 28 年度の 取り組み	「ひらかた地域医療連携ネットワーク協議会」に参画する枚方市医師会、枚方市病院協会及び枚方市歯科医師会などを通して地域の医療機関への説明を行い、開示施設会員数や参照施設会員数の増加を図ります。また、「地域医療連携システム」に対する理解を深めてもらうため、広報ひらかたやホームページを活用して、医療機関や市民への周知を図ります。	
平成 28 年度の 実績	枚方市医師会、枚方市病院協会及び枚方市歯科医師会などを通して「ひらかた地域医療連携ネットワーク協議会」の会員数を増加させる取り組みを継続的に行いました。また、ホームページ等で市民周知にも取り組みました。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者用駐車場の有料化の実施	駐車場を保健センターと一体運営で有料化（平成 28 年 8 月） 自転車駐車を有料化（平成 29 年 1 月）
実績	平成 27 年度に策定した「来庁者・利用者用駐車場の有料化に関する考え方」に基づき、平成 28 年 8 月から保健センター・市立ひらかた病院の自動車駐車を、平成 29 年 1 月からは自転車駐輪場等を有料化した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
10. 病院事業会計の経営健全化	病床利用率 80%を達成する。（平成 28 年度） 病床利用率 85%を達成する。（平成 29 年度以降） 以上により、医業収益において平成 27 年度（決算見込）比で 4 年間（平成 28 年度～平成 31 年度）合計約 31 億円の増収をめざす。
実績	「中期経営計画」において平成 28 年度の目標としていた病床利用率 80%は達成できなかったが、医療事務委託の仕様の見直し等による費用削減を行い、経営健全化に向けて取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
33. 公立病院改革の推進	公立病院改革のさらなる推進を図るため、国の新公立病院改革ガイドライン等に基づき、「新公立病院改革プラン」を策定し、病院機能の見直しや病院事業経営の改革に総合的に取り組む。
実績	市立ひらかた病院改革プラン策定委員会を設置し、「市立ひらかた病院改革プラン」を平成 29 年 3 月に策定した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
病床利用率の向上	80%以上
実績	平成 28 年度の一般病床利用率については 71.7%で、目標である 80%は達成できなかった。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題		取り組み内容・目標	
紹介率等の向上		紹介率 50%以上 逆紹介率 70%以上	
実績	平成 28 年度の紹介率は 66.4%、逆紹介率は 67.7%で、逆紹介率において目標の達成はできなかった。		
取り組みに対する達成状況		【 △ 】	

改革課題		取り組み内容・目標	
医療事故の発生防止		医療事故の発生件数 0 件	
実績	平成 28 年度の医療事故の発生はなく、安全で適切な医療の提供を行うことができた。		
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆医療事務委託料について、従前の仕様の内容等の見直しを行い、予算編成にあたり下半期で 924 万円の経費を減額しました。

実績	医療事務委託料は、仕様内容の見直しを行い、平成 28 年度は、927 万 8000 円削減することができました。		
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】	

- ◆昨年度に引き続き、「大阪府新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業補助金（国庫補助事業）等、各種補助制度の積極的な活用を図り、財源の確保に努めます。

実績	大阪府新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業補助金や大阪府感染症指定医療機関運営事業補助金など各種補助制度について活用し、財源確保に努めました。		
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆医師についても、職員がその職務を遂行するに当たり発揮した能力及び挙げた業績を把握したうえで行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とします。

実績	平成 29 年度からの導入に向けて、トライアル人事評価を実施するなど、制度の検討を行いました。		
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】	

- ◆各領域・各職種における提供医療や提供サービスの充実に必要な知識の向上と人材育成の強化を図ります。

実績	院内の研修だけでなく、大阪府看護協会や検査技師会などが主催する外部研修にも積極的に参加し、職員の専門性と人材育成の強化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆院内情報モニターによる情報発信や病院広報誌、掲示物の他、広報ひらかたやホームページ等による情報発信を強化します。病院ホームページについては、さらに見やすく、わかりやすいものにするために全面的なリニューアルを行います。

実績	病院ホームページについては、新着情報を「トピックス」、「患者さん向け」、「医療機関向け」、「求職者向け」に区分し、誰に情報を発信しているか明確にするなど、見やすくわかりやすいものとなるよう全面的にリニューアルを行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	管理部の取り組み実績
	<部の構成> 教育総務課、教育環境整備室、学校給食課

1. 重点施策・事業

(1) 学校園の安全対策

重点施策・事業 における目標	小学校の校門の適正な管理と来校者の受付・確認を行うことにより不審者の侵入を防止するとともに、地域に開かれた学校としての管理運営体制を確保します。
平成 28 年度の 取り組み	監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用に加え、人的配置を行い、児童の安全確保を図ります。 平成 28 年度当初予算：32,384 千円
平成 28 年度の 実績	監視カメラ及び校門のオートロック装置に連動したワイヤレス子機付きインターホン等の活用に加え、安全監視員等の人的配置を行い、児童の安全確保を図りました。 平成 28 年度決算：31,659 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 学校トイレの改善

重点施策・事業 における目標	児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、トイレのドライ方式による全面改造や多目的トイレの設置などトイレの改造工事を行い、老朽化したトイレの改修や機能の充実を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	小学校 6 校、中学校 3 校について各 1 系列のトイレ改造工事を行います。 平成 28 年度当初予算：360,000 千円
平成 28 年度の 実績	平成 28 年度当初予算では、小学校 6 校、中学校 3 校の予定でしたが、学校施設環境改善交付金が採択されなかったため、児童生徒への影響を勘案し教室棟を優先させ、一般財源の範囲で小学校 3 校、中学校 3 校を整備しました。 また、平成 27 年度補正予算繰越分として、小学校 2 校と中学校 1 校について学校施設環境改善交付金が採択されたことから、交付金を活用して整備をしました。 平成 28 年度当初予算分 小学校 3 校、中学校 3 校 平成 27 年度補正予算繰越分 小学校 2 校、中学校 1 校

	平成 28 年度決算：258,206 千円（※その他関連経費あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（３）市立小中学校施設の更新整備

重点施策・事業における目標	小中学校施設の経年劣化による老朽化に対応するため、平成 27 年 3 月に策定した枚方市学校施設整備計画第 1 期実施計画（前期）に基づき、学校施設の更新整備（改築又は長寿命化改修）を進めます。
平成 28 年度の取り組み	香里小学校教室棟（3 棟）・第一中学校教室棟（3 棟）・桜丘小学校教室棟（2 棟）の基本・実施設計を行います。 平成 28 年度当初予算：30,710 千円
平成 28 年度の実績	香里小学校教室棟（3 棟）・第一中学校教室棟（3 棟）・桜丘小学校教室棟（2 棟）の基本・実施設計を行いました。 平成 28 年度決算：10,431 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（４）枚方小学校少人数教室等整備事業

重点施策・事業における目標	枚方小学校は児童数の将来推計において、平成 30 年度から教室が不足すると予測されることから、コンピュータ教室と教材室を普通教室として使えるよう改修し、併せて少人数教室や多目的室等 4 室を整備するものです。
平成 28 年度の取り組み	整備工事に係る実施設計を行います。 平成 28 年度当初予算：10,721 千円
平成 28 年度の実績	平成 29 年度工事実施に向け設計業務を行いました。 平成 28 年度決算：6,278 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（５）学校規模等の適正化の推進

重点施策・事業における目標	将来における適正な学校配置を進めるため、審議会での答申を踏まえ、学校規模等適正化基本方針を改定し学校統合等に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の取り組み	保護者等を対象に説明会を開催し、学校規模等適正化基本方針を改定します。その後、具体的な取り組みを進める学校について、実施プランの策定に取り組みます。

平成 28 年度の 実績	審議会からの答申内容について、検討対象校 11 校に加え、開催要望のあった 1 校に対して説明会を実施しました。また、説明会で出たご意見等を参考に枚方市学校規模等適正化基本方針【改定版】(素案)を取りまとめ、パブリックコメントを実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(6) 学校給食の充実

重点施策・事業 における目標	中学校給食について、目標とする喫食率 50%の確保に向けて取り組むとともに、財源確保などの課題解決を図りながら、全員喫食の実現をめざします。また、老朽化が進む小学校給食調理場について、効率的・効果的な整備を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	中学校給食について、選択制共同調理場ランチボックス方式での中学校給食の提供を開始し、喫食率向上に向けた取り組みを進めるとともに、生徒や保護者等への意向調査を実施します。 また、第三学校給食共同調理場及び単独調理場の老朽化対策について整備方針の策定を進めます。
平成 28 年度の 実績	平成 28 年 4 月から全 19 中学校において給食の提供を開始し、必要食数の安定的な提供を行うことができました。また、「給食・食育だより」の発行、子どもたちの人気投票による「リクエスト献立」の実施、毎月の予約手続きを省略できる「自動予約」の開始、小学校 6 年生と保護者を対象とする「中学校給食試食会」の実施、PR 用プロモーション DVD の制作などの喫食率向上に向けた取り組みを進めました。 中学校給食の全員喫食については、庁内委員会において課題整理を進めました。 調理場の老朽化対策については、庁内委員会で整備手法について検討を進め、共同調理場等 6 箇所の整備を行う方向性を確認しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	平成 28 年度末までに、市立学校園施設開放事業と市立小中学校校体育施設開放事業との整理・調整を行い、事業の統合などの方針を決定する。その中で、電気使用料等の実費相当額の負担を求めていくことについても具体化を図り、平成 29 年度中の実施をめざす。
実績	市立学校園施設開放事業と市立小中学校校体育施設開放事業の事業統合に向けて、諸課題について検討し、管理時間帯に関わらず施設開放事業を行うことを決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
34. 学校規模等の適正化	将来における適正な学校配置を進めるため、審議会での答申を踏まえ、学校規模等適正化基本方針を改定し学校統合等に向けた取り組みを進めていく。
実績	審議会の答申内容について、検討対象校 11 校および開催要望のあった 1 校に対して説明会を実施した。その際頂いたご意見等を参考に、枚方市学校規模等適正化基本方針[改定版](素案)を作成し、平成 29 年 3 月にパブリックコメントを実施した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45. 技能労務職員等の配置基準の見直し（環境整備業務・学校園校務業務・学校給食調理業務・車両運転業務）	環境整備業務については、業務の整理を行い、一部委託の拡大を図る。学校園校務業務については、効率的な人員配置の検討を進めるとともに、緊急を伴わない定型的な業務は、さらなる委託の活用を行う。 学校給食調理業務については、単独調理場のドライ方式への改修に向けた方針を決定するとともに、委託化の取り組みを進め、効率的・効果的な業務の運用を図る。 車両運転業務については、秘書業務の一環として、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進める。
実績	・環境整備業務については、環境整備業務と密接な関係のある学校園校務業務について、他自治体の状況も参考にしながら、業務の範囲等を一体的に検討した。また、組織及び人員配置についても併せて検討した。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校園校務業務については、一部委託の拡大について、密接な関係のある教育環境整備室メンテナンスグループの類似業務とともに、他自治体の状況も参考にしながら、業務の範囲等を一体的に検討した。また、組織及び人員配置についても併せて検討した。 ・ 学校給食調理業務については、小学校給食については、平成 28 年 3 月末で第四学校給食共同調理場を廃止し、同年 4 月から第一学校給食共同調理場において新たに 7 小学校の学校給食調理業務を委託化したことにより、従来からの委託校と合わせて 14 小学校の調理業務が委託による実施となった。 中学校給食については、第一学校給食共同調理場において、平成 28 年 4 月に全 19 中学校の調理業務を委託により開始した。 また、今後の調理場改修に向けた方針の策定に向けて、調査・検討を行った。 ・ 車両運転業務については、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、関係部署とも連携し、委託化及び職員の適正配置に向けた取り組みの検討を行った。
	取り組みに対する達成状況 【 ○ 】

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
業務の執行の再検討とマニュアルの効果的な活用	効果的・効率的な執行の観点から、業務の流れを再検討し、改善に努める。また、円滑な事務執行に向けて業務マニュアルを作成する。
実績	「学校給食衛生管理マニュアル」や「学校給食調理の手引き」など業務マニュアルの作成・見直しを行った事務もあるが、以外の事務については、現状の記述にとどまり、作成したマニュアルの検証及び業務の再検討ができていない。
	取り組みに対する達成状況 【 △ 】

改革課題	取り組み内容・目標
小学校給食共同調理場受配校における配膳員の配置	共同調理場からの受配校全 17 校に配膳員を配置することにより、衛生管理や異物混入防止の取り組みを強化し、安全性の向上を図る。
実績	平成 28 年度中の配膳員配置に向けて委託契約の入札手続きを実施したが契約不調となったため、改めて平成 29 年度中の配置に向けて入札手続きを実施した。
	取り組みに対する達成状況 【 △ 】

3. 予算編成・執行

- ◆ 学校園施設の保全・改修にあたり、学校施設環境改善交付金の活用を図ります。

実績	学校施設環境改善交付金を積極的に活用するために国の補正予算を踏まえ、12月補正において、防災機能強化、公共下水汚水切替、トイレ改善事業の前倒しを実施し、市負担の軽減を図る予算編成を行いました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 市立小中学校施設の更新整備にあたっては、長寿命化改修(*)の手法を採ることにより事業費の節減を図るとともに、学校施設環境改善交付金の活用を図ります。

*長寿命化改修

建物をいったん構造躯体のみの状態にした上で、耐震補強、耐久性向上のための改修や非構造部材の耐震対策を実施し、設備や仕上げを一新することで、改築した場合と同等程度の強度と機能を持つ建物に改修すること。

実績	国・府が主催する研修会等に参加したことで、学校施設環境改善交付金を活用する上で、より効果的な手法として長寿命化改修を採ることができました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 平成 27 年度に引き続き、市立小中学校全 64 校の電力調達について、特定規模電気事業者 (PPS) 等を活用し経費の節減を図ります。

実績	小中学校の使用電力削減の取り組みによる効果額等を活用し、149 万円を図書費等の予算に還元しました。また、13 校の職員室に LED 照明を導入しました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆緊急時における連絡手段の確保と学校園の運営の円滑化を図るため、全市立小中学校（64校）及び全幼稚園（7園）に学校園運営用の携帯電話を導入します。導入する携帯電話のうち、災害時に第一次避難所として指定されている全市立小学校と市立第二中学校には、災害時に、通信規制がかかっても発信を行うことができる災害時優先電話を各1回線導入し、学校の防災機能の強化を図ります。経費については、従来の学校の固定電話回線の通信経費を抑制することによる節減額等を活用します。

実績	平成28年4月から緊急時における連絡手段の確保と学校園の運営の円滑化を図るため、学校園運営用の携帯電話を全市立小中学校（64校）及び全幼稚園（7園）に導入しました。 導入した携帯電話のうち、災害時に第一次避難所として指定されている全市立小学校と市立第二中学校には、災害時に通信規制がかかっても発信を行うことができる災害時優先電話を各1回線導入し、学校の防災機能の強化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆管理部内の緊密な連携による効果的な組織運営に努めます。

実績	教育委員会連絡会議、教育委員会次長会議、部内事務連絡会議を適宜実施し、目標の共有化と緊密な連携を図りました。また、各課においては、効果的な事務執行のため、課内会議等を適宜実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆学校施設の更新整備に係る具体的な施設機能や手法について、先進市視察や専門研修等に参加することにより、専門知識を有する人材の育成を図ります。

実績	国・府の研修会等にも積極的に参加することで、先進技術の確保に努めました。 教職員・学校校務員との情報共有、連携を深めるため「学校トイレセミナー」を開催しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆給食調理など技術を要する業務や情報通信技術など専門性が求められる分野については、業務ノウハウの継承を図り、業務継続性を確保できる人材育成に努めます。

実績	第三学校給食共同調理場による単独調理場のバックアップ機能を補強するため、平成28年度から単独調理場巡回応援職員を3名配置し、技術的助言指導や衛生管理の充実などに努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆本市教育委員会の活動や学校園における学習環境の整備状況など、子どもたちの教育環境に関する情報を保護者や市民にわかりやすく提供します。

また、学校園の安全対策、学校規模等の適正化の推進、学びを支える教育施設の整備、学校給食の充実などの取り組みについても、広報ひらかたやホームページへの掲載、FM ひらかたへの出演などより、市民にわかりやすい情報発信に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・FM ひらかた「ひらかた教育ステーション」において、学校園の安全対策、学校規模等の適正化、学校給食など教育委員会の取り組み、各学校園の活動状況の紹介を行いました。 ・教育委員会定例会・協議会の会議録や教育委員の所感をホームページに掲載するなど、広く市民に情報発信を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆中学校給食について、献立の特色や食物アレルギー情報、最新のトピックス等の情報を発信していくため、毎月の献立表をカラー写真入りで印刷し全生徒に配布します。

実績	中学校給食について、当初の予定どおり、献立の特色や食物アレルギー情報、最新のトピックス等の情報を発信していくため、毎月の献立表をカラー写真入りで印刷し全生徒に配布しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

平成 28 年度	学校教育部の取り組み実績
	<部の構成> 教職員課、児童生徒支援室、学務課、教育推進室教育指導課、 教育推進室教育研修課

1. 重点施策・事業

(1) 小中一貫教育の推進

重点施策・事業 における目標	<p>子どもたちの「確かな学び」と「自立の力」を育み、グローバル時代をたくましく生きぬく子どもを育成するため、各中学校区が現状や課題を踏まえ、特色を活かした小中一貫教育を推進します。</p> <p>また、小学校1年生から4年生までは、35人学級編制、小学校5・6年生は、一部教科担任制や習熟度別指導・ティームティーチング等の少人数指導、中学生は、教科担任制や少人数指導等、9年間における児童・生徒の発達段階に応じた指導体制の充実を図ります。</p> <p>こうした様々な学びの環境づくりを推進するために、地域等との連携をさらに深めるとともに、開かれた学校運営としてのコミュニティスクールの導入についても、国の法や制度等における段階的な状況も注視しながら検討します。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>全中学校区に、「小中一貫教育推進コーディネーター」を配置するとともに、小学校第6学年において一部教科担任制を導入します。対象教科は、外国語活動で、週1時間実施します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：47,089 千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>各中学校区がそれぞれの現状や課題を踏まえ、特色を活かした小中一貫教育を推進するため、全中学校区に、その推進の役割を担う「小中一貫教育推進コーディネーター」を配置しました。また、小学校第6学年において一部教科担任制を導入し、10月から42校において週1時間、中学校英語科教員が小学校第6学年の外国語活動を小学校の学級担任とともに指導しました。これらの取り組みの円滑な推進と教員の活動時間を確保するため、市費負担の非常勤講師をそれぞれ配置しました。</p> <p>平成 28 年度決算：40,110 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 読書活動の推進

重点施策・事業における目標	子どもたちの読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の中学校区に学校司書を配置し、市立図書館と連携して学校図書館の環境整備・有効活用に取り組みます。
平成 28 年度の取り組み	3 中学校区に配置していた学校司書を、平成 28 年度から 10 中学校区に拡充し、学校図書館の有効活用に係る研究実践・効果検証を行います。 平成 28 年度当初予算:28,221 千円
平成 28 年度の実績	子どもたちの読書活動を推進し、授業において課題解決や探究活動に取り組む力を育むため、市内の 10 中学校区を実践研究校区に指定して、学校司書を配置し、市立図書館と連携しながら、調べ学習や授業における学校図書館の活用、開館時間の拡大、蔵書管理の充実、より利用しやすい書架・机のレイアウト変更など、学校図書館の有効活用に向けて、学校図書館の環境整備に取り組みました。 平成 28 年度決算:31,732 千円(※補正予算等の対応あり)
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(3) 英語教育の推進

重点施策・事業における目標	子どもたちの英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、外国人英語教育指導助手(NET)や英語が堪能な日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、小中学校間で連携しながら英語教育を推進します。
平成 28 年度の取り組み	全中学校に各校 1 名の外国人英語教育指導助手(NET)を、全小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、学校の取り組みを支援することにより、「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランスよく育む授業の実践と、児童・生徒の英語学習への意欲を高める取り組みの充実をめざします。 平成 28 年度当初予算:120,880 千円
平成 28 年度の実績	英会話や英語を使った体験的な学習を通して、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、全中学校に各校 1 名の外国人英語教育指導助手(NET)を、全小学校に日本人英語教育指導助手(JTE)を配置し、「読む」「書く」「聞く」「話す」力をバランスよく育む授業を実施しました。 また、小学校の外国語活動と中学校英語との円滑な接続と、外国人と身近に直接コミュニケーションを図る体験を通して、児童の外国語に対する意欲・関心・態度を高めるため、12 小学校において「モチベーションアッププロジェクト」を実施しました。 平成 28 年度決算:114,355 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(4) 放課後自習教室の充実

重点施策・事業 における目標	児童・生徒の学習意欲を高め、自学自習力を育むとともに、基礎学力の向上を図るため、各小中学校の放課後自習教室の開室日数を拡充し、児童・生徒の学習機会の充実を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	放課後自習教室の開室日数を週 2 日から週 4 日程度に拡充します。また、児童・生徒の学習を補助する「やる気ングリーダ―」の確保に努めます。なお、本年度から教員免許を有しない「やる気ングリーダ―」の報償費の支給単価を 1 時間 750 円から 900 円に増額します。 平成 28 年度当初予算:43,302 千円
平成 28 年度の 実績	児童・生徒の学習を補助する「やる気ングリーダ―」を配置し、全小中学校において放課後自習教室を4,869回(週2日~3日程度)実施しました。 また、全小中学校に配備している児童・生徒一人ひとりの理解度に応じてプリント学習ができる自学自習力支援システムを、放課後自習教室をはじめ、授業や朝学習・家庭学習で活用することで、児童・生徒の自ら学ぼうとする力の育成と基礎・基本の定着を図りました。 平成 28 年度決算:24,048 千円(※その他関連経費あり)
取り組みに対する達成状況	
	【 ○ 】

(5) 中学校部活動指導協力者の充実

重点施策・事業 における目標	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み、生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣します。
平成 28 年度の 取り組み	各中学校に年間 290 回派遣していた部活動指導協力者の派遣回数を年間 400 回に拡充します。 平成 28 年度当初予算:19,294 千円
平成 28 年度の 実績	部活動の活性化と充実のため、各中学校の実態やニーズに合わせて、効果的に部活動指導協力者の活用を図り、派遣回数は、平成 27 年度の 4,898 回(1 校あたり約 258 回)から、平成 28 年度は 5,677 回(1 校あたり約 299 回)に増加しました。 平成 28 年度決算:14,486 千円
取り組みに対する達成状況	
	【 ○ 】

(6) 教職員研修の充実

重点施策・事業における目標	<p>本市において、教職員の世代交代が進み、新規採用教職員の採用数が増加する中、倫理観・規範意識及び子ども理解と集団づくり、授業力やマネジメント力など、教職員一人ひとりの資質と指導力の向上が求められています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむをテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）に基づき、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>本市の教職員研修計画に基づき、教職員の経験・職務に応じた「基本研修」及び教育課題や教科等の専門性を高める「専門研修」を実施します。また、「授業の達人養成講座」を充実し、教育的愛情にあふれ、高い意欲と優れた指導力を有する教職員を育成します。さらに、指導主事、教育推進プランナーが学校園を訪問し、経験の浅い教職員への指導助言、中学校区で行う合同研究授業・研究協議会への指導・支援を行います。</p> <p>平成 28 年度当初予算：7,911 千円</p>
平成 28 年度の実績	<p>教職員の経験・職務に応じた「基本研修」を 184 回、教育課題や教科等の専門性を高める「専門研修」を 109 回、合計 293 回の教職員研修を実施しました。「授業の達人養成講座」については、12 回実施。指導主事及び教育推進プランナーによる学校園訪問を 1,593 回実施しました。（内訳、経験の浅い教職員への指導助言 938 回、中学校ブロック及び校内で行う授業研究等への指導・支援等 655 回）</p> <p>平成 28 年度決算：7,067 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p> <p style="text-align: right;">【 ◎ 】</p>	

(7) 生徒指導の充実

重点施策・事業における目標	<p>いじめ問題・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を行い、子どもたちが安全に安心して学校生活を送ることができる環境づくりに取り組みます。</p> <p>そのため、小中一貫教育のもと、子どもの抱える諸課題の解消に向けて、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、個に応じたきめ細かな指導の充実に努めます。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>①子どもの置かれた環境に着目して支援を行うスクールソーシャルワーカーを 7 名増員し、子どもの学校生活の充実や家庭の教育力向上を支援します。</p> <p>②総合電話窓口「子どもの笑顔を守るコール」を設置し、児童・生徒・保護者等からの電話相談を行うとともに、必要に応じて教育相談員が継続的な電話</p>

	<p>または面談による教育相談を実施します。</p> <p>③全中学校に市独自で教員等を配置し、生徒指導体制の強化を図ります。また、「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」等において、いじめ問題への対策に向けた協議を行います。</p> <p>④人権問題に関する正しい知識の習得及び課題解決に取り組むとともに、いじめ等による人権侵害事象の未然防止のため、高い人権意識と自他を尊重し、認め合う実践力を持った主体性のある人間の育成をめざした人権教育の推進に努めます。</p> <p>平成 28 年度当初予算：119, 770 千円</p>
<p>平成 28 年度の 実績</p>	<p>①特に支援が必要な 6 小学校にスクールソーシャルワーカーを配置し、ケース会議等のコーディネート、家庭訪問等により児童の支援を行いました。中学校では不登校支援協力員を全中学校に配置し、校内適応指導教室へ登室した生徒との相談や学習支援、また家庭訪問等による支援を行いました。</p> <p>②「子どもの笑顔を守るコール」を設置するとともに、教育文化センターに相談員を配置して面談による相談を実施するなど、教育相談体制を充実しました。また、本事業がより活用されるよう啓発カードの配付やホームページ等で相談窓口の周知を図りました。</p> <p>③中学校においては暴力行為の発生件数が平成 27 年度と比較して減少するなど、生徒指導主事を中心とした生徒指導体制を構築し、未然防止・早期対応を行うことができました。また、いじめ防止等に関する関係部課及び関係機関が連携することで、積極的にいじめを認知し、早期発見・早期対応を心掛け、解決に向けて対処することができました。</p> <p>④各学校における人権教育の取り組みの把握・指導を行い、枚方市の人権教育の推進に努めました。</p> <p>平成 28 年度決算：111, 222 千円</p>
<p>取り組みに対する達成状況</p>	<p>【 ◎ 】</p>

(8) 支援教育の充実

<p>重点施策・事業 における目標</p>	<p>すべての子どもが「ともに学び、ともに育つ」という観点からの学校づくり・集団づくりの充実を図るとともに、障害のある子ども一人ひとりのニーズに応じた支援を行います。</p> <p>平成 28 年 4 月施行の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、本人や保護者の意向を受け止め、話し合いを進めていく中で共通理解を図り、合理的配慮について適切に対応した支援教育に取り組みます。</p>
---------------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	<p>特別支援教育士・臨床心理士等の専門家を学校園に派遣し、幼児・児童・生徒への指導について教職員に指導・助言を行います。併せて、幼児の保護者からの相談に応じることにより、幼稚園と家庭との連携及び支援に努めます。全小中学校に非常勤講師を配置し、支援教育コーディネーターの授業時間を軽減することにより、支援教育コーディネーターが、配慮を要する児童・生徒の状況把握や支援、関係諸機関との連携等を行う時間を確保します。</p> <p>また、大阪府を通じて文部科学省委託事業を受託し、発達障害の可能性のある児童・生徒等の幼小中高の移行期において、円滑かつ適切な引継ぎが行えるよう調査研究に取り組み、成果発表を行います。</p>
	平成 28 年度当初予算:185,786 千円
平成 28 年度の 実績	<p>専門家を学校園へ派遣するとともに、全小中学校に非常勤講師を配置して、配慮を要する子どもたち等の支援・指導を行いました。また、文部科学省委託事業においては、調査研究をすすめ、12月に成果を発表するとともに、研究報告冊子を作成し、広く市内に発信しました。</p>
	平成 28 年度決算:169,341 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
35. 市立幼稚園の効率的・効果的な配置	市立幼稚園に関する配置基準を見直し、効率的・効果的な配置についての検討を行う。
実績	今後の市立保育所・市立幼稚園のあり方について、市立保育所を所管する子ども青少年部と市立幼稚園を所管する教育委員会において協議を行い、待機児童解消や市立幼稚園の入園児数減少、就学前教育の充実などの課題解消に向けて検討を進めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
36. 交通専従員配置事業の見直し	通学児童の安全確保を第一に考え、関係機関と連携し、業務委託の拡大、または事業目的の原因が解消された箇所から順次廃止も含めた見直しを進め、平成 31 年度までに、交通専従員の 1 割を減少させる。

実績	13 箇所の重点箇所について交通状況調査を実施し、配置箇所の実態把握を行った。交通専従員が活動を終了し、事業目的の原因が解消されていない箇所（3 箇所 4 名）について、公益社団法人枚方市シルバー人材センターへ業務委託の切替を行った。また、業務委託による配置箇所について見直しを行い、1 箇所 1 名を削減した。	
	取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
53. 教職員の資質・指導力の向上	経験の浅い教職員の育成、リーダー及び管理職の養成や児童・生徒の学力向上に向けた授業づくり・授業改善、小中一貫教育推進のための学校支援など、本市独自の研修カリキュラムのもとで教職員の資質・指導力、授業力の一層の向上を図る。	
実績	平成 28 年度の年間計画に基づき、教職員研修を実施した。平成 28 年 4 月から平成 29 年 3 月末までに基本研修 185 回、専門研修 108 回、合計 293 回の研修講座を実施し、のべ 11,362 名の教職員が受講した。研修実施直後に記入した「振り返りシート」から、受講者の 98.7%が「内容を理解できた」と回答し、98.1%が「有意義な内容であった」と回答があった。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標	
部内連携の強化	各室・課が所持する学校園の情報を共有することにより、部内の連携の強化を図り、効果的・効率的に小中一貫教育を推進する。	
実績	部内会議やミーティングの実施により各室・課が所持する学校園の情報の共有を進め、効率的・効果的に小中一貫教育を推進した。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆部の施策・事業の計画に当たっては、国庫補助金、大阪府補助金・委託金を最大限に活用するなど、効率的な予算編成に努めています。

実績	課題を抱えた子どもを支援するため、スクールソーシャルワーカー活用事業及び枚方市学校いじめ対策審議会委員等外部専門家に係る経費に、国の教育支援体制整備事業補助金（いじめ対策等総合推進事業）（384万3000円）を活用したほか、府の市町村医療的ケア体制整備事業補助金等を活用し、支援教育の充実を図りました。また、子ども・子育て支援交付金（預かり保育事業 306万7000円）、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金（放課後自習教室事業 507万3000円）、道徳教育推進事業委託（道徳教育推進事業 29万8000円）など、可能な限り国庫補助金、大阪府補助金・委託金を有効活用し、効率的な予算執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆学力向上に向けた取り組みとして、小中一貫教育を円滑に実施するため、全中学校区に専門のコーディネーターを配置するとともに、中学校教諭による小学校6年生を対象とした英語教科担任制を導入します。また、放課後自習教室について、開室日数を拡充し、より多くの児童・生徒の学習機会を提供します。（1億1053万3000円）

実績	小中一貫教育を円滑に推進するための専門のコーディネーターの配置や、一部教科担任制を導入しました。また、放課後自習教室事業等の実施にあたっては、学校の実情や事業の課題を踏まえ、実施手法を見直すなど、より効果的な予算執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆虐待や不登校など子どもの抱える課題の解決に向け、専門的な資格を有するスクールソーシャルワーカーを増員することで体制の強化を図ります。（1173万2000円）

実績	不登校等の生徒指導上の課題に対応するため、スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー1人、チーフ・スクールソーシャルワーカー2人に加え、スクールソーシャルワーカー6人を中学校区に配置及び派遣し、児童・生徒の支援に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆教育指導課に設置した「小中一貫・学力向上推進グループ」を中心に、各室・課の連携強化を図り、「確かな学び」と「自立の力」を育む小中一貫教育を推進します。

実績	教育指導課に「小中一貫・学力向上推進グループ」を設置し、学力向上に向けた取り組み、小中一貫教育の推進体制を新たに構築しました。また、各室・課の連携を図る小中一貫・学力向上推進チーム会議を開催し、進捗状況や課題を共有しました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆『学び続ける教職員』を育成し、枚方の子どもたちの『生きる力』をはぐくむ』をテーマに、本市の教育課題に即した独自のカリキュラム（指導計画）で教職員研修を実施し、「経験の浅い教職員の育成」「管理職及び専門性を備えたリーダーの養成」「小中一貫教育における学力向上に向けた授業づくり・授業改善への支援」を重点項目とした教職員研修の充実を図り、明日の枚方の教育を担う教職員を育成します。

実績	各種研修講座を 293 回実施し、11,362 名の教職員が受講しました。受講後の振り返りシートによると、理解度は 98.7%、満足度は 98.1%でした。また、指導主事及び教育推進プランナーによる学校園訪問を 1,593 回実施し、経験の浅い教員への指導助言や、中学校ブロック合同授業研究への支援を行いました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆「小中一貫教育」をはじめとする学校園・学校教育部の取り組みや日常の教育活動について、ホームページ・広報ひらかた・学校だよりなどを活用して広く情報発信するとともに、学校園のオープンスクールや「枚方市教育フォーラム」などの機会を通じて保護者、市民に公開します。

実績	学力向上に向けた取り組みや小中一貫教育など枚方の学校教育の取り組みや、各学校園の特色ある取り組みについてホームページ、広報ひらかた、学校だよりを通じて広く情報発信をしました。また、各学校園の教育活動を保護者をはじめ市民に広く知っていただくため、5月から6月を教育活動公開期間（オープンスクール）に位置づけ、学校園が公開日を決めて教育活動の公開を行いました。さらに、7月22日に枚方市市民会館大ホールで「枚方市教育フォーラム」を開催し、「枚方の英語教育の取り組み」について紹介し、今後の外国語教育のあり方について市民とともに考える場としました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

平成 28 年度	社会教育部の取り組み実績
	<部の構成> 社会教育課、放課後子ども課、文化財課、スポーツ振興課、中央図書館

1. 重点施策・事業

(1) 社会教育の推進

重点施策・事業における目標	<p>子育てや親のあり方を考える家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ機会を提供する社会教育基礎講座等を通じて、生涯学習の一助となる、人が地域で生きていくために必要な知識や技術を提供し、学習する主体の形成を図ります。事業実施にあたっては、生涯学習市民センターと図書館の複合施設を所管する指定管理者との共催事業も企画するなど、民間のノウハウも取り入れた事業展開を図ります。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>暮らしに役立つ情報・知識を学ぶ「社会教育基礎講座」、家庭教育を支援する「思春期セミナー」「子育て応援・親学習講座」、父親の子育て参加促進のための講座等を開催します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：292 千円</p>
平成 28 年度の実績	<p>平成 28 年度は『地域でつながる』を共通テーマに設定し、社会教育基礎講座として「エンディングノート活用術」及び「自分らしい最期を考えるために～終末期医療について学ぶ～」の開催や、家庭教育支援事業として「子育て応援・親学習講座」、父親の子育て参加促進のための講座、親を考えるセミナー、思春期セミナーや北河内地区 PTA 協議会との共催で教育講演会を開催しました。</p> <p>平成 28 年度決算：304 千円（※補正予算等の対応あり）</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 留守家庭児童会室の施設整備

重点施策・事業における目標	<p>平成 29 年度からの対象学年の段階的拡大に向け、入室児童数の増加に対応するために必要な施設整備を行います。</p>
平成 28 年度の取り組み	<p>枚方、津田南児童会室の増築を実施します。また、男女別トイレ 18 か所を整備します。さらに香里、船橋、殿山第一児童会室の建替え（老朽化対策等）を実施します。</p> <p>平成 28 年度当初予算：422,235 千円</p>

平成 28 年度の 実績	枚方、津田南児童会室の増築工事を終了し、枚方児童会室は平成 28 年 12 月 12 日に津田南児童会室は平成 29 年 4 月 1 日から供用を開始しました。また、男女別トイレ 18 か所の整備工事を終了しました。船橋児童会室の建替え工事を終了し、平成 28 年 9 月 12 日から供用を開始しました。殿山第一、香里児童会室の建替え工事を終了し、平成 29 年 4 月 1 日から供用を開始しました。 平成 28 年度決算：458,114 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（3）歴史文化遺産の保存・活用（①特別史跡百済寺跡再整備事業）

重点施策・事業 における目標	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後 40 年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	寺域北側の整備を完了し、中心伽藍の整備に取り掛かる予定で、まず、西面回廊の整備を行います。工事が完了した区域については、順次開放していきます。また、寺域外郭の東南部分の築地塀を立体復元するための設計のほか、文化財収蔵庫の解体工事を行います。 平成 28 年度当初予算：128,893 千円
平成 28 年度の 実績	11 月に文化財収蔵庫解体工事を実施しました。工事が完了した寺域北側部分を開放し、12 月には西面回廊の整備工事に着手し、南側の支障となる木の伐採及び堂塔院の造成を行いました。 築地塀の設計は、塀基底部の幅の確定のための追加の発掘調査や文化庁との協議を終え、築地塀の小屋組みについて検討しています。設計完了は時間を要し遅れています。 平成 28 年度決算：137,716 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 △ 】

（4）歴史文化遺産の保存・活用（②旧田中家鋳物民俗資料館耐震・改修工事）

重点施策・事業 における目標	旧田中家鋳物民俗資料館は、大阪府有形文化財の田中家住宅鋳物工場と主屋を移築復原して資料館として昭和 59 年 10 月に開館しています。市有建築物耐震化実施計画に基づき耐震診断を行った結果、鋳物工場は補強工事が必要となりました。 来館者の安全及び文化財の保護のため、耐震補強を行うとともに、傷んだ部材の補修等の改修工事を実施します。(平成 28 年 10 月～平成 29 年 8 月予定)
-------------------	---

平成 28 年度の 取り組み	壁の補強や、瓦の下の葺き土を除去し屋根の軽量化を図る工事を実施します。 また、主屋については耐震性を有していることを確認しましたが、屋根の劣化が著しいことから、屋根の葺替等の保全工事を行います。 平成 28 年度当初予算：67,800 千円
平成 28 年度の 実績	10 月 1 日から約 1 年間資料館を部分休館し、鋳物工場及び主屋を中心に工事を行い、予定通りの工程を完了しました。 平成 28 年度決算：57,540 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) スポーツ施策の推進

重点施策・事業 における目標	スポーツ・レクリエーションの普及振興並びに健康体力づくりや野外活動等の振興を総合的かつ計画的に推進するために、スポーツ基本法に基づき、本市の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定し、計画に基づく各種スポーツ振興事業の展開を図ります。また、市内の大学に協力を求め、大学のスポーツ施設を本市のスポーツ振興に活用します。
平成 28 年度の 取り組み	①計画の策定にあたっては、教育委員会の附属機関として枚方市スポーツ推進審議会を設置し、スポーツ推進に関する多角的な調査審議を行います。 ②大阪国際大学枚方キャンパスにあるスポーツ施設を大学が利用されない区分において、本市のスポーツ振興事業に活用します。 平成 28 年度当初予算：8,347 千円
平成 28 年度の 実績	①平成 28 年度から新たに設置した枚方市スポーツ推進審議会からの答申をもとに、本市のスポーツ推進に向けた取り組みの基本的な方向性を示すスポーツ推進計画を 3 月 13 日に策定しました。 ②大阪国際大学と利用調整を行い、5 月 17 日から枚方市教育委員会が施設の使用を認める団体が使用を開始し、40 回の利用がありました。利用団体は、枚方市立杉中学校ラグビー部・枚方市ゲートボール協会・FC ティアモ枚方（連携協定団体）です。 平成 28 年度決算：6,033 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(6) 総合スポーツセンター駐車場の拡張整備

重点施策・事業 における目標	総合スポーツセンター駐車場の容量不足の解消を図るため、現在の臨時駐車場用地を買い戻した上で第 2 駐車場として整備するとともに、送電線下用地を借り受け、臨時駐車場として整備します。
-------------------	--

平成 28 年度の 取り組み	駐車場全体の整備に係る実施設計を行い、第 2 駐車場については用地の買い戻しを、臨時駐車場については整備工事を行います。
	平成 28 年度当初予算：697,416 千円
平成 28 年度の 実績	第 2 駐車場用地 6,866.68 ㎡のうち、平成 28 年度の取得分として 3,441.34 ㎡を 8 月 29 日に取得しました。また、駐車場の整備に係る実施設計を行い、臨時駐車場の整備工事を行いました。
	平成 28 年度決算：690,672 千円
取り組みに対する達成状況	
	【 ◎ 】

(7) 生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入

重点施策・事業 における目標	サービス向上と効率的な管理運営のため、指定管理者制度を平成 28 年 4 月から蹉跎と牧野の生涯学習市民センターと図書館の複合 2 施設に導入し、その導入状況を検証して平成 30 年度の複合全 6 施設への指定管理者制度導入につなげます。
平成 28 年度の 取り組み	2 施設の導入状況について、モニタリングなどにより検証を行いながら、さらに効果的な図書館サービスの提供について検討し、平成 30 年度の 6 複合施設への導入に向けて準備を行います。
	平成 28 年度当初予算：89,283 千円
平成 28 年度の 実績	複合 2 施設に総合窓口を設けるなど一体運営に努め、図書館の開館時間の拡大や書籍消毒機の設置等サービスを拡充し、利用が増加しました。また、利用者アンケートやモニタリング等による検証を行い、その結果を踏まえ、6 施設への制度導入に向けた準備を進めました。
	平成 28 年度決算：89,283 千円
取り組みに対する達成状況	
	【 ◎ 】

(8) 香里ヶ丘図書館の建替え事業

重点施策・事業 における目標	老朽化している香里ヶ丘図書館の建替えについての検討を進めます。
平成 28 年度の 取り組み	香里ヶ丘図書館の建替えに向け、館の基本コンセプトや施設概要の検討、必要な什器類等を明らかにする整備基本構想を策定し、市議会や市民等への説明、意見聴取を進めていきます。
平成 28 年度の 実績	香里ヶ丘図書館建替え基本計画を策定しました。同計画策定作業の中で、市民への説明及び意見聴取を行いました。
	平成 28 年度決算：870 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	
	【 ◎ 】

(9) 子どもに本を届ける事業の実施

重点施策・事業 における目標	広く市民等から不要本の寄贈を図書館で受付けます。寄贈された本は蔵書として活用する他、蔵書として適当でない本については売却し、ふるさと寄附金とあわせて基金に積み立てます。積み立てた基金の一部を毎年取り崩し、学校や保育所(園)、地域等に届ける本の購入を行い団体貸出等の手段で届けます。各施設では調べ学習や読み聞かせなどでの活用により、子どもたちの夢や希望、未来への考えなどを育みます。
平成 28 年度の 取り組み	子どもに届ける本の購入が促進できるよう、寄附金や寄贈図書の収集、その仕組みを充実させていきます。 平成 28 年度当初予算:3,500 千円
平成 28 年度の 実績	4 月から事業を開始し、古書、古紙の売却益として 55 万 6320 円、寄附金として 658 万 2865 円を受け入れました。 平成 28 年度決算:7,139 千円(※補正予算等の対応あり)
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(10) 学校図書館支援事業

重点施策・事業 における目標	読書好きの子どもたちを育て子どもたちの学習活動を支援するため、学校図書館への学校司書の派遣等を行い、学校図書館支援を行います。
平成 28 年度の 取り組み	学校図書館への学校司書の派遣を 3 中学校区から 10 校区に拡大するとともに、平成 30 年度の全 19 中学校区への派遣拡大につなげていきます。あわせて、小中学校に対して調べ学習用図書の貸出、小学校への配本事業の充実、学校訪問おはなし会を実施します。また、図書館コンピュータシステムの更新に合わせて、市立図書館と学校図書館のオンライン化を行うことで、学校図書館のバックアップを行います。 平成 28 年度当初予算:31,502 千円
平成 28 年度の 実績	学校司書の派遣を 10 中学校区とし、また学校司書の活動を支援する学校図書館支援グループを増員して体制を整え、レイアウト変更等各学校図書館の充実に向けた取り組みを展開しています。9 月の図書館コンピュータシステム更新に合わせて、10 月から順次、各校のオンライン化に取り組みました。 平成 28 年度決算:26,628 千円
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	平成 28 年度末までに、市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との整理・調整を行い、事業の統合などの方針を決定する。その中で、電気使用料等の実費相当額の負担を求めていくことについても具体化を図り、平成 29 年度中の実施をめざす。
実績	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業の事業統合に向けて、諸課題について検討し、管理時間帯に関わらず施設開放事業を行うことを決定した。
取り組みに対する達成状況	
【 △ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
14. 外郭団体等の経営健全化の促進 （[公財]枚方市文化財調査会のあり方他）	埋蔵文化財発掘調査の実施手法の見直しや、市史編纂・資料館学芸員業務を含めた専門的業務体制の整備について検討を行うなかで、(公財)枚方市文化財研究調査会のあり方について検討する。なお、(公財)枚方市体育協会については、「経営プラン」(H24～H28)に沿った運営が行われているか進捗管理を行うとともに、次期「経営プラン」策定に向け協議をすすめる。
実績	<p>本市において文化財研究調査会は、これまで埋蔵文化財調査だけでなく遺物復元整理や民俗文化財の収集整備、旧田中家鋳物民俗資料館の運営業務のほか、市民を対象とした文化財展示会や報告会などの啓発普及事業を実施し、文化財保護行政を補完する組織として重要な役割を果たしてきた。</p> <p>文化財行政を取り巻く環境の変化を踏まえ、今後の文化財行政の充実を図るために、組織体制のあり方について検討する。</p> <p>埋蔵文化財発掘調査の実施手法の見直しや、市史編纂・資料館学芸員業務を含めた専門的業務体制の整備について検討を行うなかで、調査会と行政との役割分担など調査会のあり方について検討する。</p> <p>平成 28 年度は、役割分担について調査会と協議、また組織体制について関係部署と検討を進めた。</p> <p>なお、公益財団法人枚方市体育協会では、枚方市での中核的な役割を果たし続け財政基盤を確立するため、「経営計画 2012」を策定し平成 24 年から 28 年度までの取組計画を示し運営を行ってきた。今年度は、次期「経営計画」の策定に向け、公益財団法人枚方市体育協会と経営改善に向けた取り組みについて協議を行った。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
37. 留守家庭児童会室の効率的・効果的な運用	留守家庭児童会室について、放課後児童対策の拡充とあわせて、NPO などとの協働、事業委託など他市での実施手法について検討を行う。
実績	留守家庭児童会室は、平成 29 年度に 5 年生まで、平成 30 年度には全学年の受入れとなることから、待機児童の発生の可能性があり、入室基準について明確化を図るとともに、事業の適正運営のため入室児童数に対応する施設及び人員の確保に努めた。施設の確保については、余裕教室の借用について、各小学校と協議・調整を行った。また、留守家庭児童会室と全児童を対象とした放課後対策の一体的な推進に向けた検討を進める中で、留守家庭児童会室の実施手法の見直しについても検討することとした。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
38. 野外活動センターの最適化	「学校キャンプ支援事業」を継続実施するとともに成果を検証し、センターを効率的かつ効果的に運営するため、利用実績等を分析して、利用者ニーズに即した施設の最適化を進める。
実績	学校キャンプ支援事業を実施し、延べ 31 校の利用があった（平成 27 年度と比較して 5 校増加）。現在、学校キャンプ支援事業の実施校及び施設利用者にアンケートを行っている。 また、進入路の舗装整備について、実施設計を行うとともに、地元協議を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
39. 図書館施設の効率的・効果的な運営	「枚方市立図書館第 3 次グランドビジョン」に基づき、分室や自動車文庫などの図書館施設について、施設配置の見直しを含めた、今後のあり方に関する方針策定に向けて、必要な検討を行う。
実績	地域密着型の特性を生かし、「地域住民の居場所としての機能の強化」の方向性を示すとともに、施設配置の検討と合わせて、平成 29 年 3 月に「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方(案)」を作成した。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
40. 指定管理者制度の拡大	生涯学習市民センターと図書館の複合施設である 2 施設（蹉跎、牧野）に指定管理者制度を導入して、制度の運用状況の検証を行いながら、平成 30 年度の複合全 6 施設への制度導入に向けて、準備を進める。また、東部公園、市営テニスコート（藤阪東町・春日）について、指定管理者制度の導入をめざす。

実績	枚方市立生涯学習市民センター・図書館の複合施設のうち2施設（蹉跎・牧野）については、平成28年4月から指定管理者による管理運営を行った。また、平成29年度からの指定管理者制度の導入に向け、鏡伝池緑地及び市営テニスコート（藤阪東町中央公園、春日）について、新規導入手続きを行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-2. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（留守家庭児童会室営繕業務）	営繕業務については、緊急性を要することが多く、迅速な対応が必要ですが、より効率的・効果的な運営の観点から、一部業務委託に向け、委託可能な業務の整理を行う。
実績	留守家庭児童会室営繕業務は、日常運営で出てくる修繕等について、緊急性が高いものも含め、状況を判断しながら迅速に対応するとともに、委託可能な業務の整理についても取り組んだ。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効果的・効率的な運営を図るため、管理運営体制の一元化を進める。
実績	平成31年4月に市内のスポーツ施設が指定管理の更新となるため、スポーツ施設の管理運営の一元化に向けて土木部と検討会議を開き、使用料や免除規定など条例改正の内容等について共有化を図った。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

（2）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
ノー残業デーの徹底	社会教育部では、職員の健康管理等の観点から、毎週水曜日のノー残業デーの徹底を図る。
実績	「ノー残業デー実施シート」を活用したノー残業デーの推進を図り、事務の適正な執行管理に努めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業・留守家庭児童会室建替えに国庫補助金・府補助金の活用を図ります。(5件 6540万6000円)

実績	文化財保存事業で5件5650万7000円、留守家庭児童会室建替えで5件1億9738万2000円の活用を図りました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆香里ヶ丘図書館の建替えにあたり、国の交付金の活用を前提に検討を進めます。

実績	香里ヶ丘図書館建替え事業に社会資本整備総合交付金(国費)を活用するため、関係課と調整のうえ、交付金申請を行いました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政、留守家庭児童の保育など、各分野の職員が日常業務を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術を習得し、資質の向上を図ります。また、質の高い市民サービスを提供するため、職員研修を実施するなど人材育成に努めます。

実績	<ul style="list-style-type: none"> ・6月に文化財担当者専門研修「古文書歴史資料調査基礎課程」に参加するなど知識の共有に努めました。 ・留守家庭児童会室職員の専門性向上のため、年10回の職員研修を実施しました。 	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆社会教育事業において、知識・情報を必要としている市民に事業の開催に係る情報がより届くよう、さまざまな媒体を使って広報に努めます。

実績	広報ひらかたや市ホームページだけでなく、生涯学習市民センターなど各施設にチラシを配架し、地域情報誌に掲載依頼を行うなど広報に努めるとともに、その講座等に関連のある関係部署との連携による情報提供や、枚方市PTA協議会等の関係団体に情報提供するなど、必要な方に情報が行き届くようにしました。	
	取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

◆子どもに本を届ける事業の意義や仕組み等について、さまざまな媒体を使って広報に努めます。

実績	枚方市ふるさと寄附金の対象事業とするだけでなく、チラシ等の配布など、広報に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

平成 28 年度

選挙管理委員会事務局

の取り組み実績

1. 重点施策・事業

(1) 任期満了選挙の適正かつ円滑な管理執行

重点施策・事業 における目標	公職選挙法の改正により、選挙権年齢が 18 歳以上に引き下げられ、また、選挙人名簿の登録制度も変更されたことから、平成 27 年度末に選挙人名簿の管理システムの改修を行いました。 7 月執行予定の参議院議員通常選挙は、こうした状況で執行する初めての選挙であり、引き続き、公正、適正かつ効率的な選挙事務を進めていきます。
平成 28 年度の 取り組み	任期満了（平成 28 年 7 月 25 日）に伴う参議院議員通常選挙について、公正、適正かつ効率的な選挙事務の管理執行に努めます。 平成 28 年度当初予算：89,220 千円
平成 28 年度の 実績	7 月 10 日の参議院議員通常選挙の執行にあたっては、選挙期日に向け周到な準備を行い、適正かつ効率的な選挙事務を行いました。 平成 28 年度決算：85,113 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 選挙啓発事業の推進

重点施策・事業 における目標	選挙権年齢の引き下げに伴い、学校での出前講座等の実施、また、選挙時には若者の利用が多いコンビニエンスストアや大学での選挙啓発を充実させ、若年層の投票率向上に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	選挙権年齢が引き下げられたことで、これから有権者となる中学・高校生を対象に出前講座等を実施し、政治や選挙への参加の重要性を PR します。 また、18 歳選挙権の適用後初めてとなる選挙時の啓発として、若者の利用が多いコンビニエンスストアや大学に協力をお願いし、投票参加を呼びかけるミニのぼりや割り箸袋等を設置し、少しでも若者たちの目に触れてもらう機会を増やすことで若年層の投票率向上をめざします。 平成 28 年度当初予算：848 千円

平成 28 年度の 実績	7月10日執行の参議院議員通常選挙での啓発として、若年層の投票率向上を目的にコンビニエンスストアや大学の協力のもと、投票を呼びかけるミニのぼりや割箸袋の設置を行いました。また、選挙への意識啓発として高校（2校）で出前授業を、中学校（1校）では模擬投票を体験する出前授業を行いました。 平成 28 年度決算：730 千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

（3）投票しやすい環境づくり

重点施策・事業 における目標	公職選挙法が大幅に改正される中、有権者がより一層投票しやすい環境を整備することにより、投票率の向上を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	障害者や高齢者が投票しやすいように、投票所にスロープを設置するなど、引き続きバリアフリー化に努めます。また、若年層への選挙啓発の一環として、関西外国語大学内に期日前投票所を新たに設置するなど、投票の利便性や事務執行の効率性を検討しながら、投票しやすい環境整備に努めます。
平成 28 年度の 実績	7月10日執行の参議院議員通常選挙では、若年層のより一層の政治参画を目的として、関西外国語大学内に新たに期日前投票所を開設し、投票環境の向上を図るとともに、障害者や高齢者が投票しやすい環境づくりに努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

（1）業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
開票作業の時間短縮（前回参議院比）	平成 28 年 7 月執行予定の参議院議員通常選挙における開票時の人員配置や作業内容の見直しを行い、開票時間の短縮を図ることで執行経費削減につなげる。
実績	7月10日執行の参議院議員通常選挙における選挙区の開票作業については、作業内容の見直しにより、人員を前回の参議院選挙比較 8.8%削減し実施したが、かかった作業時間は同じであり、一定成果があったと思われる。 比例区の開票作業については、作業見直しにより、各担当作業の人員の増減や、担当者等への事前説明を実施したが、前回の参議院選挙比較での作業時間短縮には至らなかった。今回の開票作業を踏まえ改善すべき点などを整理し、次回の開票作業に向け効率化を図っていく。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

3. 予算編成・執行

- ◆事務経費の更なる見直しを行うとともに、事務の効率化を進め、経費削減に努めます。

実績	国の選挙執行経費の基準額が厳しくなる中で、選挙物品の購入見直しや投票所における人員配置見直しにより経費削減に努め、国基準内に経費を収めることができました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆選挙事務を適正かつ円滑に管理執行できるよう、日頃から情報収集に努め、選挙事務に関する知識・ノウハウを事務局内で共有し、事務局全体の機能強化を図ります。

実績	関係法令の問い合わせなどを事務局内全体で共有することで、職員それぞれの知識・ノウハウの向上を図り、事務局全体の機能強化に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆公職選挙法の知識をより深めるために、府下各市の選挙管理委員会で組織する研究会に参加するとともに、職場での勉強会を開催し、適正な選挙事務に対応できるよう、職員力の向上に努めます。

実績	府下各市の選挙管理委員会で組織する研修会に積極的に参加しました。また事前に事務局内でも勉強会を開催し、一人ひとり発表するなど個々の知識向上に努め、事務局内全体で職員力の向上を図りました。 ・大阪府都市選挙管理委員会連合会選挙事務研究会：3回参加
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報の共有化を図ることにより、効率的な事務執行に努めます。

実績	朝礼時のスケジュール等の確認を行うことで、業務の進捗状況を把握し、効率的な事務執行に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

5. 広報・情報発信

◆ホームページの充実

選挙に関する各種情報を有権者によりわかりやすく情報発信するとともに、投票・開票結果についても広報課と連携し、速やかな情報提供に努めます。また、若年層等への啓発事業の取り組みなどについても情報発信を行います。

実績	<ul style="list-style-type: none">・7月10日執行の参議院議員選挙では、期日前投票の状況や当日の投票及び開票速報を広報課と連携しながら、適宜速やかな情報提供を行いました。・7月10日執行の参議院議員選挙を前に市内の高校で行った出前授業やこれから有権者となる中学生を対象に模擬投票を体験する出前授業の様子、また、小・中学生より参加を募った選挙に関するポスターコンクールを開催し、優秀作品をホームページで紹介するなどの情報発信に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

1. 重点施策・事業

(1) 各種監査の円滑な実施

重点施策・事業 における目標	<p>定期監査及び随時監査に際し、事務局は書類の審査及び現地調査等を通じて、対象部署の事務の執行状況を監査委員の協議の場へ報告します。</p> <p>監査委員は、対象部署への聴取の後、指摘事項や意見要望事項等の監査結果の講評を経て市議会、市長等に提出、公表を行います。</p> <p>事務局は、監査委員によるこれらの監査が円滑に実施できるよう努めます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	<p>年間監査計画に基づく定期監査として、平成 28 年度は 6 つの部及び教育機関について、財務に関する事務の執行状況等の監査を行います。</p> <p>また、随時監査は、財政援助団体等監査、同監査に伴う所管部署に対する監査及び工事監査を行います。</p> <p>住民監査請求が提出された場合は、監査期間の 60 日以内に監査結果を出せるよう、事務局として適切に対応します。</p>
平成 28 年度の 実績	<p>定期監査については、平成 28 年度年間監査計画に基づき、環境部、産業文化部、教育委員会管理部、教育委員会学校教育部、教育機関（学校園）、市長公室、総合政策部及び土木部を対象に実施しました。</p> <p>随時監査のうち、財政援助団体等監査は、指定管理者監査として「枚方宿鍵屋資料館」の指定管理者である「特定非営利活動法人枚方文化観光協会」を対象として、また、同監査に伴う所管部署に対する監査として教育委員会社会教育部文化財課を対象として実施しました。工事監査は「公共下水道第 60 工区船橋本町雨水支線整備工事」を対象として実施しました。</p> <p>住民監査請求については、却下が 2 件です。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 例月現金出納検査、決算審査及び財政健全化法に基づく審査

重点施策・事業 における目標	<p>監査委員が毎月行う各会計の現金出納検査に際し、事務局として事前に各会計の書類審査を実施し、その結果を検査当日、監査委員に報告します。</p> <p>決算審査については、市長から提出された前年度の決算書等について、事務局として提出書類や数値の審査等を行い、監査委員の協議の場へ報告します。</p> <p>監査委員は、関係部局への聴取を行うとともに、会計ごとに意見をまとめ、決算審査意見書として市長へ提出します。</p> <p>事務局は、監査委員によるこれらの検査及び審査が円滑に実施できるよう努めます。</p>
平成 28 年度の 取り組み	年間監査計画に基づき、例月現金出納検査については毎月 1 回、決算審査等については 6 月から 8 月の間に実施します。
平成 28 年度の 実績	<p>例月現金出納検査については、原則として毎月 1 回、各会計の前月分の現金出納状況について、検査を実施しました。決算審査等は、企業会計については 6 月 30 日から、一般会計・特別会計については 7 月 7 日からそれぞれ実施し、8 月 31 日に市長に決算審査意見書を提出しました。併せて、健全化判断比率等審査意見書も提出しました。津田、菅原及び氷室の各財産区会計については、審査を 7 月から 11 月にかけて行い、11 月 11 日に市長に決算審査意見書を提出しました。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

(1) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
事務局内における情報の共有化による事務の効率化及び時間外勤務の縮減	監査委員事務局では、2 班体制で監査業務を分担していることから、朝礼及び夕礼により各職員の業務の進捗状況を日々把握し、さらに効率的な業務執行に努め、時間外勤務の縮減を図る。
実績	日々の朝礼や夕礼時に各職員の業務の進捗状況を把握し、遅れがある場合には互いにフォローするなどして効率的な業務執行に努め、時間外勤務を縮減した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
公平委員会事務局業務の効率的な執行	監査委員事務局職員が併任等により従事している公平委員会事務局業務についてマニュアル化を進め、効率的な運営を行う。
実績	公平委員会事務局業務についてマニュアル化を進め、効率的な運営を行った。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆平成 28 年度についても、事務局運営における効率的な予算執行に努めます。

実績	監査委員や公平委員が複数参加する出張については、公用車を利用するなどして旅費の抑制に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆事務局協議の実施

対象部署の書類の審査及び現地調査等を通じて得た情報について、職員間における課題の理解や認識の共有化を行い、運営方針に基づく組織目標の実現に向けて、適切な進行管理に努めます。

実績	監査委員協議に先立って事務局内協議を行うことにより職員間で課題の理解や認識の共有化を図り、業務の適切な進行管理を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆研修の充実

全ての部署を監査する立場であることから、職場研修、派遣研修等を通じて、監査技術や手法だけでなく、市政全般に関する知識や理解力を高め、事務局職員としての分析及び説明能力の向上を図ります。

実績	各種職員研修への参加を積極的に行うとともに、その内容について朝礼の時間等を利用して報告を行うなど、職員の説明能力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆効率的な事務局運営

班体制での業務運営と OJT を通じて異動者の早期の習熟と育成を行い、事務局全体の効率的な事務執行並びに時間外勤務の縮減に努めます。

実績	朝礼及び夕礼時に各職員の業務の進捗状況を共有し、事務局全体の効率的な事務執行並びに時間外勤務の縮減に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

◆ホームページの充実等

監査結果を公表後速やかに「枚方市ホームページ」に掲載するなど、説明責任の充実を図ります。

庁内に対しては、グループウェア上の監査庁内報「オーディット・フォーラム」の発行を通じ、監査結果等をわかりやすく伝えていきます。

実績	監査結果等については、公表後速やかに市ホームページに掲載しました。「オーディット・フォーラム」については、9月に第15号、3月に第16号を発行しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

1. 重点施策・事業

(1) 農業委員会制度の改正

重点施策・事業 における目標	「農業委員会等に関する法律」の改正により、平成 29 年 7 月には、農業委員会委員の選出方法が公選制から市議会の同意を要件とする市長の任命制へ移行されるとともに、農地利用最適化推進委員の委嘱等が新たに行われます。これにより、農業委員・農地利用最適化推進委員の選出方法、定数、活動内容等の組織制度の改正を進めます。	
平成 28 年度の 取り組み	新制度に対応する「枚方市農業委員会委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例」、「枚方市農業委員会会議規則」等の制定・改廃を進めるとともに、農業委員の選出方法等は、地域の農業をリードする担い手が透明なプロセスを経て確実に就任できるよう、他市農業委員会の動向も確認しつつ手続きを進めます。	
平成 28 年度の 実績	農業振興課と共同により、農業委員、北河内農協代表支部長会議及び同農協 9 支店での地区情報交換会にて、制度改正の概要説明を行いました。また、12 月に新制度に対応する条例等の制定・改廃を行いました。2 月には、選任の手続き等に関する要項を決定し、農業委員及び農地利用最適化推進委員の推薦及び公募を行いました。	
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】	

(2) 農地適正管理システムの向上

重点施策・事業 における目標	農地台帳の法定化とともに農業委員会には「農地台帳及び農地に関する地図の公表」が義務づけられており、農地の農業上の利用の増進及び農地の利用関係の調整に資するほか、法令業務や農地利用の最適化の推進を的確に行うため、農地適正管理システムの向上を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	農地台帳管理システム（農地の所有者、所在、地番、面積等の農地情報のデータベースを管理）の精度向上を図るとともに、国において運用開始予定の農地情報公開システム・フェーズ 2（農地台帳及び農地地図の情報を一つのデータベースで管理）の把握・活用の検討を行います。

平成 28 年度の 実績	農地情報公開システムの把握・活用のため、農地台帳管理システムの精度向上を図りました。また、運用開始が遅れていた国のシステムが、3 月に開始されたことから、引き続き、システムの把握・活用を検討します。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(3) 農地銀行による農地貸借の結び付けの強化

重点施策・事業 における目標	担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入を促進するため、農地銀行（農地の貸借等を進める組織）による農地貸借の結び付けの強化に向けた取り組みを進めます。
平成 28 年度の 取り組み	農地銀行による農地貸借希望台帳の登載件数を増やし、農地の貸し借りの希望者が閲覧することで、双方の結び付けにつなげます。 また、農業委員会発行の「農委だより」への記事掲載や「地区情報交換会」を利用し、農地銀行制度の啓発・周知を図ります。
平成 28 年度の 実績	「農委だより」の情報提供や貸し借りの斡旋等により、新規設定 1 万 492 m ² 、再設定 4 万 5387 m ² の利用権設定を行いました。また、このうち新規就農者に対しては、4121 m ² の利用権設定を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
効率化を図るシステム作り	農地の所有者、所在、地番、面積等の農地情報を管理する既存の農地基本台帳システムと、国において運用開始予定の農地情報公開システム・フェーズ 2 との活用を検討することにより、農地の適正な現況把握や各種調査のための地図作成に係る事務作業の効率化を図る。
実績	国のシステムが、震災関係で予算の確保が遅れたため、当初 6 月の運用開始が平成 29 年 3 月に変更された。このため、農業委員による農地パトロール等の各種調査は、市の統合型地図情報システムを活用した。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標
農地関係事務処理の迅速化	紙ベースで管理していた農地転用済整理簿等をデータ化することにより、証明発行の迅速化を図る。
実績	農地台帳管理システムの精度向上に取り組んだことにより、農地法等の各種手続きについて、迅速に農地情報を確認することができた。今後も、システムの精度向上及び農地情報のデータ化を進める。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
窓口での相談体制の整備	窓口へ来庁される相談者の相談体制を整え、サービスの向上を図る。
実績	産業文化部との事務室移転を考慮した結果、相互併任した農業振興課の隣に事務室を配置したことにより、共同で就農希望等の相談者との面談を行うことが出来るようになった。また、農地法等の各種手続きのチェックリストの改善を進めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆農地台帳管理システムの精度向上に向けて、国の補助制度の活用を図ります。

実績	国の機構集積支援事業の農業委員会費補助金を活用し、農地台帳管理システムの精度向上のための財源（131万3655円）を確保しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆農業委員とともに農業者年金の加入推進活動を行い、新規加入者を増やすことにより、手数料等の交付金の増収を図ります。

実績	年金加入推進担当の農業委員とともに、新規就農者の加入資格者等に対して、啓発活動を行った。その結果、新規加入者1名を増やすことが出来ました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆事務局内において運営方針に基づく組織目標の共有化を行うとともに、目標達成を確実にするため、各業務の取り組みに係る進捗管理の徹底を行います。

実績	年度当初に主な業務に係る目標、課題やスケジュール等を整理した「業務管理表」を各担当が作成し、職制において確認することにより、進捗管理の徹底を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆朝礼時にスケジュール等の確認を行い、情報の共有化を図ることにより、組織力の向上を図ります。

実績	朝礼時にスケジュール等の確認を行うとともに、各種会議や研修会の報告を行い、情報の共有化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆各種研修会や府内等の業務担当者会議に積極的に出席するとともに、北河内地区の各農業委員会事務局との連携などを通じて、法令事務等に係るスキルアップに努め、職員力の向上を図ります。

実績	大阪府農業会議主催の業務担当者会議や農地法等業務推進検討会等に出席するとともに、事務局内で情報の共有化を図り、職員力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

- ◆農業振興課職員との相互併任により、情報共有化をはじめ、農業の振興、農地の保全等の業務を共同で行います。

実績	農業委員会制度の改正による条例改正や農業委員の募集手続き等をはじめ、各種業務について、共同で行いました。また、平成29年1月には、農業振興課発行の「枚方市農政ニュース」との合併による「農委だより」を発行しました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

- ◆定期的に発行している市内農業者向け情報誌「枚方市農委だより」について、農業者に必要な情報を適時提供できるように内容の充実を図り、農業委員会活動がより身近に感じていただけるよう努めます。

実績	平成28年8月及び平成29年1月の2回、「枚方市農委だより」を発行し、市内農業者に情報提供を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆農業委員会での法令手続き等が、より分かりやすくなるよう、ホームページの改善に努めます。

実績	新ホームページの切り替えに伴い、農業委員会のホームページの見直しを行いました。引き続き、より分かりやすくなるよう改善に努めます。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

1. 重点施策・事業

(1) 本会議、委員会等の適切な運営

重点施策・事業 における目標	本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、市議会事務局として、きめ細かな調整、準備に取り組むことにより、そのサポートに努めます。
平成 28 年度の 取り組み	<p>通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査に取り組む常任委員会の活動等に対するサポートを的確に行います。</p> <p>特に議会改革調査特別委員会においては、議会基本条例の運用状況の検証作業等が予定されているため、現状把握や課題整理に努めるとともに、必要に応じて他市の状況調査を行います。</p> <p>平成28年度当初予算：807千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>本会議としては、5月開会議会、6月・9月・12月・3月定例会月議会及び3月緊急議会が開催されました。また、常任委員会の所管事務調査の一環として、委員協議会の形式による勉強会が開催されました（文教委員協議会10月・2月、厚生委員協議会8月）。そのほかの会議等も含め、的確なサポートを行い、円滑な運営の実現を図りました。</p> <p>特に議会改革調査特別委員会としては、議会基本条例の運用状況の検証について、7回（6月・8月・9月・10月・11月・2月・3月）の会議が開催され、3月定例会月議会での中間報告に至るまで、課題整理の面を中心にサポートを行いました。</p> <p>平成 28 年度決算： 586 千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(2) 多様な方法による議会活動に関する情報発信の充実

重点施策・事業 における目標	議会活動に関する情報発信については、現在も多様な方法で行っていることから、これを継続するとともに、新たに一般質問・代表質問のインターネットによる生中継の実施についても検討します。
平成 28 年度の 取り組み	<p>上記生中継の市民ニーズを確認するため、市政モニター制度を活用した調査を行います。また、次のような情報発信方法も継続して行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○枚方市議会報の発行（全戸配布。ホームページにも掲載） ○点字議会報の発行（希望者に送付） ○声の議会報の発行（希望者に送付。ホームページにも掲載） ○一般質問・代表質問の録画映像配信（ユーチューブの活用） ○会議録の発行（市立図書館等に配架） ○インターネット上における会議録検索システムの運用 ○ホームページによる情報発信（会議日程、審議結果等） <p>平成28年度当初予算：16,828千円</p>
平成 28 年度の 実績	<p>枚方市議会報を6回発行するとともに、その都度、同内容の点字・声の議会報を発行しました（5月・7月・8月・11月・1月・2月）。また、一般質問の録画映像の配信を含め、市議会ホームページを随時更新するなど、多様な方法による情報発信を継続しています。</p> <p>加えて、インターネットによる本会議の生中継の実施について検討するため、市政モニターに対するアンケート調査を実施し（8月）、集計結果に基づいて、平成29年度中の実施に向け課題整理を進めています。</p> <p>平成28年度決算：15,673千円</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(3) 災害発生時における新たな通信手段の導入と緊急連絡訓練の実施

重点施策・事業 における目標	地震等の災害が発生した際、枚方市災害対策本部と連携し、災害対策活動を支援するとともに、臨時的に開催する「市議会災害対策連絡会議」や「緊急議会」において迅速かつ円滑に対応できるよう、災害訓練の実施や想定議案の調査・研究に努め、支援活動体制の強化を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	<p>これまでの「災害伝言ダイヤル」を活用した訓練に加え、平成28年3月に新たに導入した、インターネットを利用した「災害用伝言板」を用いて災害訓練を実施することで、災害時における活動体制のさらなる強化を図ります。</p> <p>また、平成27年度より通年議会が導入され、議会の判断で「緊急議会」を開催することが可能となりましたが、災害時に迅速かつ円滑な対策を検討できるよう、災害時の「緊急議会」で提出が想定される議案等について、調査・研究を進めます。</p>

平成 28 年度の 実績	<p>新たに導入した、インターネットを利用した「災害伝言板」を用いた災害訓練を実施し（1月）、地震等の災害が発生した際に迅速に安否確認や情報共有が行えるよう体制強化を図りました。</p> <p>また、災害発生に係る緊急議会の開催はありませんでしたが、災害時に迅速かつ円滑な対策を検討できるよう、今後も引き続き、災害時の「緊急議会」で提出が想定される議案等について、調査・研究を進めます。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（４）政務活動費の適正な執行

重点施策・事業 における目標	市民の負託にこたえるため、政務活動費のより一層の適正な執行と、さらなる使途の透明性を図ります。
平成 28 年度の 取り組み	情報化の進展や流通形態の変化、また、市民ニーズの多様化など、様々な社会情勢の変化に対応するため、平成 28 年 3 月に改訂した「政務活動費マニュアル」を活用し、政務活動費のさらなる適正な執行と使途の透明性を図ります。
平成 28 年度の 実績	平成 27 年度に引き続き、政務活動費の収支概要及び議員単位の収支報告書を市議会ホームページに掲載しました（7月）。今後も政務活動費マニュアルに基づき、さらなる政務活動費の適正な執行を図ります。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

（５）他の市議会との広域的な連携

重点施策・事業 における目標	他の市議会と広域的な連携を図り、様々な情報を共有することにより、そのノウハウを本市議会の運営に活用します。
平成 28 年度の 取り組み	全国・中核市・近畿・大阪府・河北の各市議会議長会などの各種団体が実施する事業等へ積極的に参加するとともに、国の動向や他市の事例に注視し、適正な情報把握に努め、本市議会の運営に活用します。
平成 28 年度の 実績	河北 7 市の市議会事務局で構成される第 38 回河北事務担当者会議を本市で開催し（7月）、他市事例などの情報収集や共通する諸問題の協議を行いました。今後も引き続き、様々な情報を共有し、本市議会の運営に活用します。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
議会映像視聴の本格実施	平成 27 年度に試行的に導入した各課における議会映像視聴を本格実施するとともに、各委員協議会、各常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会等における各課への音声配信を進める。
実績	試行的に導入した各課における議会映像視聴を本格実施するとともに（5月）、各委員協議会、各常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会について、職員用パソコンに音声配信する仕組みを情報推進課とともに構築し、各課への音声配信を実施した（2月）。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
議会図書室の充実	平成28年3月に議員調査資料室を廃止し、議会図書室と一元化したことに伴い、政務活動費の収支状況報告書等を議会図書室に配架した。また、平成27年度以降、加除式図書の判例集・法令集を廃止し、インターネットによる判例・法令データベースの利用に切り替えたことにより削減した経費の一部を、引き続き図書購入費に充て、議会図書室の資料の充実を図る。
実績	資料の充実を図るため、平成 28 年度も引き続き図書購入費を 20 万円とし、97 冊の図書を購入した（蔵書合計 2, 224 冊）。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
事務応援体制の充実・強化による超過勤務の縮減	事務局内の年間業務スケジュールを職員一人ひとりが把握し、グループを超えた事務応援体制を充実・強化することにより、事務の平準化を図る。
実績	グループを超えた事務応援体制を強化・充実するとともに、事務執行の在り方や事務分担の見直しを進めることで、事務の平準化と効率化を図り、超過勤務を縮減した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆議会費の予算編成は、各派代表者会議で協議するものとし、編成時に必要な資料の作成や質問に対する説明など、事務局として適正な準備を行います。

実績	議会費の予算について各派代表者会議で円滑に協議できるよう、必要な資料作成等、事務局として適正な準備を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆事務局費の予算については、効率的・効果的な執行を行うため、前年度の決算額も踏まえ、より適正な予算編成となるよう努めます。

実績	事務局費の予算について、前年度の決算額を踏まえ、効率的・効果的な執行を行うことができるよう検討し、予算編成を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆平成 27 年度以降、加除式図書の判例集・法令集を廃止し、インターネットによる判例・法令データベースの利用に切り替えたことにより、年間で 30 万円以上の経費の削減を図りました。その経費の一部を活用し、従来、10 万円だった図書購入費を 20 万円に倍増しましたが、平成 28 年度も引き続き同額の予算を確保し、議会図書室の資料の充実を図ります。

実績	平成 28 年度は、97 冊の図書を購入し、議会図書室の資料の充実を図りました(蔵書合計 2,224 冊)。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

4. 組織運営・人材育成

- ◆OJT を活用した組織力の向上

議会・議員の活動を適正かつ迅速にサポートできるよう、職員一人ひとりの知識・能力の向上を図るため、グループごとに職場研修を実施し、業務の進捗状況や情報を共有するとともに、各担当職員が講師となり、新任担当者等への研修を実施します。

実績	グループごとに職場研修を実施し、業務の進捗状況や情報を共有するとともに、各担当職員が講師となり、新任担当者等への研修を実施するなど、計画的に OJT を進め、個々の職員の知識・能力の向上を通じて、事務局全体の機能強化を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

◆職場外研修の積極的な活用

新任担当者を対象に、外部の専門機関が実施する秘書業務や政務活動費等における職場外研修に参加するとともに、本市のコアパーソン育成派遣研修制度を活用して、平成29年1月17日～25日に市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）で予定されている議会事務研修に職員を派遣するなど、職場外研修を積極的に活用し、人材の育成を図ります。

実績	定員の関係で市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）の議会事務研修に職員を派遣することはできなかったものの、新任担当者を対象に、外部の専門機関が実施する職場外研修を積極的に活用して人材の育成を図りました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

5. 広報・情報発信

◆市議会ホームページ等を活用した情報発信

一般質問や代表質問の録画を「ユーチューブ」を活用し配信するとともに、議会改革や災害発生時の対応、また、政務活動費の状況など、幅広く情報を発信します。

実績	一般質問や代表質問の録画映像を「ユーチューブ」を活用して配信するとともに、議会改革の取り組みや災害発生時の対応、また、政務活動費の状況など、幅広い情報発信を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

◆議会活動に関する情報発信

現在も多様な方法にて議会活動に関する情報発信を行っていることから、これを継続するとともに、新たに一般質問・代表質問のインターネットによる生中継の実施についても検討します。

実績	枚方市議会報の発行、市議会ホームページの随時更新など、継続して多様な方法により議会活動に関する情報発信を行いました。 また、インターネットによる本会議の生中継の実施について検討するため、市政モニターに対するアンケート調査を実施し（8月）、集計結果に基づいて、平成29年度中の実施に向け課題整理を進めています。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

